

平成30年度（2018年度）

# 主要施策の成果報告書

旭 川 市



# 目 次

|    |                         |    |
|----|-------------------------|----|
| I  | 決算の推移と財政状況              | 1  |
|    | 1 決算の規模と収支              | 1  |
|    | (1) 歳出決算の規模             | 1  |
|    | (2) 一般会計の収支             | 1  |
|    | 2 歳入・歳出の状況（一般会計）        | 2  |
|    | (1) 歳入決算の状況             | 2  |
|    | (2) 歳出決算の状況             | 3  |
|    | 3 指標で見る本市の財政状況          | 4  |
|    | (1) 財政力指数               | 4  |
|    | (2) 経常収支比率              | 4  |
|    | (3) 健全化判断比率             | 5  |
|    | (4) 財政調整基金と減債基金の残高      | 5  |
|    | 4 企業会計の財政状況             | 6  |
|    | (1) 年度末資金残高             | 6  |
|    | (2) 資金不足比率              | 7  |
|    | (3) 企業債残高               | 7  |
| II | 主要施策の成果                 | 8  |
|    | 1 こども 生き生き 未来づくり        | 10 |
|    | 出産支援推進費                 | 10 |
|    | 縁結びネットワーク活動促進費          | 11 |
|    | (新) 産後ケア事業費             | 12 |
|    | 子ども医療費助成費               | 13 |
|    | 私立認可保育所等建設補助金           | 14 |
|    | 地域保育所管理費                | 15 |
|    | 病児保育事業費・市立保育所病後児保育事業費   | 16 |
|    | 放課後児童クラブ開設費             | 17 |
|    | (新) 保育士確保事業費            | 18 |
|    | 子どもの未来応援費               | 19 |
|    | (新) あさひかわっ子夢応援プロジェクト事業費 | 20 |
|    | 国際理解教育推進費               | 21 |
|    | 各種大会選手派遣等推進費（小・中学校）     | 22 |
|    | (新) 少人数学級編制費            | 23 |
|    | 特別支援教育推進費               | 24 |
|    | 高等教育機関設置検討調査費           | 25 |
|    | 高等学校等振興費                | 26 |
|    | 2 しごと 生き活き 賑わいづくり       | 27 |
|    | スポーツ大会等誘致推進費            | 27 |
|    | 農産物等流通拡大支援費             | 28 |
|    | 地場産品開発・販路拡大支援費          | 29 |
|    | 食品産業支援費                 | 30 |
|    | (新) 旭川元気ものづくり大賞表彰事業費    | 31 |
|    | 企業誘致地域活力創生費             | 32 |
|    | 動物園通り産業団地開発事業貸付金        | 33 |

|     |                        |    |
|-----|------------------------|----|
|     | 技能のまちづくり推進費            | 34 |
|     | 新規就農確保・育成対策費           | 35 |
|     | ものづくり応援・人材育成費          | 36 |
|     | 旭川工芸技術等継承事業費           | 37 |
| (新) | 担い手育成バックアップ対策費         | 38 |
| (新) | 園芸参入者フォローアップ強化費        | 39 |
|     | 高齢者就業機会確保推進費           | 40 |
|     | 若者地元定着促進費              | 41 |
|     | 就業支援ITセミナー費            | 42 |
|     | 若者地元定着奨学金返済補助事業費       | 43 |
|     | テレワーク普及促進費             | 44 |
|     | 生産基盤改善促進費              | 45 |
|     | 強い園芸産地づくり支援費           | 46 |
| (新) | 施設園芸スタートアップ支援費         | 47 |
|     | 中心市街地活性化推進費            | 48 |
|     | 旭川都心地区整備費              | 49 |
|     | 観光プロモーション推進費           | 50 |
|     | 冬季観光滞在促進費              | 51 |
|     | 北の恵み食ベマルシェ開催負担金        | 52 |
|     | 観光受入体制充実費              | 53 |
|     | 観光情報発信費                | 54 |
|     | 旭川版テレワークモデル推進費         | 55 |
|     | 移住促進費                  | 56 |
|     | ジオパーク構想推進費             | 57 |
| (新) | 大雪カムイミンタラDMO推進費        | 58 |
|     | 航空路線確保対策費              | 59 |
|     | 地域公共交通対策費              | 60 |
|     | 空港整備費                  | 61 |
|     | 運動公園整備費                | 62 |
| 3   | 地域 いきいき 温もりづくり         | 63 |
|     | 老人クラブ・高齢者いこいの家運営費      | 63 |
|     | 小中連携一貫コミュニティ・スクール推進費   | 64 |
|     | 地域商店街拠点化促進費            | 65 |
|     | 地域まちづくり推進費             | 66 |
|     | 緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）整備費 | 67 |
| 4   | 次の世代につながるまちづくり・その他の取組  | 68 |
|     | 児童家庭相談事業費              | 68 |
|     | がん対策費                  | 69 |
|     | 疾病予防費【国民健康保険事業特別会計】    | 70 |
|     | 合葬式施設整備費               | 71 |
|     | 文化芸術活動振興費              | 72 |
| (新) | 三浦綾子文学館20周年記念事業費       | 73 |
| (新) | 清掃工場整備推進費              | 74 |
| (新) | 缶・びん等資源物中間処理施設整備調査費    | 75 |
|     | 庁舎整備推進費                | 76 |
|     | ふるさと納税推進費              | 77 |

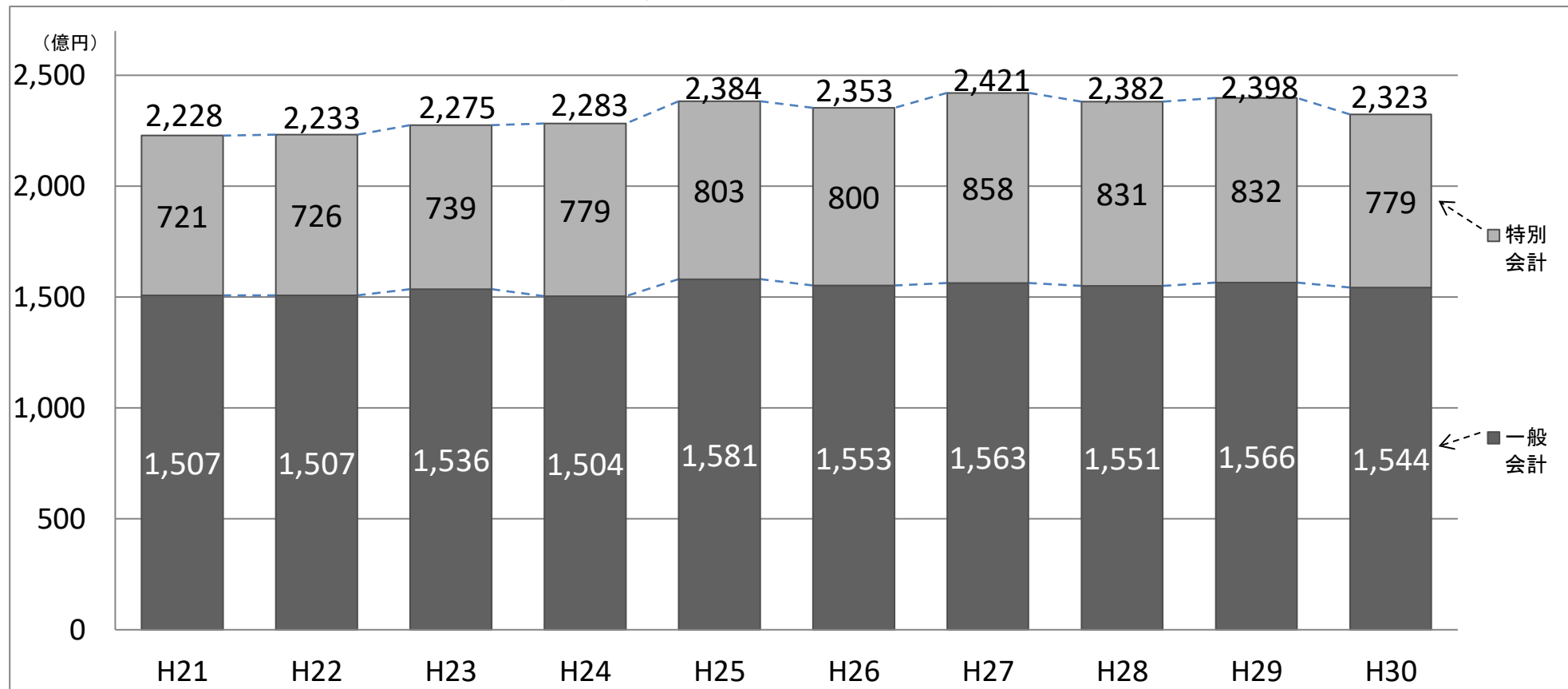
※ 新規事業には、事業名の最初に「（新）」を記載しています。

# I 決算の推移と財政状況

本章では、過年度決算との対比を通じ、平成30年度の決算状況を見るとともに、各指標から読み取れる本市の財政状況をお知らせします。

## 1 決算の規模と収支

### (1) 歳出決算の規模 ～ 一般会計、特別会計ともに減少



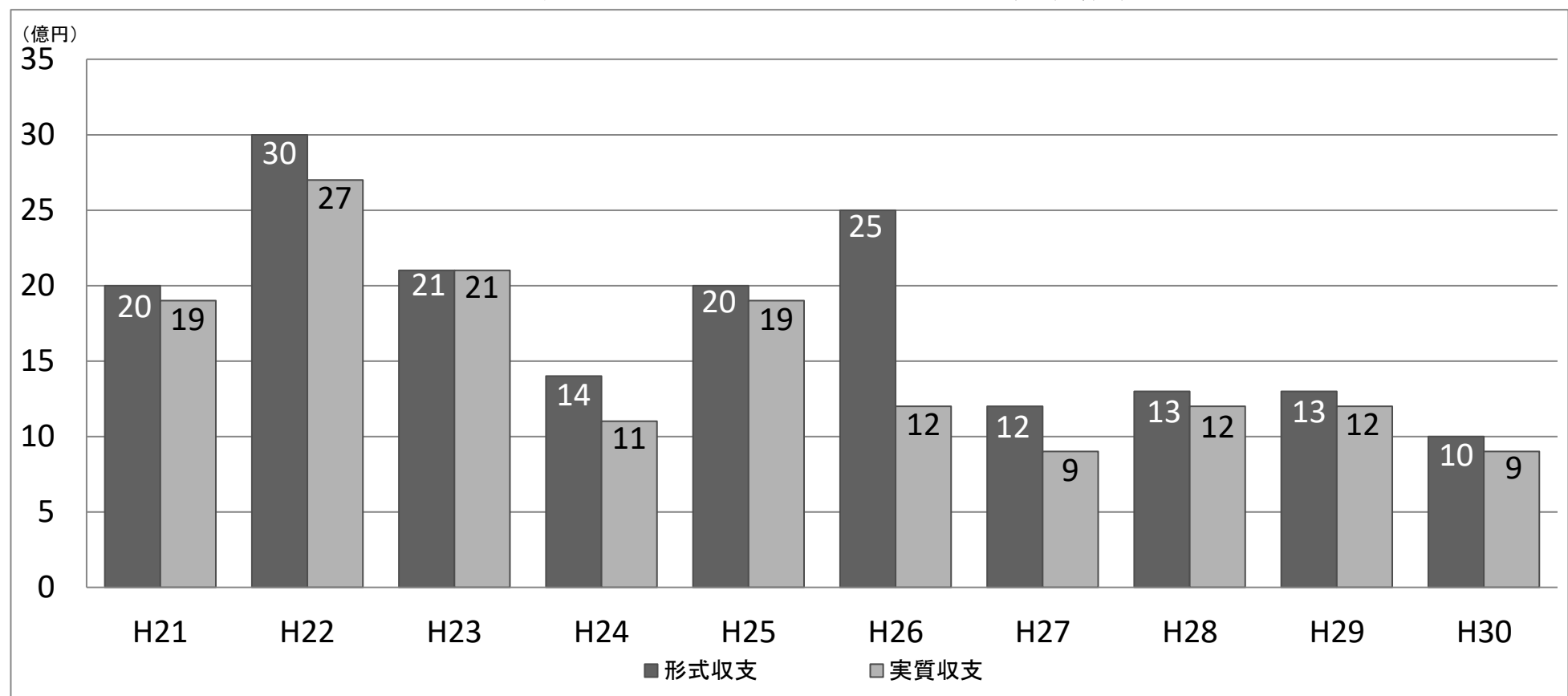
《一般会計と特別会計の歳出決算推移（企業会計を除く。）》

平成30年度の一般会計と10の特別会計（水道・下水道・病院の3企業会計を除く。）の歳出決算総額は2,323億円で、前年度と比べて75億円の減少となっています。

一般会計は、22億円の減少となっておりますが、詳しくは3ページの「(2) 歳出決算の状況」をご覧ください。

特別会計は、ほとんどの会計で増加したものの、国民健康保険事業特別会計が国の制度改革（都道府県単位化）に伴い63億円減少したことなどにより、全体では53億円の減少となりました。

### (2) 一般会計の収支 ～ 財政調整基金3億円を取り崩し、実質収支は9億円



《形式収支と実質収支の推移（一般会計）》

一般会計の収支は、実質収支が前年度より3億円減少して9億円となりましたが、財政調整基金の取崩額を前年度と比べて19億円減の3億円に抑えることができました。

なお、実質収支のうち、半分の5億円を財政調整基金に編入しています。

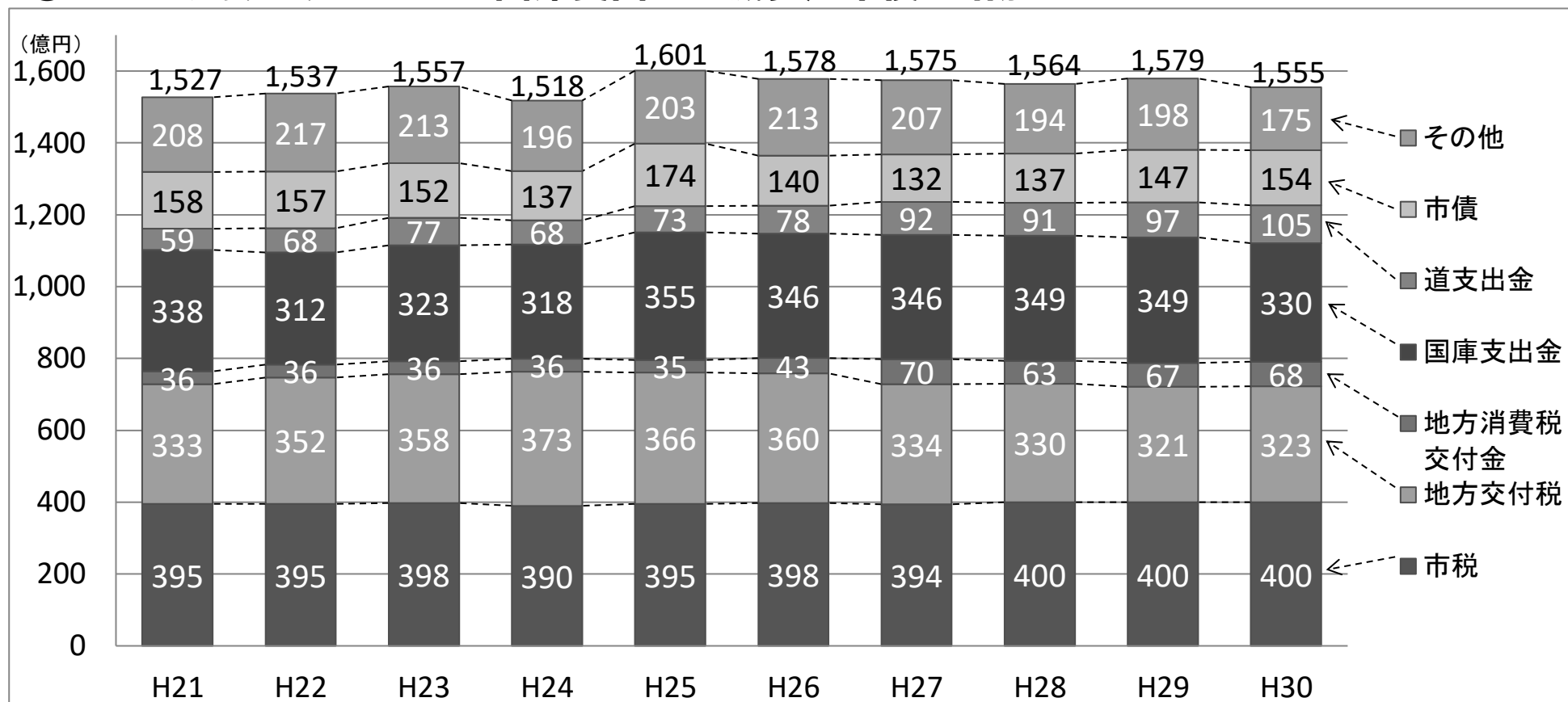
#### 【用語解説】

- ・形式収支  
歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額のこと。
- ・実質収支  
形式収支の額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額のこと。

## 2 歳入・歳出の状況（一般会計）

### （1）歳入決算の状況

#### ① 歳入決算の状況 ～ 国庫支出金は減少、市債は増加



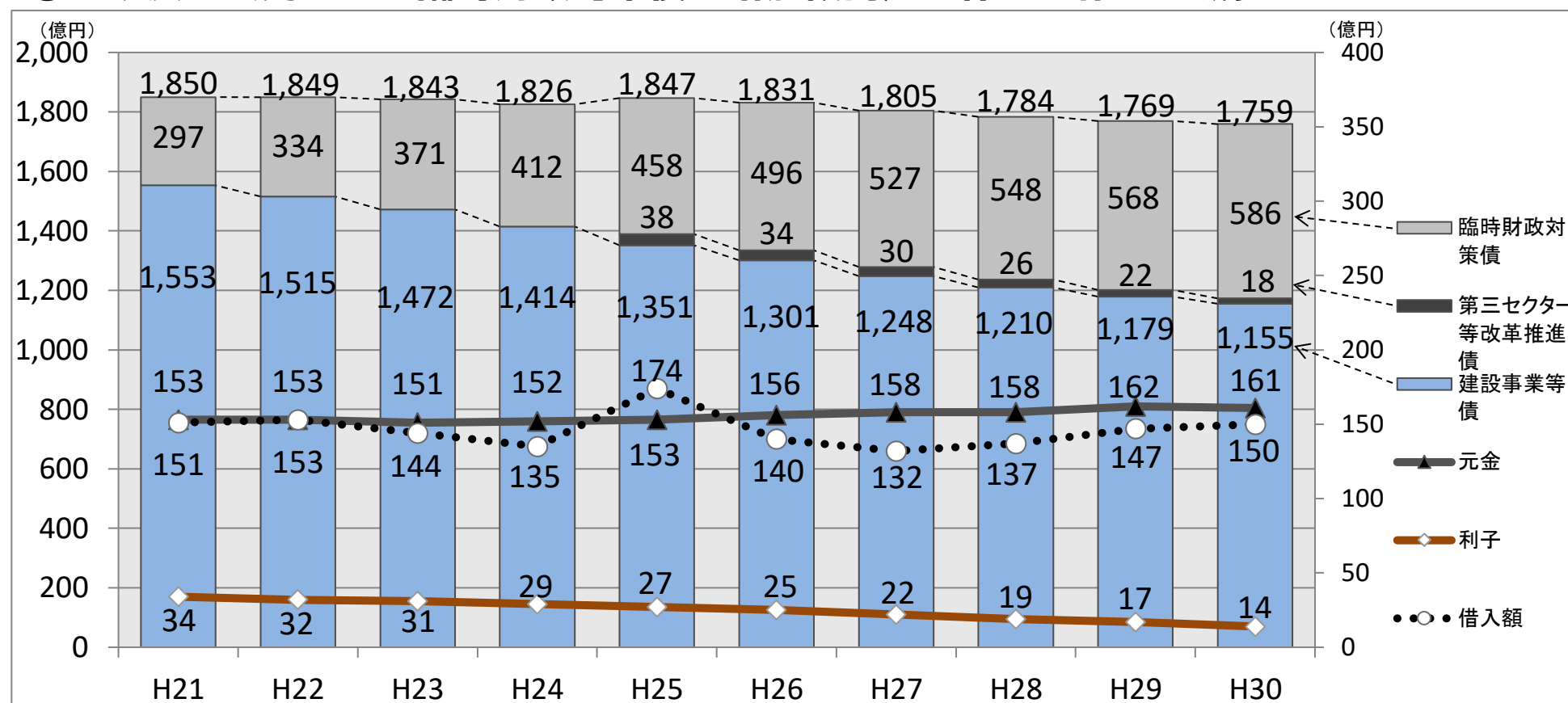
《歳入決算の推移（一般会計）》

平成30年度一般会計の歳入決算の総額は1,555億円で、前年度と比べて24億円の減少となりました。

子どものための教育・保育給付費の増加に伴い、国や道の負担金が増えたことなどにより、前年度と比べて、道支出金は8億円増えていますが、国庫支出金は、私立認可保育所等建設補助金や臨時福祉給付金の減等に伴い、国からの補助金が減ったことなどにより19億円減っています。

市債は前年度と比べて7億円増えています。これは旭川小学校増改築のために市債を活用したことなどによるものです。なお、臨時財政対策債及び借換債を除く市債の発行額は96億円で、行財政改革推進プログラム2016で示した目標額を単年度換算した額（建設事業等債で100億円/年）以内となっています。

#### ② 市債の残高 ～ 臨時財政対策債は増加傾向、全体では徐々に減少



《市債の残高推移（一般会計）》

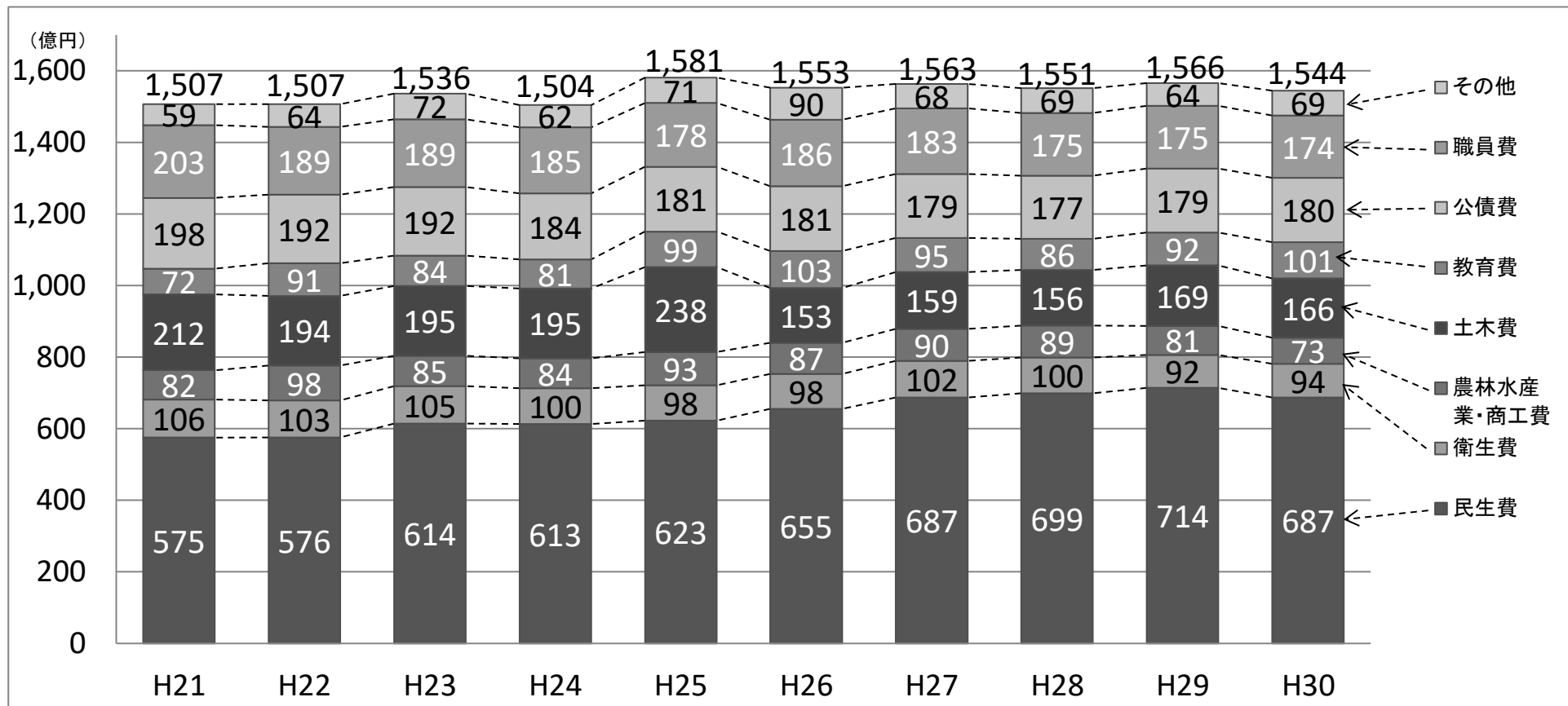
平成30年度の市債残高は1,759億円で、前年度と比べ、10億円の減少となっています。

建設事業等債が平成21年度と比較して398億円の減少となっている一方で、臨時財政対策債は289億円の増加となっていますが、臨時財政対策債の元利償還金は、その全額が後年度の普通交付税の基準財政需要額に算入されることになっています。

また、市債残高の減少に加え、近年の低金利により、利子の支払額は減る傾向にあります。

(2) 歳出決算の状況

① 歳出決算（目的別）の状況 ～ 主に民生費、商工費が減少、教育費は増加



《歳出決算（目的別）の推移（一般会計）》

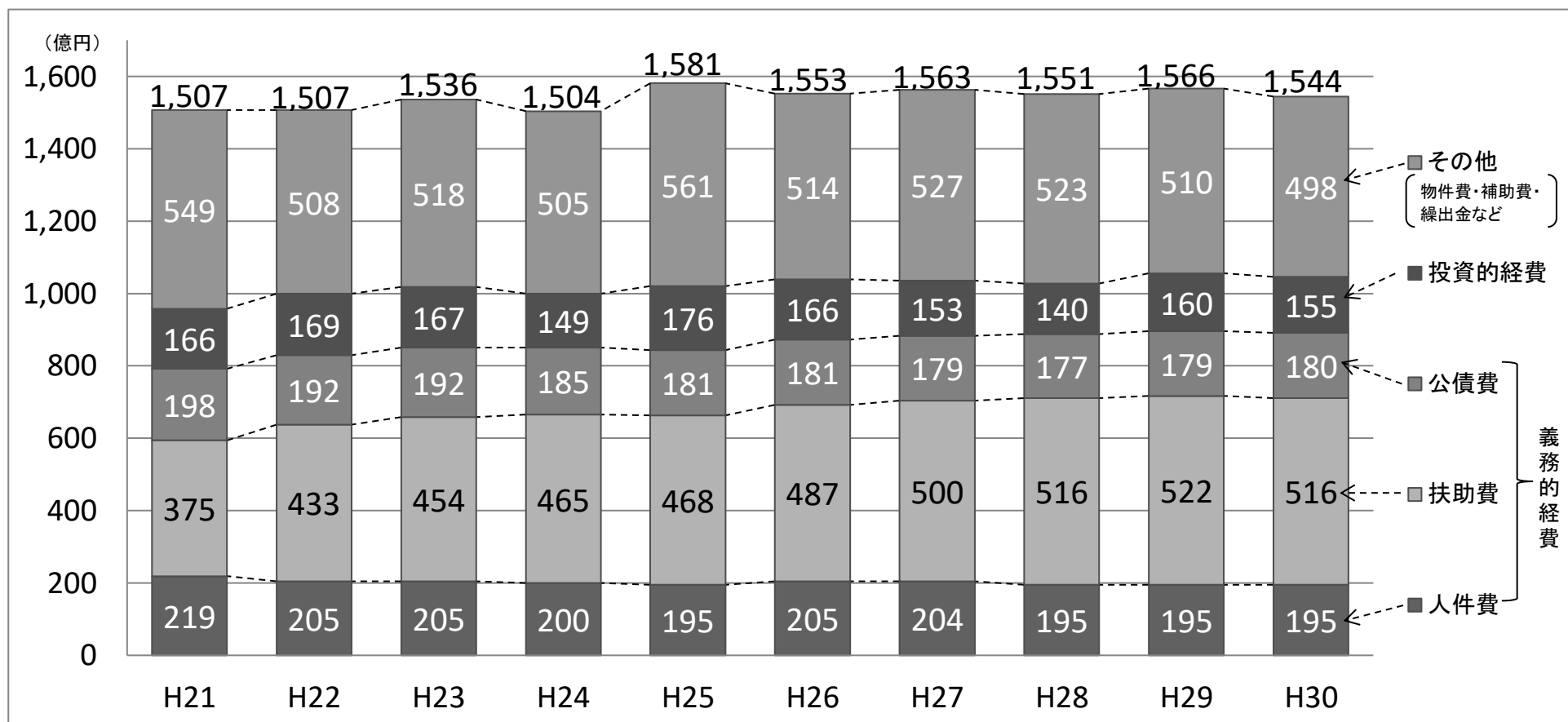
平成30年度一般会計の歳出決算の総額は1,544億円で、前年度と比べて22億円の減少となりました。

民生費は、前年度比27億円減の687億円となりました。これは、平成29年度までに保育施設の整備が進み、私立認可保育所等建設補助金が減少したことなどによるものです。なお、平成31年4月1日時点の保育施設の待機児童は前年に続いてゼロとなりました。

農林水産業・商工費では、動物園通り産業団地開発事業貸付金の減等により8億円減少しました。これは、動物園通り産業団地の造成が完了したことによるもので、平成30年度から分譲を開始しています。

教育費は、旭川小学校増改築費の増等により9億円増加しました。

② 歳出決算（性質別）の状況 ～ この10年で扶助費が初めて減少



《歳出決算（性質別）の推移（一般会計）》

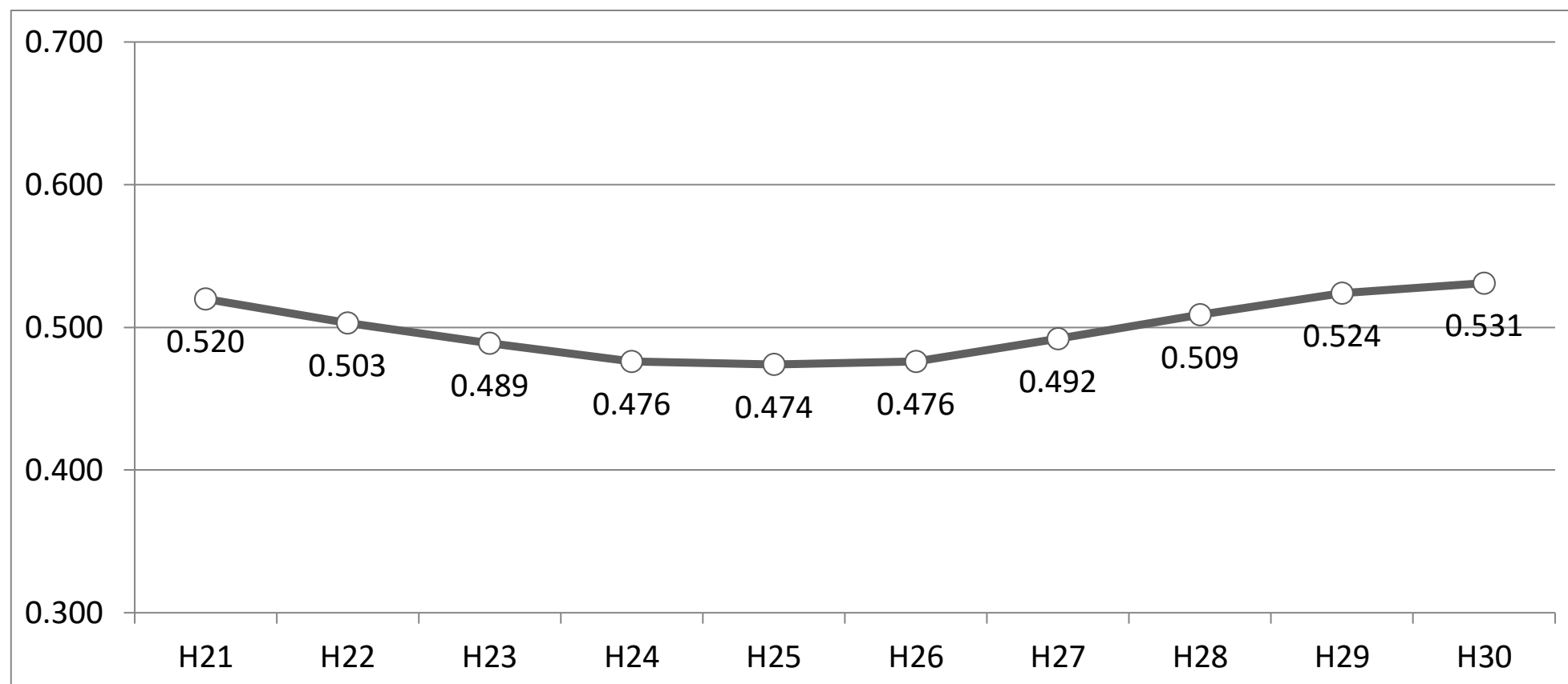
一般会計の歳出決算額を性質別に分類すると、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が各年度の決算額の半分以上を占めています。

前年度と比べると、扶助費は子どものための教育・保育給付費が増えた一方、臨時福祉給付金事業の終了や生活保護費の減少などもあり、この10年間で初めて前年度から減少となりました。

投資的経費は前年度より減少しており、これは旭川小学校増改築費が増えた一方で、私立認可保育所等建設補助金が減少したことなどによるものです。

### 3 指標で見る本市の財政状況

#### (1) 財政力指数 ～ 0.007上昇し、ここ10年では最高値



《財政力指数の推移》

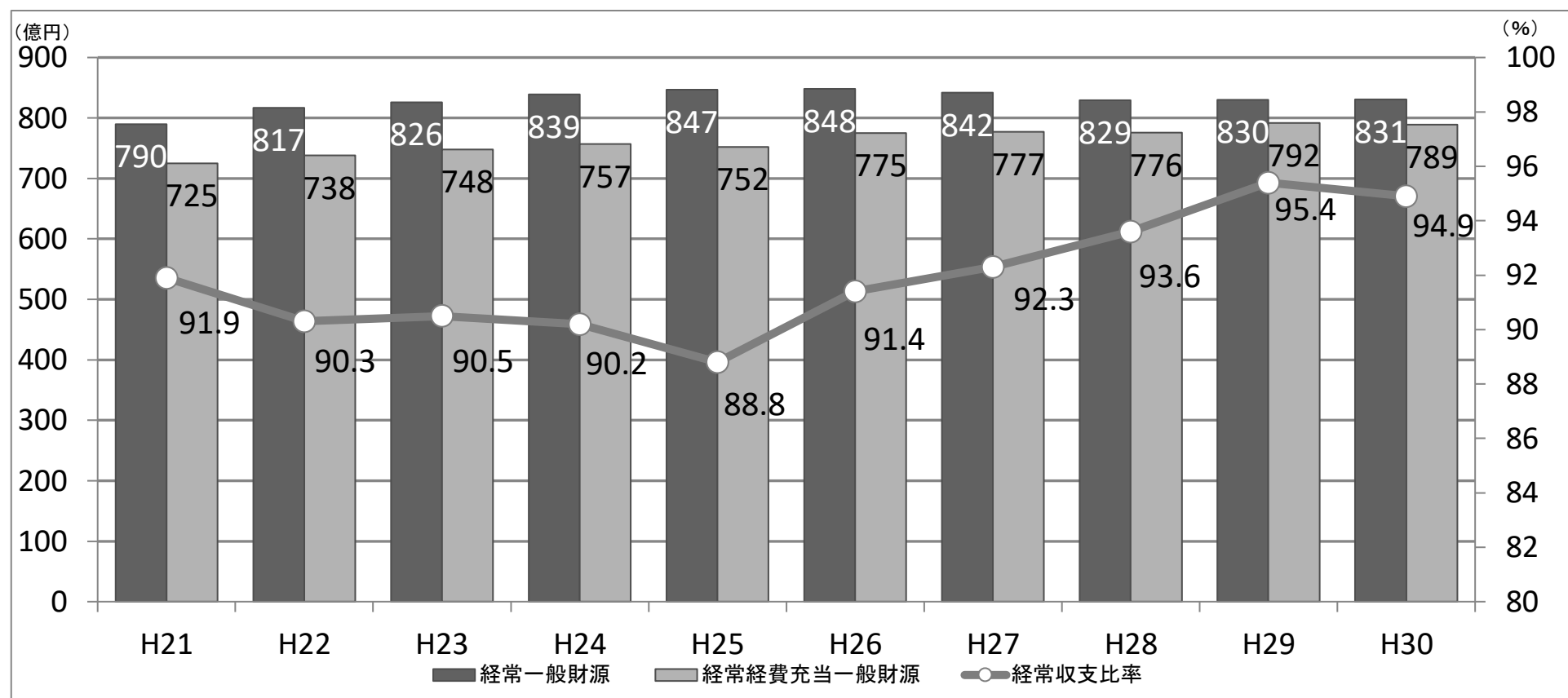
普通交付税の算定に用いられた基準財政収入額を基準財政需要額で割った数値の過去3か年の平均値を「財政力指数」と言います。

平成30年度は0.531となり、基準財政需要額の減等によって前年度よりも0.007上昇し、ここ10年では最高値となりましたが、中核市平均の0.799と比較すると低い水準にあります。

【用語解説】

- 基準財政収入額  
各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、地方交付税法の規定により算定した額のこと。
- 基準財政需要額  
各地方公共団体の財政需要を合理的に測定するために、地方交付税法の規定により算定した額のこと。

#### (2) 経常収支比率 ～ 経常経費に充当した一般財源の減などで0.5ポイント低下



《経常収支比率の推移（普通会計）》

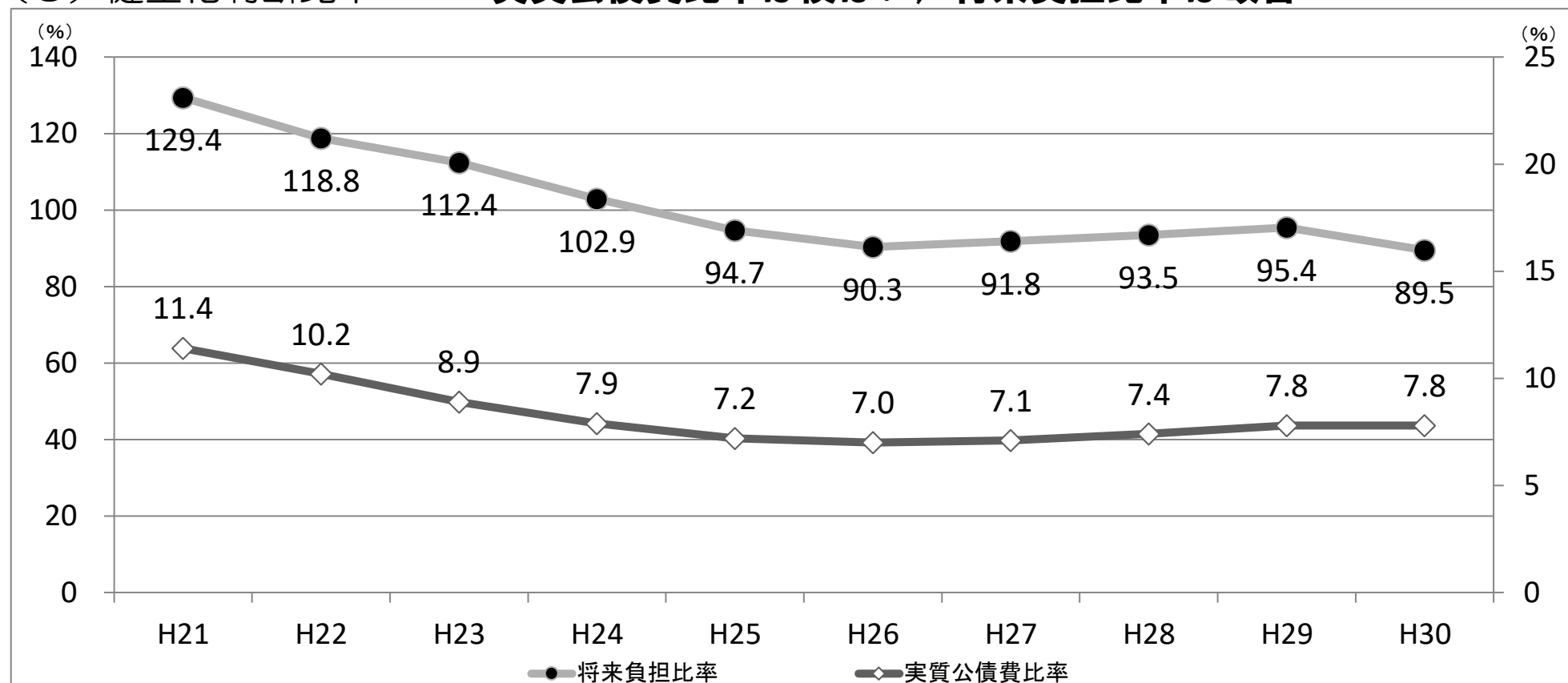
経常収支比率は、財政構造の弾力性を測定する指標（比率）で、この比率が高いほど、財政の柔軟性が低いことを表します（比率の求め方は、次のとおり）。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源}} \times 100$$

平成30年度は前年度に比べ0.5ポイント低下しましたが、これは道路などの維持補修費や公債費（借換債を除く）の減少が要因として挙げられます。



(3) 健全化判断比率 ～ 実質公債費比率は横ばい、将来負担比率は改善



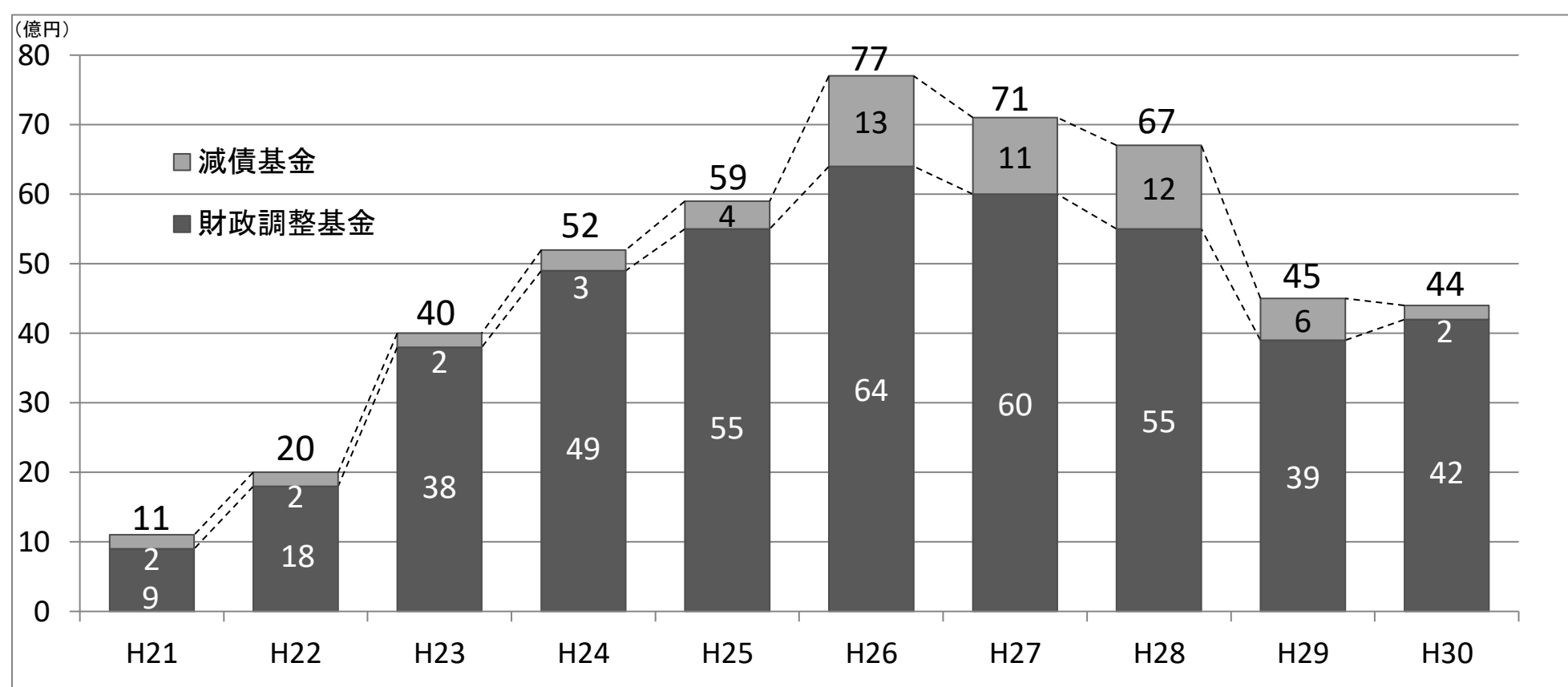
《健全化判断比率の推移》

「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」は、赤字がなかったため、算出されていません。  
 「実質公債費比率」は、前年度と同じ7.8%となりました。  
 「将来負担比率」は、主に公営企業債の償還に充てるための一般会計からの繰入見込額の減少により、前年度と比べて5.9ポイント改善し、89.5%となりました。  
 いずれの指標も、国の基準を下回っています。

|      |         | 実質赤字比率  | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担比率 |
|------|---------|---------|----------|---------|--------|
| 旭川市  |         | -1.15%※ | -4.86%※  | 7.8%    | 89.5%  |
| 国の基準 | 早期健全化基準 | 11.25%  | 16.25%   | 25.0%   | 350.0% |
|      | 財政再生基準  | 20.00%  | 30.00%   | 35.0%   |        |

※「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は、黒字の比率をマイナスで表示しています。

(4) 財政調整基金と減債基金の残高 ～ 財政調整基金が増加

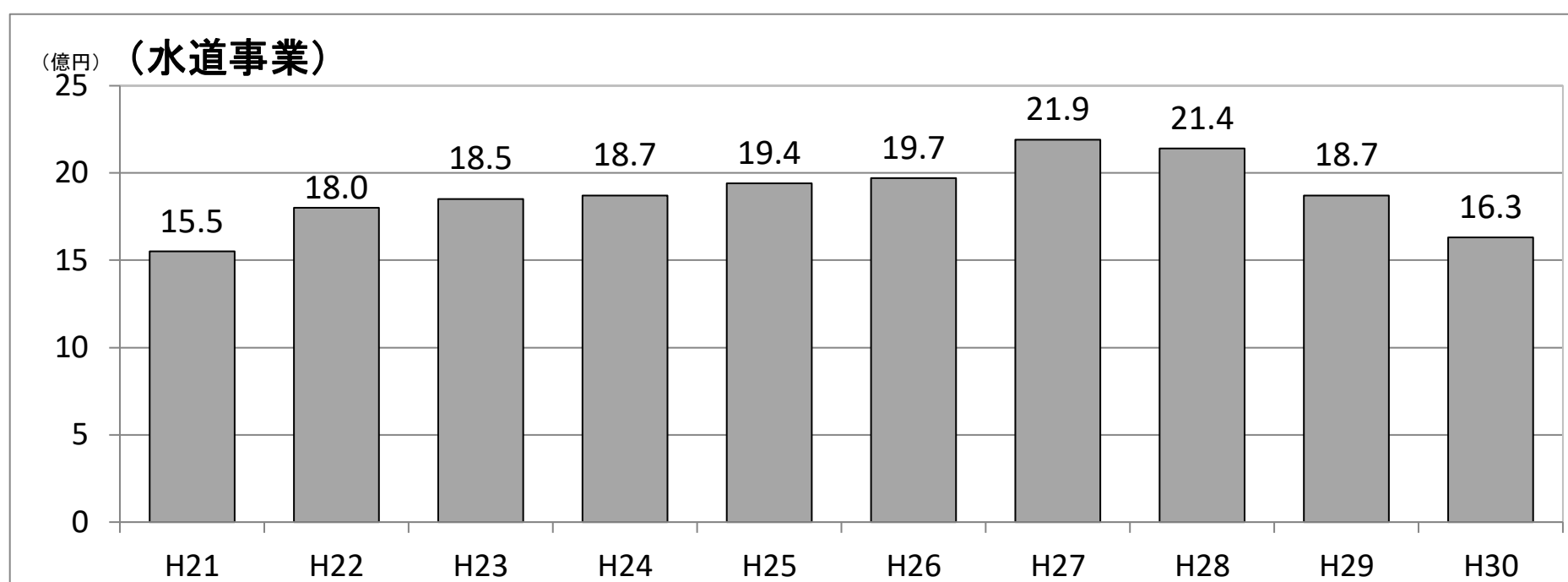


《財政調整基金と減債基金の残高推移》

財政調整基金は、財源不足に対応するため3億円を取り崩した一方、前年度の歳計剰余金6億円を編入した結果、残高は前年度に比べて3億円増加し、42億円となりました。  
 また、減債基金は、旭川市土地開発公社の解散に関連して発行した第三セクター等改革推進債の償還に充てるため4億円を取り崩した結果、残高は前年度に比べて4億円減少し、2億円となりました。

## 4 企業会計の財政状況

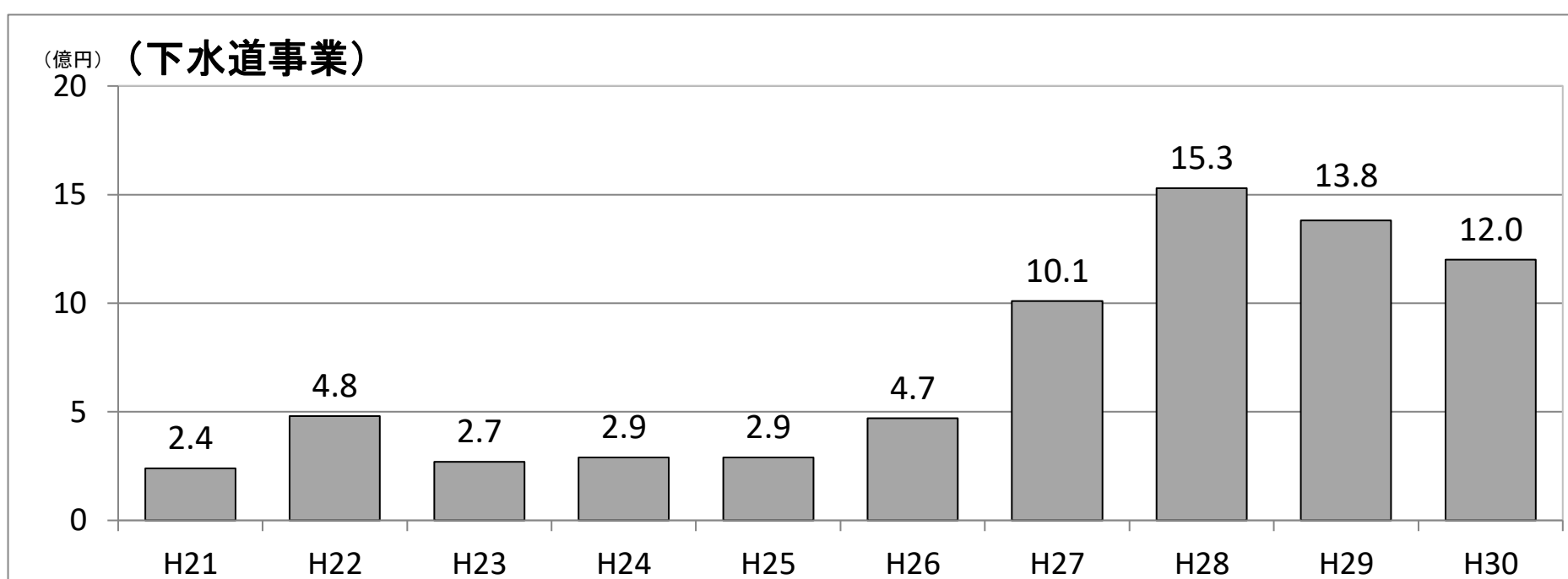
### (1) 年度末資金残高



《水道事業年度末資金残高の推移》

平成30年度は前年度と比べて浄水場などの維持管理費や建設改良費が減りましたが、一方で、料金収入が減り、企業債の償還金も増えました。

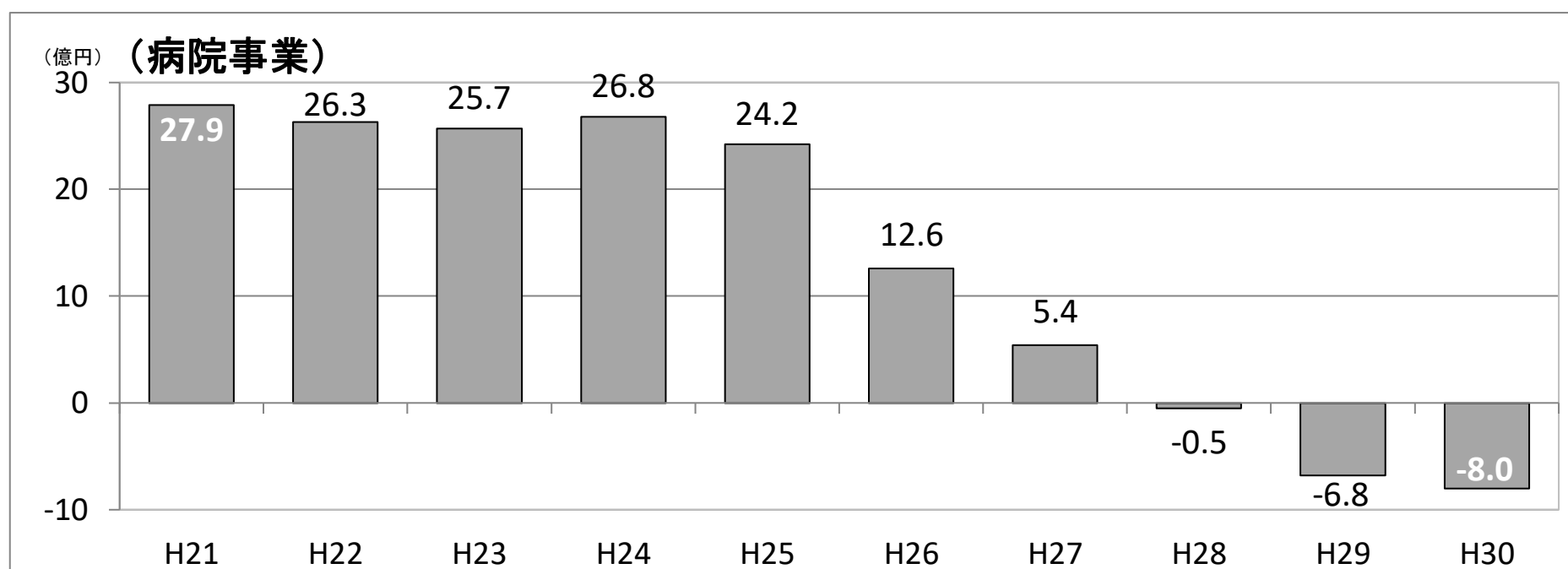
この結果、年度末資金残高は前年度と比べ2億4千万円減り、16億3千万円となりました。



《下水道事業年度末資金残高の推移》

平成30年度は前年度と比べて使用料収入が減り、大雨対応の費用や下水処理センターの維持管理費が増えました。また、企業債の償還金や、下水管の更新で建設改良費が増えました。

この結果、年度末資金残高は前年度と比べ1億8千万円減り、12億円となりました。



《病院事業年度末資金残高の推移》

平成30年度は前年度と比べ入院や外来の収益が増え、人件費が減りましたが、過去に病棟を改築整備したときに借り入れた企業債の償還金が依然として負担となっている状況です。

この結果、年度末資金不足額は前年度と比べ1億2千万円増え、8億円となりました。

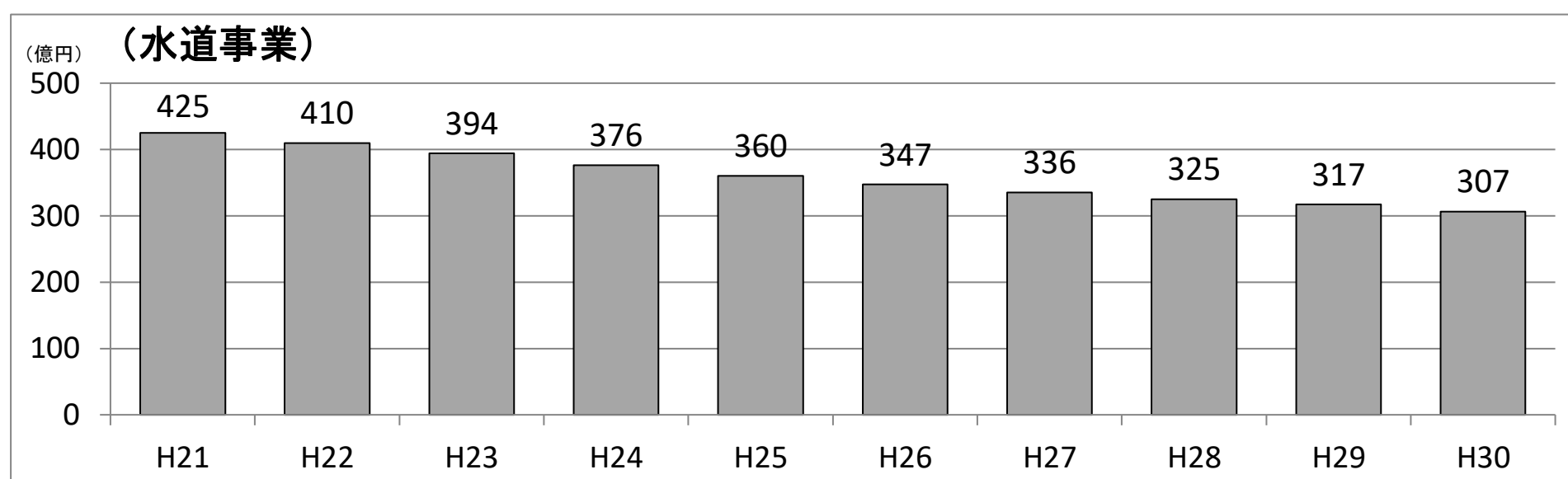
## (2) 資金不足比率

(単位：%)

|         |    | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|---------|----|--------|--------|--------|
| 水道事業    | 比率 | —      | —      | —      |
| 下水道事業   | 比率 | —      | —      | —      |
| 病院事業    | 比率 | —      | 7.0    | 7.7    |
| 経営健全化基準 |    | 20.0   | 20.0   | 20.0   |

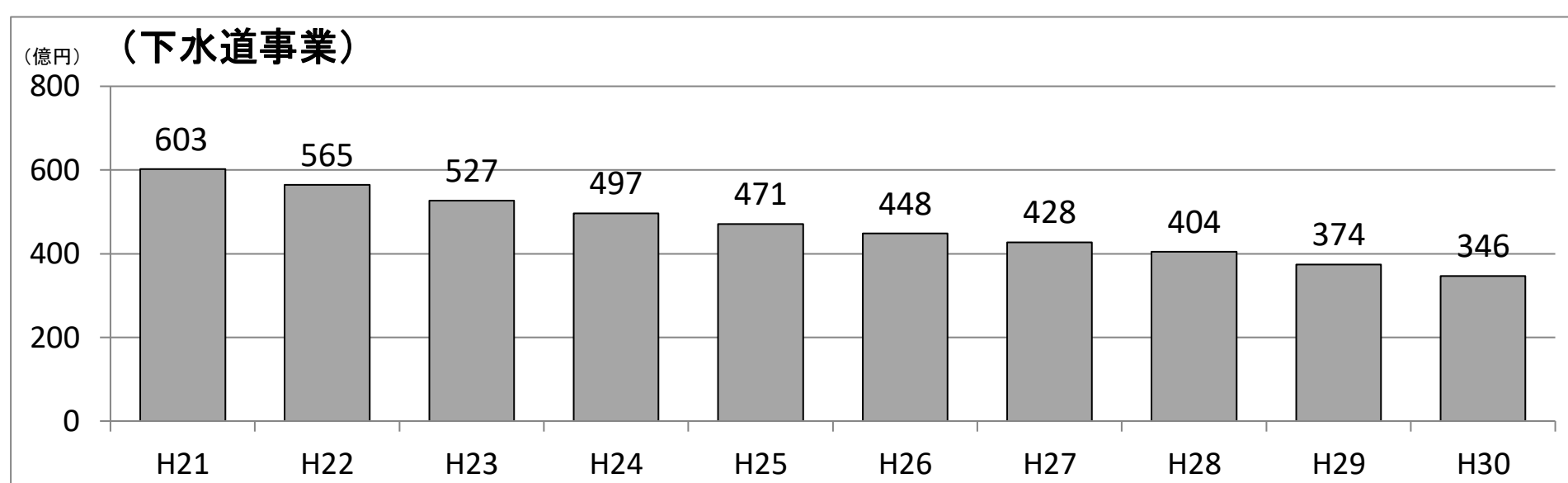
平成30年度は、水道事業会計・下水道事業会計では資金不足比率は生じませんでした。病院事業会計では前年度に発生した資金不足比率が0.7ポイント増え、7.7%となりました。

## (3) 企業債残高



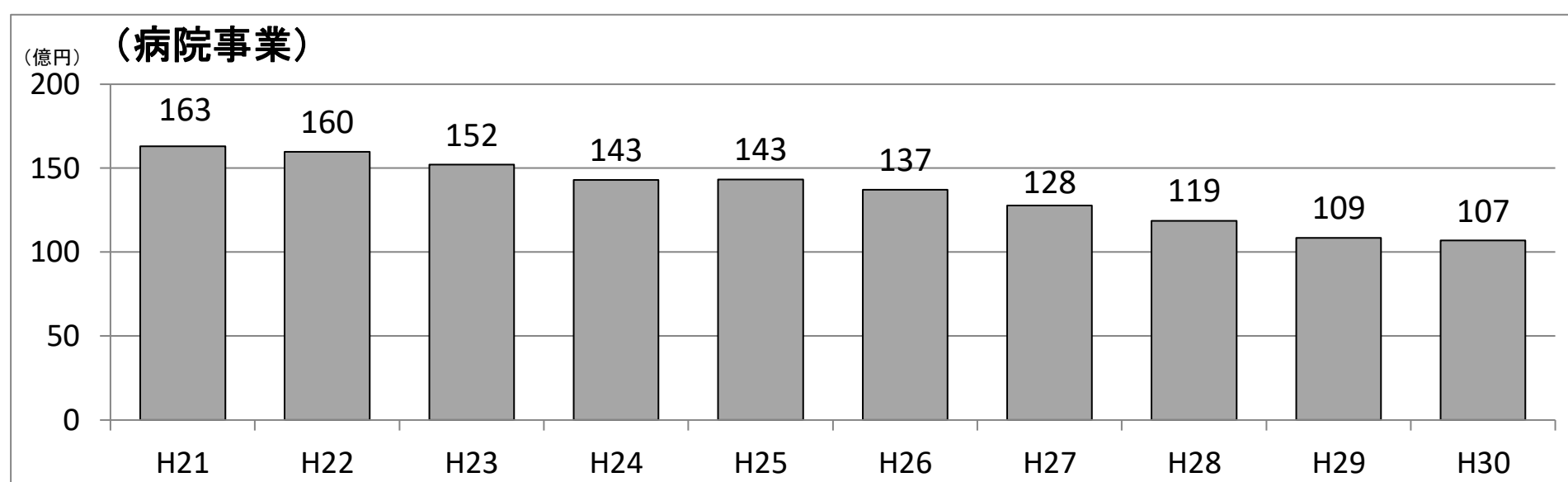
《水道事業企業債残高の推移》

平成30年度の水道事業企業債残高は307億円で、前年度と比べ、10億円減少しています。また、平成21年度と比べると118億円減少しています。



《下水道事業企業債残高の推移》

平成30年度の下水道事業企業債残高は346億円で、前年度と比べ、28億円減少しています。また、平成21年度と比べると257億円減少しています。



《病院事業企業債残高の推移》

平成30年度の病院事業企業債残高は107億円で、前年度と比べ、2億円減少しています。また、平成21年度と比べると56億円減少しています。

## Ⅱ 主要施策の成果

平成30年度予算編成時における日本の経済情勢は、景気拡大が続いており、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が増加するなど民需が改善しつつありました。また、北海道においても、一部に弱さが見られるものの緩やかな回復基調が続いているという状況でした。

本市においては、人口減少や少子高齢化の進行、地方交付税の減少などによる厳しい財政状況が続いており、これらに対応しながら市民が将来にわたって安心して暮らせるまちの実現に向けた取組を進める必要がありました。

こうした中、平成30年度予算編成では、第8次旭川市総合計画で重点テーマとして定めている「こども」、「しごと」、「地域」に係る施策のほか、次の世代につながるまちづくりに向けた施策に重点的に予算を配分し、取組を行いました。

これらの取組の概要は、次のとおりです。

### 1 こども 生き生き 未来づくり

保育人材を安定的に確保するため、保育士資格の取得や若手保育士のための宿舍借上げに対する支援を行ったほか、仕事と子育ての両立を支援するため、2か所での病後児保育に加え、4月から病児保育を1か所で開始し、延べ463人が利用するなど、安心して子育てができる環境の一層の充実に向けて取り組みました。

また、子ども医療費の助成については、8月から中学生の通院まで対象を拡大し、子育て世帯の経済的な負担を軽減する取組を更に進めました。

教育分野では、小学校3、4年生の外国語活動に外国語活動サポーターを新たに派遣し、英語教育や国際理解教育の充実を図ったほか、小学校1年生から4年生までを対象に少人数学級を導入し、きめ細かな指導を通じて、児童の生活習慣や基礎学力の定着を図りました。

また、子どもたちからチャレンジしたいことを募集し、中学生の夢を応援する取組を行いました。

### 2 しごと 生き活き 賑わいづくり

農業分野では、栽培技術習得の研修の実施や、冬季野菜の栽培の実証実験などを通じて、新規就農者等の園芸作物への新規参入を支援したほか、若手経営者の農業経営の多角化や経営判断能力向上のために農業関連団体等が実施する各種事業に対して支援を行うことで、将来、地域農業のリーダーになる人材の育成を図りました。

地場産業の振興については、ものづくり産業を担う人材を育成するため、製品の付加価値向上などに係る研修を行ったほか、地元の農産物などを活用し、付加価値を高めた食品の開発やブランド化を引き続き推進しました。また、ものづくり企業の製品・技術を広くPRするため、「旭川元気ものづくり大賞」を実施し、工業製品部門で4社、加工食品部門で3社を表彰しました。

若者の地元定着やU/Iターンを促進するため、市内に就業や居住した大学等の卒業生57人に対して奨

学金の返済に対する補助を実施しました。また、企業情報提供サイトを活用し、地元企業と求職者のマッチングを進め、35人の地元企業への就職を支援しました。

中心市街地活性化につながる取組として、北彩都ガーデンに立体花壇を造成したほか、冬季には駅前広場にゆっきリンクや冬のアクティビティ体験施設を設置し、まちの賑わいの創出を図りました。

また、11月に国際線ターミナルビルの供用を開始した旭川空港の利用促進に向け、関係機関と連携し、国内外航空会社へのPR活動や運航支援等を引き続き実施したほか、国際線需要の増加に対応するため、駐機場の拡張などの施設機能の保全拡充に向けた工事を実施しました。

広域の観光振興については、(一社)大雪カムイミンタラDMOへの支援を通じて、カムイスキーリンクスにIC自動ゲートやコンシェルジュデスクの整備を行い、利用者数が98,634人(前年比約27%増)となり、都市型スノーリゾート化の促進が図られました。

### 3 地域 いきいき 温もりづくり

地域まちづくり推進協議会については、住民自ら地域の課題の解決に向け取り組むことができるよう、包括型補助金モデル事業の対象を拡大したほか、子どもの居場所づくり事業や自由提案型の補助枠を拡大し、地域の活動団体や住民が幅広く参画できる体制づくりや事業活動の拡大を後押ししました。

また、地域ぐるみで子どもの豊かな成長を支えるため、保護者や地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを3中学校区に導入し、導入校の拡大に向けた制度の構築を進めたほか、健康づくりやスポーツ、生きがいつくり、防災などの地域の主体的な活動拠点となる、緑が丘地域活動センターの建設工事に着手するとともに、管理運営体制の構築に向けた協議を進めました。

### 4 次の世代につながるまちづくり

新庁舎建設については、様々な御意見をいただきながら、安全・安心な庁舎の整備に向けて、旭川市総合庁舎建替基本設計の見直しを行ったほか、旭川市共同墓については、少子高齢化や価値観の多様化が進行している時代のニーズに合わせ、整備を進め、9月から供用を開始しました。

文化芸術の振興については、8月に蔵囲夢内のコレクション館に市民ギャラリーを再オープンしたほか、三浦綾子記念文学館の分館整備や開館20周年記念行事に対する支援を行うなど、市民が身近に文化や芸術に触れる機会の充実を図りました。

自主財源の確保に向けては、ふるさと納税の返礼品を拡充したほか、旭川空港でPRイベントを実施するなど、ふるさと納税制度の認知度の向上や寄附件数の増加を図り、平成30年度の寄附件数が26,142件(前年比約260%増)となりました。

1 こども 生き生き 未来づくり

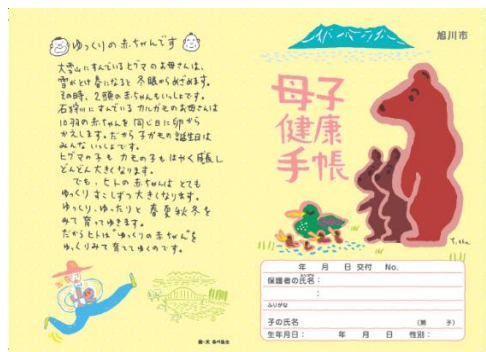
|       |              |         |       |           |         |                 |    |
|-------|--------------|---------|-------|-----------|---------|-----------------|----|
| 事業名   | 出産支援推進費      |         |       |           | 担当部局    | 子育て支援部          |    |
| 事業コード | 大            | 01      | 4     | 款         | 衛生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 83 |
|       | 中            | 11      | 1     | 項         | 保健衛生費   |                 |    |
|       | 小            | 06      | 1     | 目         | 保健衛生総務費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |         |       | 決 算 額     |         | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 171,712千円    |         |       | 155,077千円 |         | 460円            |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債     | その他特定財源         |    |
|       | 151,627千円    | 3,450千円 |       |           |         |                 |    |

1 事業目的

妊産婦の健康状態を定期的に確認し、健康な妊娠、出産を迎え、健やかに育児ができるよう健診費用の一部を助成するとともに、医療機関と連携し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。

2 事業概要

- 1 母子健康手帳交付  
母子健康手帳購入  
デザイン料 372千円  
40千円
- 2 健康診査
  - (1) 妊婦健康診査 23,642件 105,821千円
  - (2) 超音波検査 7,569件 40,116千円
  - (3) B型肝炎指導 7件 16千円
  - (4) 産婦健康診査 1,399件 4,197千円
  - (5) 事務費  
受診票購入、データ管理 1,055千円
- 3 里帰り出産等妊婦健診補助金  
160件 3,440千円
- 4 郵送費 20千円



あべ弘士氏デザインの母子健康手帳

3 事業の成果

母子健康手帳交付時の相談体制の強化（全妊婦に対するアンケートまたは面談によるリスクアセスメントの実施）及び妊産婦健診費用の一部助成により、医療機関と連携し、育児困難等に陥りやすい方を早期に把握することにより、妊娠期からの切れ目のない支援体制を構築した。  
市民の声や要望を事業に反映し、本市オリジナルの表紙（あべ弘士氏）の母子健康手帳と、多胎支援の目的とした双子手帖を導入した。

課題と  
今後の取組

妊娠期からの切れ目のない支援を充実させるため、支援対象者の早期支援の実施、関係機関との連携を継続して行う。

| 事業名  | 縁結びネットワーク活動促進費   |       |   |         |       | 担当部局            | 市民生活部   |  |
|--|--|-------|---|---------|-------|-----------------|---------|--|
| 事業コード  | 大  | 01    | 2 | 款       | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 65      |  |
|  | 中  | 11    | 1 | 項       | 総務管理費 |                 |         |  |
|  | 小  | 12    | 5 | 目       | 市民活動費 |                 |         |  |
| 費用   | 予 算 額  |       |   | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|  | 2,438千円  |       |   | 1,526千円 |       | 5円              |         |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源  |   | 国庫支出金   | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |  |
|  |  | 651千円 |   |         | 875千円 |                 |         |  |
| 1 事業目的   |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| <p>結婚支援活動を行っている企業等と構成するあさひかわ縁結びネットワークを通じて、旭川市全体で結婚支援の機運を高め、結婚を希望する方が結婚できるよう環境の整備を進める。</p>  |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| 2 事業概要   |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| <p>1 あさひかわ縁結びネットワークの活動 296千円<br/> (1) ワーキンググループの設置 (82千円)<br/> (ア) 会議開催 (6回)<br/> (イ) 婚活イベントの具体的内容を企画<br/> (2) 婚活イベント開催 (214千円)<br/> (ア) 平成30年11月23日開催<br/> (イ) 参加者数 48人</p> <p>2 あさひかわフォトスポットの設置<br/> 市民課ロビーに記念撮影用モニターを設置</p> <p>3 その他 1,230千円<br/> (1) あさひかわ縁結びネットワーク支援員配置 (914千円)<br/> (ア) プロモーターによる市内の企業・団体訪問<br/> (イ) あさひかわ縁結びネットワーク事務補助<br/> (2) あさひかわ縁結びネットワークHP改修 (187千円)<br/> (3) 事務費 (129千円)</p> |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| 3 事業の成果  |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| <p>市内外の20の企業・団体にプロモーションを実施し、縁結びネットワークの周知や加入促進について働きかけたところ、新たにワーキンググループに加入した団体があったほか、イベントの会場や材料提供等の協力を得ることができた。<br/> 結婚や出産などのお祝いごとの記念となる写真撮影スポットを設置することで、市として結婚の機運の高まりに貢献した。<br/> 縁結びネットワークのホームページで効果的な情報発信を行い、ページビューが増加した。(平成31年3月末現在46,789ページビュー)</p>   |  |       |   |         |       |                 |         |  |
| 課題と今後の取組   | <p>これまで進めてきた活動を引き続き行うことで本取組を周知し、連携が図られるよう働き掛けを行い、ネットワークやワーキンググループへの加入促進など更なる結婚支援の輪が広がるよう進めていく。</p> |       |   |         |       |                 |         |  |

1 こども 生き生き 未来づくり

|   |  |       |   |       |         |             |                 |    |
|---|--|-------|---|-------|---------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) 産後ケア事業費  |       |   |       | 担当部局    | 子育て支援部      |                 |    |
| 事業コード   | 大  | 01    | 3 | 款     | 民生費     |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 81 |
|   | 中  | 11    | 2 | 項     | 児童福祉費   |             |                 |    |
|   | 小  | 14    | 1 | 目     | 児童福祉総務費 |             |                 |    |
| 費用  | 予 算 額  |       |   | 決 算 額 |         | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|   | 1,028千円  |       |   | 324千円 |         | 1円          |                 |    |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源  |   | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債         | その他特定財源         |    |
| △ 175千円   |  | 499千円 |   |       |         |             |                 |    |
| 1 事業目的  |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| <p>出産後の心身ともに不安定な時期に、育児支援を要する母子を対象に、心身のケアや育児に関する助言・指導を行うことにより、安心して子育てができる体制の確保を図る。</p>   |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| 2 事業概要  |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| <p>産後4か月未満の母親及び乳児を対象に、市内の医療機関又は助産所において、宿泊又は日帰りにより、助産師等の専門職が心身のケアや育児に関する助言・指導を行った。</p> <p>1 始期                   平成30年8月</p> <p>2 宿泊型               7人（10泊）   279千円</p> <p>3 日帰り型           3人（3日）     27千円</p> <p>4 従事者等研修会                               18千円</p> <p>5 実施施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川厚生病院（宿泊型）</li> <li>・助産院あゆる（宿泊型・日帰り型）</li> <li>・市立旭川病院（日帰り型）</li> <li>・東光マタニティクリニック（宿泊型）</li> <li>・豊岡産科婦人科医院（宿泊型・日帰り型）</li> </ul> |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| 3 事業の成果   |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| <p>産後の心身の不調、育児不安等がある方に心身のケアや育児に関する助言・指導を行うことにより、心身の安定や育児不安の緩和が図られた。</p>   |  |       |   |       |         |             |                 |    |
| 課題と今後の取組  | <p>支援を必要とする方が利用できるよう、妊娠届出、赤ちゃん訪問の機会を捉え、また、出産機関を通じて、周知を行う。</p> <p>なお、利用者の移動の負担が少なく、生活の場でケアを提供できる訪問型を令和元年度から新たに実施する。</p> |       |   |       |         |             |                 |    |



|   |  |      |       |           |         |                 |    |
|---|--|------|-------|-----------|---------|-----------------|----|
| 事業名   | 子ども医療費助成費  |      |       |           | 担当部局    | 子育て支援部          |    |
| 事業コード   | 大  | 01   | 4     | 款         | 衛生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 83 |
|   | 中  | 12   | 1     | 項         | 保健衛生費   |                 |    |
|   | 小  | 14   | 1     | 目         | 保健衛生総務費 |                 |    |
| 費用  | 予 算 額  |      |       | 決 算 額     |         | 市民一人当たりの決算額     |    |
|   | 708,380千円  |      |       | 700,782千円 |         | 2,077円          |    |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債     | その他特定財源         |    |
|   | 490,618千円  |      |       | 207,045千円 |         | 3,119千円         |    |
| 1 事業目的  |  |      |       |           |         |                 |    |
| <p>子どもに係る疾病の早期発見，治療を促進するため，医療費の全額又は一部を助成して子育て世帯の負担を軽減し，子どもの健やかな育成を図る。</p>   |  |      |       |           |         |                 |    |
| 2 事業概要  |  |      |       |           |         |                 |    |
| <p>1 助成対象 0歳～中学校卒業まで</p> <p>2 助成内容 医療保険各法の適用を受ける医療費の自己負担額を助成した。<br/>(入院・通院・調剤・指定訪問看護，補装具等の費用)<br/>*中学生は入院と指定訪問看護のみ<br/>(※平成30年8月診療分から中学生の通院・調剤，補装具等の費用助成拡大)</p> <p>3 自己負担 3歳未満児と市町村民税非課税世帯 自己負担なし<br/>3歳以上児の市町村民税課税世帯 自己負担1割</p> <p>4 助成件数 446,280件</p> <p>5 月平均受給者数 29,984人</p> <p>6 助成額 664,398千円</p> |  |      |       |           |         |                 |    |
| 3 事業の成果   |  |      |       |           |         |                 |    |
| <p>子育て世帯の経済的負担の軽減と医療の充実，安心して子育てできる環境を整備することにより，健やかに子どもを生き育てる環境づくりの推進が図られた。</p>  |  |      |       |           |         |                 |    |
| 課題と今後の取組  | <p>近隣自治体では所得制限，自己負担金も「なし」とするほか，高校生までを助成対象としている自治体もあり，本市においても事業拡大への市民ニーズは大きい。</p> |      |       |           |         |                 |    |

1 こども 生き生き 未来づくり

|       |               |          |          |           |          |                 |         |
|-------|---------------|----------|----------|-----------|----------|-----------------|---------|
| 事業名   | 私立認可保育所等建設補助金 |          |          |           | 担当部局     | 子育て支援部          |         |
| 事業コード | 大             | 01       | 3        | 款         | 民生費      | 事項別明細書<br>掲載ページ | 79      |
|       | 中             | 21       | 2        | 項         | 児童福祉費    |                 |         |
|       | 小             | 01       | 1        | 目         | 児童福祉総務費  |                 |         |
| 費用    | 予 算 額         |          |          | 決 算 額     |          | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 260,674千円     |          |          | 246,162千円 |          | 730円            |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源     |          | 国庫支出金     | 道支出金     | 市 債             | その他特定財源 |
|       |               | 41,272千円 | 70,750千円 | 75,740千円  | 58,400千円 |                 |         |

1 事業目的

社会福祉法人等が行う認可保育所等の創設・増改築等に対して、建設費の一部を補助し、全市的な待機児童の解消及び老朽化施設の改善を図るとともに、社会経済情勢の変化に伴い多様化している保育ニーズに対応した保育所等の施設整備を行う。

2 事業概要

1 私立認可保育所整備費補助金（2件）

| 区分  | 施設名                | 法人名           | 1号定員（人） | 2・3号定員（人） | 補助金       |
|-----|--------------------|---------------|---------|-----------|-----------|
| 増改築 | 旭川別院附属<br>大谷さくら幼稚園 | (学)旭川真宗学園     | 60 → 60 | 0 → 45    | 187,410千円 |
| 増築  | 認定こども園<br>ひまわり幼稚園  | (学)北海道キリスト教学園 | 75 → 75 | 20 → 40   | 32,325千円  |

2 旭川市児童福祉施設整備費助成金（償還補助13件） 26,427千円

3 事業の成果

認可保育所等の整備を行うことで、待機児童数の解消へ寄与するとともに、保育環境の向上へつながった。なお、平成30年度に引き続き、平成31年4月1日時点での待機児童がゼロとなった。

課題と  
今後の取組

4月1日時点での待機児童は解消したが、年度途中における保育ニーズへの対応が求められているほか、保育料の無償化によって保育需要が今まで以上に高まる可能性もある。  
そのため、保育の質向上を図るとともに、引き続き必要な定員数を確保できるように、老朽化した幼稚園の認定こども園への移行整備を促すなど、施設整備事業を推進する。

|       |              |      |       |           |         |                 |    |
|-------|--------------|------|-------|-----------|---------|-----------------|----|
| 事業名   | 地域保育所管理費     |      |       |           | 担当部局    | 子育て支援部          |    |
| 事業コード | 大            | 01   | 3     | 款         | 民生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 79 |
|       | 中            | 21   | 2     | 項         | 児童福祉費   |                 |    |
|       | 小            | 03   | 1     | 目         | 児童福祉総務費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |      |       | 決 算 額     |         | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 131,041千円    |      |       | 126,955千円 |         | 376円            |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債     | その他特定財源         |    |
|       | 126,945千円    |      |       |           |         | 10千円            |    |

1 事業目的

保育所及び幼稚園の少ない地域において、保育に欠ける児童だけではなく、広く保育を要する児童の福祉増進を図るため、地域保育所を設置し、その施設の維持管理運営を行う。

2 事業概要

指定管理委託料等 126,955千円

(1) 指定管理者 一般財団法人 旭川保育協会

(2) 入所児童数（平成30年4月1日現在）

|          |     |            |      |
|----------|-----|------------|------|
| 豊田保育所 ※  | 0 人 | あすか保育所     | 14 人 |
| 豊里保育所 ※  | 0 人 | さくら保育所 ※   | 0 人  |
| 米原保育所 ※  | 0 人 | 嵐山保育所      | 3 人  |
| 桜岡保育所    | 9 人 | 神居古潭保育所 ※  | 0 人  |
| 日の出倉沼保育所 | 3 人 | 東鷹栖第2保育所   | 2 人  |
| 江丹別保育所   | 4 人 | 東鷹栖第4保育所 ※ | 0 人  |
| 雨紛保育所    | 7 人 | 千代ヶ岡保育所    | 3 人  |
| 旭正保育所    | 3 人 | 合計         | 48 人 |

※ 平成30年度は休所

3 事業の成果

待機児童の受け皿として認可保育所の補完的役割を果たした。また、利用児童の保護者や地域からの要望に応え、平成30年度から全ての施設で認可保育所等と同様に通年での保育を実施するとともに、保育料を一律から市民税所得割額に応じた設定に変更した。

課題と  
今後の取組

地域保育所は、近年、農山村地域の子育て世帯の減少や保護者の就労状況の多様化などにより、利用児童数の減少が進んでいる。  
そのため、農山村地域のコミュニティの維持と地域の活性化に配慮し、子どもたちが、集団の中で過ごすことができる保育環境を維持し続けられるよう「へき地・季節保育所の保育料の見直し及び統廃合の方針」等に基づき施設の集約化などを行いながら、保育サービスの提供を継続していく。

1 こども 生き生き 未来づくり

|       |                       |          |     |          |                 |                 |               |
|-------|-----------------------|----------|-----|----------|-----------------|-----------------|---------------|
| 事業名   | 病児保育事業費・市立保育所病後児保育事業費 |          |     |          | 担当部局            | 子育て支援部          |               |
| 事業コード | 大                     | 01       | 3   | 款        | 民生費             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 79<br>・<br>81 |
|       | 中                     | 21       | 2   | 項        | 児童福祉費           |                 |               |
|       | 小                     | 09・19    | 1・3 | 目        | 児童福祉総務費／児童福祉施設費 |                 |               |
| 費用    | 予 算 額                 |          |     | 決 算 額    |                 | 市民一人当たりの決算額     |               |
|       | 28,197千円              |          |     | 26,244千円 |                 | 78円             |               |
|       | 決算額の<br>財源内訳          | 一般財源     |     | 国庫支出金    | 道支出金            | 市 債             | その他特定財源       |
|       |                       | 10,877千円 |     | 7,538千円  | 7,538千円         |                 | 291千円         |

1 事業目的

児童が病気やけがの急性期又は回復期にあるため集団保育が困難な期間、一時的にその児童の保育及び看護を行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与する。

2 事業概要

1 実施施設

病児保育事業費

- ・北彩都病児保育室まほうのちから（病児） 15,387千円
- ・ほのぼの保育園（病後児） 6,639千円

市立保育所病後児保育事業費

- ・市立新旭川保育所 4,218千円



2 利用状況

| 事業            | 施設                  | 利用登録人数 | 延利用人数 |
|---------------|---------------------|--------|-------|
| 病児保育事業費       | 北彩都病児保育室まほうのちから（病児） | 321人   | 311人  |
|               | ほのぼの保育園（病後児）        | 145人   | 51人   |
| 市立保育所病後児保育事業費 | 市立新旭川保育所            | 157人   | 101人  |

3 事業の成果

病後児に加え、病児保育も開始したことにより、保護者の仕事と子育ての両立の支援及び安心して子育てができる環境の充実が図られた。

課題と今後の取組

利用人数の推移やニーズを踏まえて、事業拡大の必要性等について検討を進める必要がある。

| 事業名  |   | 放課後児童クラブ開設費 |          |          |         | 担当部局            | 子育て支援部 |
|--|---|-------------|----------|----------|---------|-----------------|--------|
| 事業コード  | 大   | 01          | 3        | 款        | 民生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 81     |
|  | 中   | 21          | 2        | 項        | 児童福祉費   |                 |        |
|  | 小   | 26          | 3        | 目        | 児童福祉施設費 |                 |        |
| 費用   | 予 算 額   |             |          | 決 算 額    |         | 市民一人当たりの決算額     |        |
|  | 115,285千円   |             |          | 82,555千円 |         | 245円            |        |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源        | 国庫支出金    | 道支出金     | 市 債     | その他特定財源         |        |
|  | 18,925千円  | 31,815千円    | 31,815千円 |          |         |                 |        |
| 1 事業目的   |   |             |          |          |         |                 |        |
| <p>定員超過入会や待機児童が生じるおそれのある既設置校へ複数の放課後児童クラブを設置するとともに、公設の放課後児童クラブ以外の受け皿となる民間事業者への運営費補助を通じて定員の拡大を図ることで、待機児童を解消し、保護者が働きやすい環境を整え、子育てと仕事の両立を支援する。</p>  |   |             |          |          |         |                 |        |
| 2 事業概要   |   |             |          |          |         |                 |        |
| <p>1 知新第二放課後児童クラブ（開設等実施日：平成30年8月23日） 9,239千円<br/>         ・定員 40人 ・民間住宅等の賃借（既設校新規開設）</p> <p>2 神楽第二放課後児童クラブ（開設等実施日：平成30年9月10日） 8,295千円<br/>         ・定員 36人 ・民間住宅等の賃借（既設校新規開設）</p> <p>3 旭川小放課後児童クラブ（開設等実施日：平成30年12月18日） 0千円<br/>         ・定員 44人→55人 ・校舎内専用室（校舎移転に伴う移設）<br/>         （※整備は放課後児童クラブ運営費で実施）</p> <p>4 啓明第二放課後児童クラブ（開設等実施日：平成31年4月1日） 2,912千円<br/>         ・定員 40人 ・小学校教室の一時的使用（既設校新規開設）</p> <p>5 永山南第四放課後児童クラブ（開設等実施日：平成31年4月1日） 3,325千円<br/>         ・定員 30人 ・民間住宅等の賃借（既設校新規開設）</p> <p>6 東光第二放課後児童クラブ（開設等実施日：平成31年4月5日） 930千円<br/>         ・定員 42人→45人 ・小学校教室の目的外使用（既存児童クラブ移設拡張）</p> <p>7 民間事業者への運営費補助（民設民営） 57,300千円<br/>         ・13事業者（定員442人）</p> <p>8 放課後の児童の居場所づくり（日章小） 554千円<br/>         ・実施期間 平成30年9月～平成31年3月 ・実施回数 26回（週1回）</p> |   |             |          |          |         |                 |        |
| 3 事業の成果  |   |             |          |          |         |                 |        |
| <p>放課後児童クラブの開設や拡張整備により、平成30年度は160人の定員増（公設公営）を図り、待機児童ゼロの継続に向けた取組を進めることができた。<br/>         また、民間事業者が実施する放課後児童クラブ（定員442人）に対して運営費を補助することなどにより、公設の放課後児童クラブ以外の放課後の居場所づくりを行うことで、放課後の児童の多様な受け皿を確保した。</p>  |   |             |          |          |         |                 |        |
| 課題と今後の取組   | <p>定員超過入会が恒常的に生じている既設校に対して、一層の拡充整備が必要だが、余裕教室の有無など設置箇所の確保や、支援員の確保が課題である。小学校教室の一時的使用等による開設や、民間事業者への運営費補助を行うことで、待機児童ゼロの継続に努めるとともに、公設の放課後児童クラブ以外での児童の放課後の居場所づくりに取り組む。</p> |             |          |          |         |                 |        |

1 こども 生き生き 未来づくり

|       |              |         |       |         |         |                 |    |
|-------|--------------|---------|-------|---------|---------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) 保育士確保事業費 |         |       |         | 担当部局    | 子育て支援部          |    |
| 事業コード | 大            | 01      | 3     | 款       | 民生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 81 |
|       | 中            | 21      | 2     | 項       | 児童福祉費   |                 |    |
|       | 小            | 39      | 1     | 目       | 児童福祉総務費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |         |       | 決 算 額   |         | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 25,600千円     |         |       | 9,008千円 |         | 27円             |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債     | その他特定財源         |    |
|       | 3,022千円      | 5,986千円 |       |         |         |                 |    |

1 事業目的

保育士資格取得における費用負担の一部を補助することにより、本市における保育士不足を解消する。  
また、保育士資格取得後の離職や市外への人材流出を抑制するため、養成校を卒業して旭川市内の保育所等に勤務する若手保育士に対し家賃補助を行うとともに、道内養成校を訪問し、市内の保育現場の現状や各種支援制度の周知を行うキャラバン活動等を行い、市内外から保育従事者を確保する。

2 事業概要

1 保育士資格取得支援事業 1施設 1人 32千円

| 施設名   | 件数 | 補助金  |
|-------|----|------|
| 愛豊保育園 | 1件 | 32千円 |

2 旭川市保育士宿舍借り上げ支援事業 18施設29人 8,853千円

| 施設名 |                      |    | 人数 | 施設名          |    |  | 人数 |
|-----|----------------------|----|----|--------------|----|--|----|
| 1   | 幼保連携型認定こども園末広第二こども園  | 1人 | 10 | 旭川隣保会第三保育所   | 1人 |  |    |
| 2   | 幼保連携型認定こども園大町のそみこども園 | 1人 | 11 | 旭川隣保会乳児保育所   | 1人 |  |    |
| 3   | キララ保育園               | 1人 | 12 | あおぞら保育園      | 1人 |  |    |
| 4   | 幼保連携型バンビ認定こども園       | 1人 | 13 | 中央乳児保育園      | 2人 |  |    |
| 5   | のなか認定こども園            | 2人 | 14 | 認定こども園慈光園保育所 | 4人 |  |    |
| 6   | しらかば認定こども園           | 1人 | 15 | 旭川だいいち保育園    | 1人 |  |    |
| 7   | 旭川あかしあ認定こども園         | 3人 | 16 | こひつじ保育園      | 2人 |  |    |
| 8   | 旭川隣保会第一こども園          | 3人 | 17 | いずみこども園      | 2人 |  |    |
| 9   | 旭川隣保会第二保育所           | 1人 | 18 | 神楽岡保育園       | 1人 |  |    |

3 事業周知キャラバン（滝川・深川・札幌圏の指定保育士養成校の訪問）

7月：延べ5日間16校

10月：延べ3日間9校

3 事業の成果

保育士資格取得支援事業により、子育て支援員の保育士資格取得につながったほか、事業周知や理解が進んだことで、指定保育士養成校（通信3年）に通い保育士資格取得を目指す方の申請件数が増加しており、今後の保育士確保が期待できる。  
また、保育士宿舍借り上げ支援事業の実施により、新卒・若手保育士の金銭面での負担軽減が図られ、離職防止につながった。

課題と今後の取組

学生・新任保育士や事業者、養成校への意識・意見調査等を行い、補助事業や周知事業のより効果的な事業構築を図っていく。  
また、保育士体験ツアーの実施により、市外養成校の学生の旭川市への就職につなげる。

|       |              |      |   |       |         |                 |         |
|-------|--------------|------|---|-------|---------|-----------------|---------|
| 事業名   | 子どもの未来応援費    |      |   |       | 担当部局    | 子育て支援部          |         |
| 事業コード | 大            | 01   | 3 | 款     | 民生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 81      |
|       | 中            | 22   | 2 | 項     | 児童福祉費   |                 |         |
|       | 小            | 16   | 1 | 目     | 児童福祉総務費 |                 |         |
| 費用    | 予 算 額        |      |   | 決 算 額 |         | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 1,508千円      |      |   | 890千円 |         | 3円              |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源 |   | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債             | その他特定財源 |
|       |              |      |   |       |         |                 | 890千円   |

1 事業目的

地域で子どもを見守る環境づくりのため、子ども食堂を運営している団体等への助成を行う。また、児童養護施設の子どもや里子が夢や希望を持って新生活を送ることができるよう支援する。

2 事業概要

- 1 子ども食堂運営費補助金 131千円
  - (1) 補助金対象経費 会場使用料及び保険料
  - (2) 補助金交付件数 10件
  - 【内訳】
  - (ア) 会場使用料 (83千円)
    - ・ 補助金交付額 (4件)
  - (イ) 保険料 (48千円)
    - ・ 補助金交付額 (6件)
- 2 子ども食堂立ち上げ支援講座 124千円
- 3 児童養護施設入所児及び委託児童への進学・就職支度金 600千円
  - (1) 支度金交付件数 6件
- 4 子どもの生活実態調査報告会 35千円



3 事業の成果

子ども食堂の運営団体への補助金交付により、地域で子どもを見守る環境づくりに寄与した。  
また、児童養護施設の子どもや里子への支度金の支給により、経済的な負担を軽減することができた。

課題と今後の取組

子どもの居場所づくり事業を運営する団体から「学校や家庭以外の居場所を真に必要とする子どもたちの参加が少ない」、「事業を継続して運営するためのボランティアスタッフ等の人材が足りない」等の声があるため、子どもの居場所づくり事業の継続的な周知方法を検討するとともに、国における支援の動向にも注視しながら制度内容を精査していく。

1 こども 生き生き 未来づくり

|   |  |      |       |       |        |             |                 |    |
|---|--|------|-------|-------|--------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) あさひかわっ子夢応援プロジェクト事業費  |      |       |       | 担当部局   | 子育て支援部      |                 |    |
| 事業コード   | 大  | 01   | 3     | 款     | 民生費    |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 83 |
|   | 中  | 22   | 2     | 項     | 児童福祉費  |             |                 |    |
|   | 小  | 17   | 4     | 目     | 青少年活動費 |             |                 |    |
| 費用  | 予 算 額  |      |       | 決 算 額 |        | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|   | 800千円  |      |       | 685千円 |        | 2円          |                 |    |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金  | 市 債    | その他特定財源     |                 |    |
|   |  |      |       |       |        | 685千円       |                 |    |
| 1 事業目的  |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| <p>子どもが夢や希望を持ち、自立して生きる力を身に付けることができるよう、多様な経験や学びの機会を提供することで、子どもの主体性を育むとともに、市民、団体、企業、行政など市全体で子どもの夢や希望を応援するまちづくりを推進する。</p>  |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| 2 事業概要  |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| <p>1 あさひかわっ子夢応援プロジェクト二次選考会 160千円<br/>『夢とチャレンジについて熱く語る発表会』の開催<br/>(1) プレゼンテーションによる審査で、大賞1件及び奨励賞4件を選定<br/>(2) 6月24日開催<br/>(3) 発表者 5人 聴衆 80人</p> <p>2 チャレンジ研修の実施 343千円<br/>(1) 日本科学未来館 館長 毛利衛氏との対談<br/>(2) 東北大学、静岡大学で宇宙工学の特別講義受講<br/>(3) 筑波宇宙センターで宇宙飛行士模擬訓練体験</p> <p>3 研修報告会の開催、記録集の発行 122千円<br/>(1) 研修報告会<br/>(ア) 2月9日開催<br/>(イ) 発表者 チャレンジ研修実施者 聴衆 40人<br/>(2) 記録集<br/>(ア) 平成31年3月発行</p> <p>4 その他事務費 60千円</p> |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| 3 事業の成果   |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| <p>大賞受賞者は、自分自身が企画したチャレンジ研修を全て実現し、奨励賞受賞者についても、旭川市内の企業、学校、団体等の協力を得ながら、希望する研修を実施することができた。</p> <p>応募から報告会までの全ての取組を通して、子どもたちが将来について考え、様々な経験や学びの機会を得ることができたとともに、そのような子どもたちの姿を多くの市民に見てもらうことで、子どもたちの夢や希望を応援するまちづくりに寄与することができた。</p>  |  |      |       |       |        |             |                 |    |
| 課題と今後の取組  | <p>募集対象及び選定件数を検討するとともに、より多くの市民に見ていただけるよう、広報活動及び発表会・報告会開催の方法について検討する。</p> |      |       |       |        |             |                 |    |



|  |   |      |       |          |       |                 |     |
|--|---|------|-------|----------|-------|-----------------|-----|
| 事業名  | 国際理解教育推進費   |      |       |          | 担当部局  | 学校教育部           |     |
| 事業コード  | 大   | 04   | 10    | 款        | 教育費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 111 |
|  | 中   | 11   | 1     | 項        | 教育総務費 |                 |     |
|  | 小   | 15   | 3     | 目        | 教育指導費 |                 |     |
| 費用   | 予 算 額   |      |       | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |     |
|  | 31,203千円  |      |       | 30,888千円 |       | 92円             |     |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債   | その他特定財源         |     |
|  | 30,888千円  |      |       |          |       |                 |     |
| 1 事業目的   |   |      |       |          |       |                 |     |
| <p>小中学校における英語教育及び国際理解教育の充実を図るため、小中学校へ外国人英語指導助手（ALT）及び外国語活動サポーターを派遣する。</p>  |   |      |       |          |       |                 |     |
| 2 事業概要   |   |      |       |          |       |                 |     |
| <p>1 ALTの派遣及びALT活用に関する調査研究 28,622千円<br/>         (1) 小学校5, 6年生の外国語活動の授業への派遣（1学級当たり 13.6回）<br/>         （北海道の事業実績を含む）<br/>         (2) 小学校3, 4年生の外国語活動の授業への派遣（1学級当たり 9.0回）<br/>         (3) 中学校の英語の授業への派遣（1学級当たり 9.3回）<br/>         (4) 長期休業中における学習会及び校内研修への講師派遣（5校 延べ6回）<br/>         (5) 小学校教員英語研修会への講師派遣（4回 参加者78人）<br/>         (6) 小学校教員英語ワークショップへの講師派遣（4回 参加者23人）<br/>         (7) 旭川市外国人英語指導助手活用推進委員会における授業公開及び研究協議（7回）</p> <p>2 外国語活動サポーターの学校派遣 1,879千円<br/>         小学校3, 4年生の外国語活動の授業への派遣（1学級当たり 9.0回）<br/>         （北海道の事業実績を含む）</p> <p>3 長期休業中における児童生徒向け英語講座の実施 12千円<br/>         小学校3年生から中学校2年生を対象に実施（6日間 参加者203人）</p> <p>4 ALTオフィスの運用 375千円<br/>         授業や英語講座、教員向け研修会で使用する教材の作成等</p> |   |      |       |          |       |                 |     |
| 3 事業の成果  |   |      |       |          |       |                 |     |
| <p>全小中学校の外国語活動及び英語の授業にALTや英語がたんのうな地域人材の外国語活動サポーターを派遣したこと、また、長期休業中に児童生徒向けに英語講座を実施したことなどにより、多くの児童生徒の英語に対する興味・関心を高めるとともに、国際理解を深めることができた。</p>  |   |      |       |          |       |                 |     |
| 課題と今後の取組   | <p>令和2年度から小学校、令和3年度から中学校で全面実施となる新学習指導要領において、英語教育の充実が一層求められることから、ALT及び外国語活動サポーターの学校への派遣や児童生徒向け英語講座「イングリッシュ・チャレンジ教室」を継続実施するほか、新たにインターネット電話を活用した海外児童との交流授業を行うなど、児童生徒が生きた英語に触れる機会を拡充する。</p> |      |       |          |       |                 |     |

1 こども 生き生き 未来づくり

| 事業名   | 各種大会選手派遣等推進費（小学校・中学校）                           |         |     |         | 担当部局      | 学校教育部       |                 |                 |
|---|---|---------|-----|---------|-----------|-------------|-----------------|-----------------|
| 事業コード   | 大   | 04      | 10  | 款       | 教育費       |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 111<br>・<br>115 |
|   | 中   | 11      | 2・3 | 項       | 小学校費／中学校費 |             |                 |                 |
|   | 小   | 22・31   | 2   | 目       | 教育振興費     |             |                 |                 |
| 費用  | 予 算 額   |         |     | 決 算 額   |           | 市民一人当たりの決算額 |                 |                 |
|   | 12,250千円  |         |     | 8,494千円 |           | 25円         |                 |                 |
|   | 決算額の<br>財源内訳                                    | 一般財源    |     | 国庫支出金   | 道支出金      | 市 債         | その他特定財源         |                 |
|   |   | 8,494千円 |     |         |           |             |                 |                 |
| 1 事業目的  |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| <p>【小学校費】 小学校の文化活動の活性化を図るため、全道大会・全国大会に出場する児童の派遣費の一部を補助する。</p> <p>【中学校費】 体育文化活動の活性化を図るため、各種大会の開催経費や全道大会・全国大会に出場する生徒の派遣費の一部を補助する。</p>   |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| 2 事業概要  |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| <p>【小学校費】</p> <p>1 第61回旭川市小学校体育大会開催に伴う負担金 199千円</p> <p>2 平成30年度北海道吹奏楽コンクール派遣費補助 237千円<br/>           (1) 春光小学校スクールバンドクラブ（25人）<br/>           (2) 永山小学校吹奏楽クラブ（46人）<br/>           (3) 神居東小学校アンサンブルクラブ（36人）</p> <p>3 平成30年度北海道小学校バンドフェスティバル派遣費補助 172千円<br/>           (1) 春光小学校スクールバンドクラブ（25人）<br/>           (2) 北鎮小学校吹奏楽クラブ（44人）</p> <p>【中学校費】</p> <p>1 旭川市各種大会開催費補助金 700千円</p> <p>2 上川代表決定戦開催費補助金 135千円</p> <p>3 北海道大会開催費補助金（市内開催分） 160千円</p> <p>4 各種大会選手派遣費補助（延べ442人） 6,891千円</p> |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| 3 事業の成果   |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| <p>全道・全国大会に出場する児童生徒の派遣費用の一部を補助することで、保護者の負担を軽減し、児童生徒が安心して大会に参加できたことにより、小中学校の体育・文化活動の活性化につながった。</p>   |   |         |     |         |           |             |                 |                 |
| 課題と今後の取組  | 引き続き、全道・全国大会に出場する児童生徒の経費の一部を補助し、体育・文化活動の活性化を図る。 |         |     |         |           |             |                 |                 |

|   |                          |      |       |          |       |                 |     |
|---|--------------------------|------|-------|----------|-------|-----------------|-----|
| 事業名   | (新) 少人数学級編制費             |      |       |          | 担当部局  | 学校教育部           |     |
| 事業コード   | 大                        | 04   | 10    | 款        | 教育費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 113 |
|   | 中                        | 11   | 2     | 項        | 小学校費  |                 |     |
|   | 小                        | 43   | 2     | 目        | 教育振興費 |                 |     |
| 費用  | 予 算 額                    |      |       | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |     |
|   | 97,241千円                 |      |       | 90,030千円 |       | 267円            |     |
|   | 決算額の<br>財源内訳             | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債   | その他特定財源         |     |
|   | 90,030千円                 |      |       |          |       |                 |     |
| 1 事業目的  |                          |      |       |          |       |                 |     |
| <p>児童の状況に応じたきめ細かな対応や教員が子どもと向き合う時間の確保等の観点から、小学校1年生から4年生において、国・道の基準より少ない人数で学級を編制し、個々の児童に対する指導の充実を図る。<br/>         (「30人学級編制費」と「35人学級編制費」を「少人数学級編制費」として統合)</p>   |                          |      |       |          |       |                 |     |
| 2 事業概要  |                          |      |       |          |       |                 |     |
| <p>小学校1年生から4年生において、国・道の基準より少ない人数で学級を編制し、これに伴い学級数が増加した学校に、教員免許を有する市費負担教員（臨時的任用職員）を25人配置した。</p> <p>1 市費負担教員の配置<br/>         (1) 賃金・通勤手当 89,893千円<br/>         (2) 校外活動引率等旅費 137千円</p> <p>2 市費負担教員配置校<br/>         (1) 1年生（9校） 北鎮小，高台小，永山小，旭川第3小，西御料地小，近文第1小，末広小，東光小，忠和小<br/>         (2) 2年生（10校） 知新小，近文小，永山小，千代田小，西御料地小，神楽岡小，北光小，東光小，忠和小，愛宕東小<br/>         (3) 3年生（3校） 陵雲小，忠和小，末広北小<br/>         (4) 4年生（3校） 知新小，旭川小，東光小</p> |                          |      |       |          |       |                 |     |
| 3 事業の成果   |                          |      |       |          |       |                 |     |
| <p>学習面では意欲の向上や基礎学力の定着，生活面では課題を抱えた児童を的確に把握し，個に応じた指導の充実が図られた。</p>   |                          |      |       |          |       |                 |     |
| 課題と今後の取組  | 今後も引き続き，きめ細かな指導体制の充実を図る。 |      |       |          |       |                 |     |

1 こども 生き生き 未来づくり

| 事業名  |  | 特別支援教育推進費 |       |           |       | 担当部局            | 学校教育部 |  |
|--|--|-----------|-------|-----------|-------|-----------------|-------|--|
| 事業コード  | 大  | 04        | 10    | 款         | 教育費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 113   |  |
|  | 中  | 12        | 2     | 項         | 小学校費  |                 |       |  |
|  | 小  | 03        | 2     | 目         | 教育振興費 |                 |       |  |
| 費用   | 予 算 額  |           |       | 決 算 額     |       | 市民一人当たりの決算額     |       |  |
|  | 128,592千円  |           |       | 127,420千円 |       | 378円            |       |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源      | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債   | その他特定財源         |       |  |
|  | 122,509千円  | 4,911千円   |       |           |       |                 |       |  |
| 1 事業目的   |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| <p>特別支援学級等での障害の種類や程度に応じた指導のほか、通常の学級に在籍する児童生徒も含め、特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、一人一人のニーズを把握し、適切な教育的支援を行う「特別支援教育」の推進を図る。</p>   |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| 2 事業概要   |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| <p>1 特別支援教育補助指導員の配置 127,359千円<br/>配置人数（前年度比）<br/>小学校 59人<br/>中学校 22人<br/>計 81人（6人増）</p> <p>2 特別支援教育講演会の開催 61千円<br/>(1) 開催日 平成30年11月4日<br/>(2) 開催場所 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場<br/>(3) テーマ 障害者雇用は企業を成長・発展させるチャンス<br/>(4) 講師 日本理化学工業株式会社 常務取締役 西川一仁氏<br/>(5) 参加人数 115人</p> |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| 3 事業の成果  |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| <p>特別支援教育補助指導員を増員することで、医療的ケアなどの特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援体制の充実につながった。また、特別支援教育講演会を開催し、特別支援教育に対する市民の理解を深めることができた。</p>   |  |           |       |           |       |                 |       |  |
| 課題と今後の取組   | <p>特別支援教育補助指導員は、これまでも配置人数の増員を行ってきたが、今後も児童生徒への支援の充実に向け、必要な体制整備に努める。</p> |           |       |           |       |                 |       |  |

|  |   |         |       |         |       |                 |    |
|--|---|---------|-------|---------|-------|-----------------|----|
| 事業名  | 高等教育機関設置検討調査費   |         |       |         | 担当部局  | 総合政策部           |    |
| 事業コード  | 大   | 04      | 2     | 款       | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69 |
|  | 中   | 13      | 1     | 項       | 総務管理費 |                 |    |
|  | 小   | 01      | 10    | 目       | 企画費   |                 |    |
| 費用   | 予 算 額   |         |       | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |    |
|  | 10,500千円  |         |       | 6,936千円 |       | 21円             |    |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債   | その他特定財源         |    |
|  |   | 6,936千円 |       |         |       |                 |    |
| 1 事業目的   |   |         |       |         |       |                 |    |
| <p>地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを進めるため、本市にふさわしい高等教育機関の在り方等について調査検討する。</p>  |   |         |       |         |       |                 |    |
| 2 事業概要   |   |         |       |         |       |                 |    |
| <p>1 旭川大学を活用した公立大学設置に係る調査の実施 <span style="float: right;">6,566千円</span><br/>         (1) 内容<br/>         学生確保の見込みや運営収支の見通し、新設を予定している<br/>         地域創造デザイン学部の設置費用等<br/>         (2) 期間 平成30年8月24日～11月12日<br/>         (3) 委託先 有限責任監査法人トーマツ</p> <p>2 関係機関打合せ <span style="float: right;">370千円</span></p> |   |         |       |         |       |                 |    |
| 3 事業の成果  |   |         |       |         |       |                 |    |
| <p>旭川大学を活用した公立大学における学生確保の見込みや運営収支、新設を予定している地域創造デザイン学部の設置費用等の調査を実施し、その結果を踏まえて、旭川大学を活用した公立大学設置に係る課題について検討を進めた。</p>   |   |         |       |         |       |                 |    |
| 課題と今後の取組   | 旭川大学を活用した公立大学の設置について、関係機関と協議しながら、大学の運営収支の見通しや公立大学にふさわしい教職員の体制づくりなどの課題を整理する。 |         |       |         |       |                 |    |

1 こども 生き生き 未来づくり

| 事業名  | 高等学校等振興費  |          |    |          |          | 担当部局            | 子育て支援部  |  |
|--|---|----------|----|----------|----------|-----------------|---------|--|
| 事業コード  | 大   | 04       | 10 | 款        | 教育費      | 事項別明細書<br>掲載ページ | 121     |  |
|  | 中   | 23       | 7  | 項        | 私立学校等振興費 |                 |         |  |
|  | 小   | 03       | 1  | 目        | 私立学校等振興費 |                 |         |  |
| 費用   | 予 算 額   |          |    | 決 算 額    |          | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|  | 26,669千円  |          |    | 24,215千円 |          | 72円             |         |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源     |    | 国庫支出金    | 道支出金     | 市 債             | その他特定財源 |  |
|  |   | 15,850千円 |    |          |          |                 | 8,365千円 |  |
| 1 事業目的   |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| <p>次代を担う人材を育てるまちづくりにおいて、創意に富み活力のある教育の推進及び私立高等学校等の持っている重要な役割や公共性から、保護者の経済的負担の軽減や教育環境の整備及び教職員の教育力の向上等により、私立高等学校等の振興を図る。</p>  |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| 2 事業概要   |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| <p>1 旭川市私立高等学校入学一時金減免補助金 14,865千円<br/>市内私立高等学校5校が減免した入学一時金を補助<br/>入学者991人分</p> <p>2 旭川市私立高等学校教育推進補助金 7,384千円<br/>市内私立高等学校5校に対する教材等の整備や教職員の研究等活動経費の一部を補助</p> <p>3 旭川市高等学校定時制通信制教育振興補助金 100千円<br/>旭川市高等学校定時制通信制教育振興会の事業費の一部を補助</p> <p>4 旭川市私立通信制高等学校入学時負担金等減免補助金 1,866千円<br/>市内私立通信制高等学校4校が減免した入学時負担金等を補助<br/>入学者125人分</p> |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| 3 事業の成果  |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| <p>私学等の振興を通じた子育て支援という趣旨で各種補助金を交付したことにより、教育水準の維持向上及び保護者負担の軽減が図られた。</p>  |   |          |    |          |          |                 |         |  |
| 課題と今後の取組   | 私学等の振興のため、更なる教育環境の向上に寄与するより効果的な事業構築について、調査、研究に取り組む。 |          |    |          |          |                 |         |  |

|       |              |      |         |      |             |                 |           |
|-------|--------------|------|---------|------|-------------|-----------------|-----------|
| 事業名   | スポーツ大会等誘致推進費 |      |         |      |             | 担当部局            | 観光スポーツ交流部 |
| 事業コード | 大            | 05   | 10      | 款    | 教育費         | 事項別明細書<br>掲載ページ | 121       |
|       | 中            | 32   | 6       | 項    | 保健体育費       |                 |           |
|       | 小            | 03   | 1       | 目    | 保健体育総務費     |                 |           |
| 費用    | 予算額          |      | 決算額     |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |           |
|       | 6,240千円      |      | 5,322千円 |      | 16円         |                 |           |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源 | 国庫支出金   | 道支出金 | 市債          | その他特定財源         |           |
|       | 5,322千円      |      |         |      |             |                 |           |

1 事業目的

スポーツ大会や合宿誘致など、スポーツを目的とした来訪者の増加を図るとともに、市民に対しスポーツに親しむ機会を提供することで、競技人口の増加や競技力の向上を図る。

2 事業概要

- 1 合宿誘致等の誘致推進 5,322千円
- (1) スポーツ合宿誘致等推進協議会負担金
- ・ウィルチェアーラグビー日本チーム旭川合宿  
平成30年7月3日～9日 7日間
  - ・レスリング女子日本チーム旭川合宿  
平成30年9月10日～15日 6日間  
※北海道胆振東部地震の影響により中止
  - ・スポーツ講演会  
「スポーツとまちづくりのこれから」  
平成31年2月14日
- (2) 合宿誘致等プロモーション活動の推進
- ・PR用DVDの作成等




3 事業の成果

官民連携で設立された旭川市スポーツ合宿誘致等推進協議会を中心に、地元競技団体や関係団体との協働により、ウィルチェアーラグビーやレスリング女子の日本チームの合宿誘致活動及び受入れに取り組み、レスリング女子の合宿が決定したほか、スポーツ講演会等を実施し、スポーツへの関心を高めるとともに本市の知名度向上に寄与した。

また、その他の競技についても、合宿誘致・情報交換を行い、令和元年度、新たに柔道及びスピードスケートの合宿実現につながった。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | スポーツ大会や合宿誘致実現に向け、引き続き誘致活動及び関係競技団体等との情報交換を行うほか、受入体制の更なる充実を図る。 |
|----------|--|

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名   |  |         |   |       | 農産物等流通拡大支援費 | 担当部局            | 農政部         |
|---|--|---------|---|-------|-------------|-----------------|-------------|
| 事業コード   | 大  | 06      | 6 | 款     | 農林水産業費      | 事項別明細書<br>掲載ページ | 93          |
|   | 中  | 11      | 1 | 項     | 農業費         |                 |             |
|   | 小  | 05      | 3 | 目     | 農産園芸振興費     |                 |             |
| 費用  | 予 算 額  |         |   |       | 決 算 額       |                 | 市民一人当たりの決算額 |
|   | 4,150千円  |         |   |       | 3,481千円     |                 | 10円         |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源    |   | 国庫支出金 | 道支出金        | 市 債             | その他特定財源     |
|   |  | 3,481千円 |   |       |             |                 |             |
| 1 事業目的  |  |         |   |       |             |                 |             |
| <p>農産物の付加価値向上や流通拡大を図るため、食品関連事業者と農業者とのマッチング、道外販路開拓、加工・施設等の整備などに取り組む事業者を支援することにより、農業者の所得向上を図る。</p>  |  |         |   |       |             |                 |             |
| 2 事業概要  |  |         |   |       |             |                 |             |
| <p>1 実需連携推進事業 211千円<br/>         ・「asahikawaおやさい×スイーツ」<br/>         市内8菓子店・1回（9日間）</p> <p>2 加工・販売施設等整備事業 2,542千円<br/>         (1) 加工・販売施設等整備事業 (2,342千円)<br/>         ・トマトジュース加工施設新設支援<br/>         ・そば貯蔵熟成施設増設<br/>         (2) 実需連携型商品開発等支援事業 (200千円)<br/>         ・冷凍ピザ・ライスコロッケ開発支援<br/>         ・精米パッケージデザイン・製造</p> <p>3 販路開拓支援事業 200千円<br/>         ・首都圏商談会（インフォメーションバザール）出展支援<br/>         東京都池袋・2日間・市内4JA出展</p> <p>4 旭川産農産物PR支援事業 195千円<br/>         ・旭川空港での農産物PRイベント実施支援等<br/>         旭川空港イベント（2回・5日間）、旭川駅前イベント（1回・1日間）</p> <p>5 市場開拓等事業 300千円<br/>         ・農産物出荷団体新規販路開拓・販路拡大事業支援<br/>         農業高校連携での商品開発実施<br/>         あったか旭川まん（3品目）／市内外販売イベント（11日間）</p> <p>6 事務費（消耗品費） 33千円</p> |  |         |   |       |             |                 |             |
|  <p>精米パッケージ<br/>(商品開発支援)</p>  |  |         |   |       |             |                 |             |
| 3 事業の成果   |  |         |   |       |             |                 |             |
| <p>旭川の野菜を使ったスイーツのイベント販売など、青果出荷団体と菓子店が連携した取組により相互のPRを行った。<br/>         また、旭川の玄関口である空港でのイベントや道外商談会出店を通じ、旭川産農産物の認知度向上や需要動向把握・新規販路開拓を支援した。<br/>         このほか、農産物の付加価値向上を目指す農業者に対し、生産設備等の導入や商品開発支援を行い、農業者の所得向上を図ることができた。</p>   |  |         |   |       |             |                 |             |
| 課題と今後の取組  | <p>6次産業化には、意欲ある個々の取組を支援することに加え、多くの農業者に普及する取組が重要であることから、実需者と連携した農畜産物の付加価値向上のため、そのマッチングについて旭川食品産業支援センターと連携した取組を進める必要がある。</p> |         |   |       |             |                 |             |



| 事業名   | 地場産品開発・販路拡大支援費   |          |   |          |       | 担当部局            | 経済部     |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|---|--|----------|---|----------|-------|-----------------|---------|----------------|-------|--------------------------------|--|------------------|----------|------------------------|--|-----------------------|---------|------------|--|----------|--|------------------------------|---------|------------------------------------|--|------------------|--|---|--|--------------------|--|--------------------------------|---------|---------|--|-------------|-------|-----------------------------------|--|-------------------|---------|-----------------------------------|--|---------|-------|
| 事業コード   | 大  | 06       | 7 | 款        | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97      |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|   | 中  | 11       | 1 | 項        | 商工費   |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|   | 小  | 33       | 2 | 目        | 工業振興費 |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 費用  | 予 算 額  |          |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|   | 31,989千円   |          |   | 31,454千円 |       | 93円             |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
|   |  | 18,112千円 |   | 12,842千円 |       |                 | 500千円   |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 1 事業目的  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| <p>市内経済の活性化及び雇用の拡大を図るため、ものづくり産業の中小企業を対象に、新製品開発・研究から販路拡大までの各事業段階への各種支援を実施し、域外からの外貨獲得を目指す。</p>  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 2 事業概要  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| <table border="0"> <tr> <td>1 地場産業海外展開推進事業</td> <td>688千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">関係団体と連携し、地元企業のベトナムでの事業展開を支援した。</td> </tr> <tr> <td>2 ユニバーサル製品開発支援事業</td> <td>16,710千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">産学官連携によるユニバーサル製品を開発した。</td> </tr> <tr> <td>3 あさひかわ産品プロモーション戦略補助金</td> <td>3,554千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">販売促進活動への補助</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・補助件数10件</td> </tr> <tr> <td>4 ものづくり企業販路拡大支援事業（展示会への出展支援）</td> <td>3,558千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1) 第32回ビジネスEXPO2018（札幌市，出展企業数10社）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成30年11月8日～11月9日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2) 新価値創造展2018（第14回中小企業展）（東京都，出展企業数10社）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成30年11月14日～11月16日</td> </tr> <tr> <td>5 新製品等開発・研究促進補助金（新製品・技術開発への補助）</td> <td>5,101千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・補助件数3件</td> </tr> <tr> <td>6 旭川発明協会補助金</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">知的財産普及事業等を実施する旭川発明協会へ運営費の一部を補助した。</td> </tr> <tr> <td>7 新ビジネス創出システム推進事業</td> <td>1,242千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">企業間のマッチングを進め、地域連携による新ビジネス創出を推進した。</td> </tr> <tr> <td>8 その他経費</td> <td>401千円</td> </tr> </table> |  |          |   |          |       |                 |         | 1 地場産業海外展開推進事業 | 688千円 | 関係団体と連携し、地元企業のベトナムでの事業展開を支援した。 |  | 2 ユニバーサル製品開発支援事業 | 16,710千円 | 産学官連携によるユニバーサル製品を開発した。 |  | 3 あさひかわ産品プロモーション戦略補助金 | 3,554千円 | 販売促進活動への補助 |  | ・補助件数10件 |  | 4 ものづくり企業販路拡大支援事業（展示会への出展支援） | 3,558千円 | (1) 第32回ビジネスEXPO2018（札幌市，出展企業数10社） |  | 平成30年11月8日～11月9日 |  | (2) 新価値創造展2018（第14回中小企業展）（東京都，出展企業数10社） |  | 平成30年11月14日～11月16日 |  | 5 新製品等開発・研究促進補助金（新製品・技術開発への補助） | 5,101千円 | ・補助件数3件 |  | 6 旭川発明協会補助金 | 200千円 | 知的財産普及事業等を実施する旭川発明協会へ運営費の一部を補助した。 |  | 7 新ビジネス創出システム推進事業 | 1,242千円 | 企業間のマッチングを進め、地域連携による新ビジネス創出を推進した。 |  | 8 その他経費 | 401千円 |
| 1 地場産業海外展開推進事業  | 688千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 関係団体と連携し、地元企業のベトナムでの事業展開を支援した。  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 2 ユニバーサル製品開発支援事業  | 16,710千円   |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 産学官連携によるユニバーサル製品を開発した。  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 3 あさひかわ産品プロモーション戦略補助金   | 3,554千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 販売促進活動への補助  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| ・補助件数10件  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 4 ものづくり企業販路拡大支援事業（展示会への出展支援）  | 3,558千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| (1) 第32回ビジネスEXPO2018（札幌市，出展企業数10社）  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 平成30年11月8日～11月9日  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| (2) 新価値創造展2018（第14回中小企業展）（東京都，出展企業数10社）   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 平成30年11月14日～11月16日  |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 5 新製品等開発・研究促進補助金（新製品・技術開発への補助）  | 5,101千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| ・補助件数3件   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 6 旭川発明協会補助金   | 200千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 知的財産普及事業等を実施する旭川発明協会へ運営費の一部を補助した。   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 7 新ビジネス創出システム推進事業   | 1,242千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 企業間のマッチングを進め、地域連携による新ビジネス創出を推進した。   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 8 その他経費   | 401千円  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 3 事業の成果   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| <p>補助金等により企業の新製品開発を促進するとともに、販売促進活動に対する補助金や展示会出展支援等により、企業の販路拡大への取組を支援した。</p>   |  |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |
| 課題と今後の取組  | <p>ものづくり企業は、ニーズ等が変化していく市場に対応しながら製品開発と販路拡大に取り組み続けていく必要があるため、その効果を見極めながら取組への支援を継続し、市内経済活性化及び雇用の確保・拡大を図っていく必要がある。</p> |          |   |          |       |                 |         |                |       |                                |  |                  |          |                        |  |                       |         |            |  |          |  |                              |         |                                    |  |                  |  |   |  |                    |  |                                |         |         |  |             |       |                                   |  |                   |         |                                   |  |         |       |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名   |              | 食品産業支援費  |   |         |         | 担当部局            | 経済部         |  |
|---|--------------|--|---|---------|---------|-----------------|-------------|--|
| 事業コード   | 大            | 06   | 7 | 款       | 商工費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97          |  |
|   | 中            | 11   | 1 | 項       | 商工費     |                 |             |  |
|   | 小            | 34   | 2 | 目       | 工業振興費   |                 |             |  |
| 費用  | 予 算 額        |  |   |         | 決 算 額   |                 | 市民一人当たりの決算額 |  |
|   | 5,911千円      |  |   |         | 5,908千円 |                 | 18円         |  |
|   | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源   |   | 国庫支出金   | 道支出金    | 市 債             | その他特定財源     |  |
|   |              | 4,008千円  |   | 1,900千円 |         |                 |             |  |
| 1 事業目的  |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| <p>加工食品開発事業の推進による市内経済の活性化を図るため、地域関係機関と連携した支援体制を構築し、地場農産物等を活用した付加価値の高い市場競争力のある加工食品の開発や健康に寄与する食品開発等を支援する。</p>   |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| 2 事業概要  |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| <p>1 食品産業支援センター運営負担金 2,100千円<br/>商品開発支援や食品試験分析を行う旭川食品産業支援センターに負担金を交付した。</p> <p>(1) 商品開発支援等3件<br/>(2) 企業活動支援<br/>(ア) 総合相談件数489件<br/>(イ) 食品試験430検体819項目<br/>(ウ) 衛生管理指導件数10件<br/>(エ) 衛生管理・食品表示等に係るセミナー10回開催</p> <p>2 あさひかわ健康食づくり負担金 3,800千円<br/>地域の農産物や加工技術等を生かした健康に寄与する食品開発を進めるため、旭川食品産業支援センターに負担金を交付した。</p> <p>(1) 健康食品開発事業化支援5件<br/>(2) 健康食品開発セミナー1回開催</p> <p>3 その他経費 8千円</p> |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| 3 事業の成果   |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| <p>食品関連企業向けの各種支援の実施により、健康に寄与する商品を含む商品開発の促進や技術力及び知識の向上を図ることができ、地場産品の高付加価値化、ブランド化、企業の販路拡大につながった。</p>  |              |  |   |         |         |                 |             |  |
| 課題と今後の取組  |              | <p>法律の改正による食品表示制度や衛生管理制度の変更への対応など、食品関連企業が取り組むべき課題は多く、また、市場に対応した製品開発や販路拡大への取組も続けていく必要があるため、より効果的な支援を継続し、経済活性化を図っていく必要がある。</p> |   |         |         |                 |             |  |

| 事業名  | (新) 旭川元気ものづくり大賞表彰事業費  |      |   |       |       | 担当部局            | 経済部     |  |
|--|---|------|---|-------|-------|-----------------|---------|--|
| 事業コード  | 大   | 06   | 7 | 款     | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97      |  |
|  | 中   | 11   | 1 | 項     | 商工費   |                 |         |  |
|  | 小   | 35   | 2 | 目     | 工業振興費 |                 |         |  |
| 費用   | 予 算 額   |      |   | 決 算 額 |       | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|  | 426千円   |      |   | 418千円 |       | 1円              |         |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 |   | 国庫支出金 | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |  |
|  |   |      |   |       |       |                 | 418千円   |  |
| 1 事業目的   |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| <p>市内ものづくり企業を対象に優れた製品や技術を表彰し、その製品や技術を紹介するための図録を作製・配布することで、ものづくり企業の製品・技術を広くPRし、企業ブランドの向上等による市内経済の活性化を図る。</p>  |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| 2 事業概要   |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| <p>1 対象製品・技術の募集と表彰 <span style="float:right">23千円</span><br/> 工業製品部門と加工食品部門の2分野に分けて募集を行い、外部審査選考により受賞企業を決定した。<br/> (1) 工業製品部門 (応募7社, 受賞企業4社)<br/> (ア) 大賞<br/> ・株式会社エフ・イー (異形根菜類洗浄機)<br/> ・株式会社富貴堂ユーザック (営農クラウドシステム「しっかりファーム」)<br/> (イ) 特別賞<br/> ・中央精工株式会社 (移植用臓器灌流保存装置)<br/> ・株式会社カンディハウス (テンダイニングEXソリッドテーブル)<br/> (2) 加工食品部門 (応募6社, 受賞企業3社)<br/> (ア) 大賞<br/> ・伊勢ファームチーズ工房 (酒粕ブルーチーズ旭川)<br/> (イ) 準大賞<br/> ・株式会社壺屋総本店 (ロカボクッキー)<br/> (ウ) 特別賞<br/> ・株式会社米谷産業<br/> (入れ歯でも食べられる究極ホルモン「やわらか」シリーズ)</p> <p>2 製品・技術紹介のための図録作製 <span style="float:right">374千円</span></p> <p>3 その他経費 <span style="float:right">21千円</span></p> |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| 3 事業の成果  |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| <p>ものづくり企業の製品・技術を広くPRするとともに、製品・技術を紹介する図録の作製及び市内外への配布により、企業の販路拡大への取組を支援した。</p>  |   |      |   |       |       |                 |         |  |
| 課題と今後の取組   | <p>より多くの方にもものづくり企業の製品や技術を知ってもらうため、旭川元気ものづくり大賞をより一層周知し、さらなるPRを図る必要がある。</p> |      |   |       |       |                 |         |  |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名   | 企業誘致地域活力創生費  |          |   |          |       | 担当部局            | 経済部     |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|---|--|----------|---|----------|-------|-----------------|---------|----------------------------------|---------|---------------|-------|--------------|-------|-------------------|---------|-------------------|---------|
| 事業コード   | 大  | 06       | 7 | 款        | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97      |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|   | 中  | 12       | 1 | 項        | 商工費   |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|   | 小  | 01       | 3 | 目        | 企業誘致費 |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 費用  | 予 算 額  |          |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|   | 25,785千円   |          |   | 24,961千円 |       | 74円             |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
|   |  | 24,961千円 |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 1 事業目的  |  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| <p>企業を誘致することで、地場企業との連携強化を通じ、本市産業構造の高度化を図り、雇用機会の創出と地域経済の発展・活性化を促進する。</p>   |  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 2 事業概要  |  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| <p>本市への企業立地動向に係る情報を収集するとともに、展示会等で立地環境や助成制度について広くPRし、関係機関との連携を図りながら、誘致活動を展開した。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 企業誘致折衝訪問活動（関東・関西・中部圏及び道内：924社）</td> <td>6,760千円</td> </tr> <tr> <td>2 日刊工業新聞広告掲出料</td> <td>499千円</td> </tr> <tr> <td>3 各種PRチラシ作成料</td> <td>275千円</td> </tr> <tr> <td>4 旭川市企業誘致推進協議会負担金</td> <td>8,902千円</td> </tr> <tr> <td>5 旭川地域産業活性化協議会負担金</td> <td>8,525千円</td> </tr> </table> <p>※ 事業実施にあたっては、上記両団体と連携の上、実施した。</p> |  |          |   |          |       |                 |         | 1 企業誘致折衝訪問活動（関東・関西・中部圏及び道内：924社） | 6,760千円 | 2 日刊工業新聞広告掲出料 | 499千円 | 3 各種PRチラシ作成料 | 275千円 | 4 旭川市企業誘致推進協議会負担金 | 8,902千円 | 5 旭川地域産業活性化協議会負担金 | 8,525千円 |
| 1 企業誘致折衝訪問活動（関東・関西・中部圏及び道内：924社）  | 6,760千円  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 2 日刊工業新聞広告掲出料   | 499千円  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 3 各種PRチラシ作成料  | 275千円  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 4 旭川市企業誘致推進協議会負担金   | 8,902千円  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 5 旭川地域産業活性化協議会負担金   | 8,525千円  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 3 事業の成果   |  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| <p>旭川地域企業誘致東京サテライトオフィスを活用し、企業訪問活動、展示会への出展、セミナーの開催等の取組を通じて、立地環境や地域特性、優遇制度、動物園通り産業団地のPR、立地有意企業の掘り起こし、立地企業の人材育成・人材確保の支援を行うことで、企業立地の促進を図り、1社を誘致した。</p> <p>・ 共通運送（株）旭川営業所</p>  |  |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |
| 課題と今後の取組  | <p>地域特性を生かした産業（食品関連産業、物流関連産業等）を重点ターゲットとして、新規折衝企業の開拓をさらに強化し、動物園通り産業団地への立地を誘導する。</p> |          |   |          |       |                 |         |                                  |         |               |       |              |       |                   |         |                   |         |

|       |                  |      |   |          |       |                 |         |
|-------|------------------|------|---|----------|-------|-----------------|---------|
| 事業名   | 動物園通り産業団地開発事業貸付金 |      |   |          | 担当部局  | 経済部             |         |
| 事業コード | 大                | 06   | 7 | 款        | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97      |
|       | 中                | 12   | 1 | 項        | 商工費   |                 |         |
|       | 小                | 02   | 3 | 目        | 企業誘致費 |                 |         |
| 費用    | 予 算 額            |      |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 28,933千円         |      |   | 28,200千円 |       | 84円             |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳     | 一般財源 |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |
|       |                  |      |   |          |       | 28,200千円        |         |

1 事業目的

首都圏等の大都市圏から産業を呼び込み、多様な産業連携と地域経済の活性化を促進し、雇用機会の拡大を図る。

2 事業概要

東旭川町日ノ出地区における産業業務施設の受け皿となる団地の開発に対して、当該団地の事業実施者である（株）旭川振興公社に開発資金を貸し付ける。

- 1 動物園通り産業団地開発事業貸付金 28,200千円



3 事業の成果

平成30年4月から造成が完了した一部区画の分譲を開始し、未造成であった区画については、（株）旭川振興公社により造成工事を行い、平成30年10月から分譲を開始した。

- 平成30年度立地決定企業 （株）弁釜 20,069.5㎡ 218,690千円

課題と今後の取組

資金貸付による造成は終了したことから、今後は全区画の早期売却を目指し、企業誘致の活動を強化していく。

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名  |  | 技能のまちづくり推進費 |         |      |             | 担当部局            | 経済部 |
|--|--|-------------|---------|------|-------------|-----------------|-----|
| 事業コード  | 大  | 06          | 7       | 款    | 商工費         | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97  |
|  | 中  | 21          | 1       | 項    | 商工費         |                 |     |
|  | 小  | 01          | 2       | 目    | 工業振興費       |                 |     |
| 費用   | 予 算 額  |             | 決 算 額   |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |     |
|  | 2,559千円  |             | 2,501千円 |      | 7円          |                 |     |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源        | 国庫支出金   | 道支出金 | 市 債         | その他特定財源         |     |
|  |  | 2,068千円     | 433千円   |      |             |                 |     |
| 1 事業目的   |  |             |         |      |             |                 |     |
| <p>全国に誇れる「技能のまち・旭川」としてのまちづくりを推進し、技能業界全体の活性化や技能尊重の機運を高めていくため、技能五輪大会出場に対する助成や技能イベントの開催支援、優秀技能者の表彰等を実施する。</p>   |  |             |         |      |             |                 |     |
| 2 事業概要   |  |             |         |      |             |                 |     |
| <p>1 旭川市優秀技能者表彰事業 445千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓越技能者表彰7人<br/>(25年以上の実務経験等のある50歳以上の方が対象)</li> <li>・中堅優秀技能者表彰13人<br/>(10年以上の実務経験等のある30歳以上50歳未満の方が対象)</li> <li>・若手優秀技能者表彰5人<br/>(技能五輪等の全国大会において入賞以上の成績を収めた30歳未満の方が対象)</li> </ul> <p>2 技能イベント開催事業補助金 300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技能士会等が行う技能を知ってもらうための市民向けイベントに対する補助</li> </ul> <p>3 技能五輪全国大会等出場助成事業補助金 134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助件数7件</li> </ul> <p>4 事業内職業訓練施設運営費補助金 1,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の認定を受けた職業訓練実施団体等への補助(2団体訓練生9人)</li> </ul> <p>5 その他経費 122千円</p> |  |             |         |      |             |                 |     |
| 3 事業の成果  |  |             |         |      |             |                 |     |
| <p>地域産業を支える技能者をたたえる表彰事業や次代を担う若手技能者が出場する技能大会等への支援をすることで、技能者の意欲向上等に寄与することができた。また、技能団体が市民向けに行う技能イベントを支援することで、市民が様々な業種の技能者と触れ合い、「技能のまち・旭川」への理解を深めることができた。</p>  |  |             |         |      |             |                 |     |
| 課題と<br>今後の取組   | <p>どの職種も人材不足が課題となっているが、技能者の人材不足も例外ではなく、技能関係の職種に対するイメージ向上を目指し、業界団体と連携を図りながら、課題解決のための支援を継続していく必要がある。</p> |             |         |      |             |                 |     |

|       |              |         |   |         |        |             |                 |
|-------|--------------|---------|---|---------|--------|-------------|-----------------|
| 事業名   | 新規就農確保・育成対策費 |         |   |         | 担当部局   | 農政部         |                 |
| 事業コード | 大            | 06      | 6 | 款       | 農林水産業費 |             | 事項別明細書<br>掲載ページ |
|       | 中            | 21      | 1 | 項       | 農業費    |             |                 |
|       | 小            | 06      | 2 | 目       | 農業振興費  |             |                 |
| 費用    | 予 算 額        |         |   | 決 算 額   |        | 市民一人当たりの決算額 |                 |
|       | 8,851千円      |         |   | 4,447千円 |        | 13円         |                 |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    |   | 国庫支出金   | 道支出金   | 市 債         | その他特定財源         |
|       |              | 4,447千円 |   |         |        |             |                 |

1 事業目的

担い手が減少していく中であっても本市農業を力強く発展させていくため、行政と地域が一体となって、新規就農者の受入れから経営発展までを一貫して支援することで、地域をけん引する競争力の高い経営体を育成する。

2 事業概要

- 1 農業研修受入指導謝金 1,356千円（2件）  
新規就農を目指す研修生の研修指導農家に対する謝礼
- 2 農業指導者研修会の開催 40千円  
開催日 平成31年1月29日（火） 参加人数16人  
テーマ：農業指導者のためのコミュニケーション能力向上  
講師：麻生けんたろう氏
- 3 新規就農者農地等賃借料助成補助金 658千円（5件）  
農地賃借料，機械リース料等に対する補助金
- 4 新規就農者経営開始支援補助金 1,512千円（9件）  
施設整備に対する補助金
- 5 農業研修設備整備推進事業補助金 168千円（1件）  
市内農協等の新規就農者研修用ハウス整備に対する補助金
- 6 農業研修生住宅費助成事業補助金 42千円（1件）  
新規就農者の家賃に対する補助
- 7 新規就農者の飛躍を後押しする補助金 86千円（1件）  
就農6～10年目の一定要件を満たした新規就農者が実施する経営発展に向けた取組に対する補助金
- 8 推進事業費 585千円  
就農相談会への参加，新規就農ポスターの作成，担い手育成会費



3 事業の成果

新規就農に向けた研修や各種補助等の実施により、平成30年度は2人が新たに就農したところであり、着実に新規就農者数を伸ばしている。  
また、過去に市の支援を受け就農した方々が、地域の新たな推進作物生産の指導的な立場となったり、部会における代表を務めるなど地域の中核的な役割を果たすようになってきている。

課題と今後の取組

高齢化や人口減少等により今後、農業の担い手は更に減少していくことが予想されるため、行政と地域が一体となって、新たに農業を志す人材を確保・育成していくことの重要性は高まっており、継続した新規就農者への支援を行っていく必要がある。

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名  | ものづくり応援・人材育成費 |   |       |       |         | 担当部局            | 経済部         |  |
|--|---------------|---|-------|-------|---------|-----------------|-------------|--|
| 事業コード  | 大             | 06  | 7     | 款     | 商工費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97          |  |
|  | 中             | 21  | 1     | 項     | 商工費     |                 |             |  |
|  | 小             | 08  | 2     | 目     | 工業振興費   |                 |             |  |
| 費用   | 予 算 額         |   |       |       | 決 算 額   |                 | 市民一人当たりの決算額 |  |
|  | 2,838千円       |   |       |       | 2,782千円 |                 | 8円          |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳  |   | 一般財源  | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債             | その他特定財源     |  |
|  |               | 2,558千円   | 224千円 |       |         |                 |             |  |
| 1 事業目的   |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| <p>企業の生産性向上や製品の高付加価値化、技術力向上等に資する研修等の実施により、ものづくり産業を担う人材の育成を行う。</p>  |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| 2 事業概要   |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| <p>1 ものづくり応援・人材育成事業 <span style="float: right;">2,333千円</span><br/> 各業界向けに、各種研修を実施した。(5分野、合計7回333人参加)</p> <p>(1) 食品加工分野関連<br/> ジバとデザイン(2月5日、47人)</p> <p>(2) 情報通信産業関連<br/> ヒトの能力を超えた世界(6月15日、29人)</p> <p>(3) 機械金属産業関連<br/> 機械金属業界に向けた事業承継・相続セミナー「社長の終活」<br/> (5月14日、55人)</p> <p>(4) 起業・創業・第二創業予定者関連<br/> 企業支援のパイオニアに聴く「新ビジネスの創造」(2月2日、103人)</p> <p>(5) デザイン分野・事業承継関連<br/> (ア) コトバとデザインの話(7月21日、32人)<br/> (イ) 事業承継セミナー(9月28日、43人)<br/> (ウ) 事業承継の正しい取り組みと税制の特例活用(2月5日、24人)</p> <p>2 あさひかわ産品体験ツアー <span style="float: right;">5千円</span><br/> 小中学生を対象に市内の工場見学ツアーを実施した。(14人参加)</p> <p>3 ものづくりサマーキャンプ <span style="float: right;">444千円</span><br/> 雇用のミスマッチング解消を目的に、高校生等を対象に市内のものづくり企業でのインターンシップ及び工場見学ツアーを行った。(学生39人参加)</p> |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| 3 事業の成果  |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| <p>各業界が抱える課題やニーズに沿った研修を実施することで、様々な分野におけるものづくり産業を担う人材の育成に寄与することができた。<br/> また、高校生等を対象としたインターンシップの実施により、ものづくり企業に触れてもらうことができ、就職先として検討されるなど雇用確保に寄与することができた。</p>   |               |   |       |       |         |                 |             |  |
| 課題と今後の取組   |               | ものづくり企業は、ニーズ等が変化していく市場に対応するために様々な知識や技術力の向上が不可欠であり、その人材を育成するための支援を継続して行う必要がある。 |       |       |         |                 |             |  |



|       |              |         |       |         |       |                 |    |
|-------|--------------|---------|-------|---------|-------|-----------------|----|
| 事業名   | 旭川工芸技術等継承事業費 |         |       |         | 担当部局  | 経済部             |    |
| 事業コード | 大            | 06      | 7     | 款       | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97 |
|       | 中            | 21      | 1     | 項       | 商工費   |                 |    |
|       | 小            | 13      | 2     | 目       | 工業振興費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |         |       | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 2,716千円      |         |       | 2,486千円 |       | 7円              |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債   | その他特定財源         |    |
|       | 1,243千円      | 1,243千円 |       |         |       |                 |    |

1 事業目的


家具・建具などの優れた製作技術の継承に取り組むとともに、多様化する市場に対応可能な幅広い分野の知識習得を行うことにより、木工関連産業及び工芸品製造業の次世代を担う人材育成を図る。  
また、地域へ地場の木製品産業を広める機会を設け、地域産業への更なる理解を深める。

2 事業概要


1 研修会 2,219千円  
 (1) 家具実習コースの実施 7日間開催, 参加者7人  
 (2) 建具実習コースの実施 4日間開催, 参加者4人  
 (3) 窯業実習コースの実施 4日間開催, 参加者8人  
 (4) 実習用機械・機器の導入 (電気炉)

2 講習会 263千円  
 (1) 「半磁器土をベースとした顔料の練り込み技法」  
 9月5日開催, 参加者 8人  
 (2) 「椅子張りの基礎技術」  
 9月22日開催, 参加者40人  
 (3) 「伝統工芸品「岩谷堂筆筒」と桜木家具店の取組」  
 11月27日開催, 参加者12人  
 (4) 「(株)コサイン創立30年のあゆみから経験し学んだこと」  
 2月7日開催, 参加者24人

3 市民向け講習会 4千円  
 「旭川木工体験ツアー」(工場見学ツアー, 木製計量スプーンの製作体験)  
 10月20日開催, 参加者14人



家具実習コース



講習会

3 事業の成果

研修会・講習会では、窯業技術の継承を図るため、新たに窯元向けの窯業実習コースを実施したほか、また、地域内外の熟練技術者やデザイナー・家具メーカーから多くの技法やノウハウ、家具業界の課題などを学ぶことができ、技術・技能の継承及び知識の習得につながった。  
また、市民向け講習会では、工場見学とものづくり体験を通じ、旭川地域の主要産業である家具製造業について理解を広めることができた。

|          |   |
|----------|---|
| 課題と今後の取組 | 業界が持つ課題やニーズを把握するとともに、円滑な技術の継承が可能となるよう、更なるカリキュラムの充実を図っていく。 |
|----------|---|

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |                    |         |   |         |        |             |                 |
|-------|--------------------|---------|---|---------|--------|-------------|-----------------|
| 事業名   | (新) 担い手育成バックアップ対策費 |         |   |         | 担当部局   | 農政部         |                 |
| 事業コード | 大                  | 06      | 6 | 款       | 農林水産業費 |             | 事項別明細書<br>掲載ページ |
|       | 中                  | 21      | 1 | 項       | 農業費    |             |                 |
|       | 小                  | 15      | 2 | 目       | 農業振興費  |             |                 |
| 費用    | 予 算 額              |         |   | 決 算 額   |        | 市民一人当たりの決算額 |                 |
|       | 2,967千円            |         |   | 1,600千円 |        | 5円          |                 |
|       | 決算額の<br>財源内訳       | 一般財源    |   | 国庫支出金   | 道支出金   | 市 債         | その他特定財源         |
|       |                    | 1,542千円 |   |         |        |             | 58千円            |

1 事業目的

本市の農業基盤強化に向けて、後継者等の育成体制を構築するとともに、若手経営者の多角化や経営判断力の向上の取組を後押しする。特に意欲のある若い世代への重点的な支援により、将来的な地域農業のリーダー等となる人材を育成するシステムの確立を図る。

2 事業概要

- 1 園芸担い手研修モデル事業 366千円  
農業後継者等の園芸作物への参入を支援 対象：2件
- 2 農業担い手育成支援事業費 314千円
  - ・ 農業団体等研修支援補助金 (230千円)  
青年・女性農業団体活動が行う研修等への補助  
対象：4件（担い手団体：2件 女性団体：2件）
  - ・ 認定農業者育成支援事業 (25千円)  
経営改善計画の新規認定・更新認定  
対象：135件（新規：30件 更新：105件）
  - ・ 農地保有合理化事業 (59千円)  
農地中間管理機構が実施する農地集積事業の一部受託  
対象：53件（買入：4件 売買：8件 管理：41件）



- 3 旭川地域青年農業者連絡協議会負担金 920千円  
若手経営者等の経営の多角化や経営判断能力向上のための各種事業の実施を支援
  - ・ 経営研修会「これからの農業経営者たちへ」 ・ 交流会の開催
  - ・ 先進地への視察研修助成 ・ 消費者交流促進事業助成 など

3 事業の成果

園芸担い手研修モデル事業では、平成30年度は、2人が研修を行い、それぞれ新しい作物の導入や、経営継承に向けて栽培技術等の習得に努めた。1人はすでに経営継承済み、もう1人は令和元年度に経営継承する見込みとなっており、農業後継者育成の一助となっている。

また、旭川地域青年農業者連絡協議会へ負担金を支出し、団体が行う若手経営者等に対する事業の実施を支援し、平成30年度については、経営管理を題材とする研修会や、旭川駅前イオンにおける消費者交流イベントなどが実施された。

課題と  
今後の取組

若手経営者の農業経営の多角化を支援するため、園芸担い手研修モデルの利用について関係者へ周知を図っていく。  
さらに、若手経営者等の意見を取り入れながら、経営の多角化や、経営判断力の向上に資する事業の実施を支援していくことで、将来の地域農業のリーダー等となる人材を育成していく。

|       |                     |      |       |       |         |             |                 |    |
|-------|---------------------|------|-------|-------|---------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) 園芸参入者フォローアップ強化費 |      |       |       | 担当部局    | 農政部         |                 |    |
| 事業コード | 大                   | 06   | 6     | 款     | 農林水産業費  |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 93 |
|       | 中                   | 21   | 1     | 項     | 農業費     |             |                 |    |
|       | 小                   | 17   | 4     | 目     | 農業センター費 |             |                 |    |
| 費用    | 予 算 額               |      |       | 決 算 額 |         | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|       | 400千円               |      |       | 351千円 |         | 1円          |                 |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳        | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金  | 市 債     | その他特定財源     |                 |    |
|       | 351千円               |      |       |       |         |             |                 |    |

1 事業目的

早期の経営安定化に寄与するため、新規園芸参入者（新規就農含む。）を対象に農業センターほ場での研修や外部講師の講義を少人数制で行い、営農面の基本技術や新規情報、経営面の基礎知識等の提供など、個々が抱える問題解決に向けたフォローを実施する。  
また、園芸生産者全体の営農向上のため、既参入者を対象に外部講師による講習会を開催し、スキルアップを図る。

2 事業概要

- 新規園芸参入者に向けた研修の実施 65千円
  - 農業センターでの現地及び座学研修
    - 各種品目栽培技術研修、新技術・品種・資材紹介など
    - 土壌分析による施肥設計、農薬の基礎知識の座学講義（4回開催、対象9農家）
  - 外部講師による専門的講義の実施
    - 農業簿記、確定申告など、農業経営に関する座学講義（2回開催、対象9農家）
- スキルアップ研修の実施 82千円  
既園芸参入者も対象とした直売所を活用した販売向上についての座学講義（1回開催、参加者21人）
- 生産者巡回指導の実施 204千円  
農業センター研修生や参入間もない農業者を対象に、きめ細かなフォローアップを行うための巡回指導（14回実施）



農業センターでの現地研修

3 事業の成果

新規就農を含む新規園芸参入者に対し、個々が抱える問題に対応した研修や講義を実施することにより、技術力の向上と経営の安定化に寄与した。  
また、生産者巡回指導については、情報端末（タブレット）を導入することにより、研修生や新規園芸参入者が抱える課題にタイムリーに対応することができた。

課題と今後の取組

過年度受講生も引き続きの受講を希望するなど、受講生が増加しており、きめ細かな指導を図る観点から、受講条件について検討する必要がある。  
令和元年度からは、研修生が農業次世代人材投資事業による資金交付を受ける要件である農業経営者育成教育機関の認定を農業センターで取得し、研修生を受け入れていく。


2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |               |      |          |      |             |                 |    |
|-------|---------------|------|----------|------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | 高年齢者就業機会確保推進費 |      |          |      | 担当部局        | 経済部             |    |
| 事業コード | 大             | 06   | 5        | 款    | 労働費         | 事項別明細書<br>掲載ページ | 89 |
|       | 中             | 22   | 1        | 項    | 労働費         |                 |    |
|       | 小             | 01   | 1        | 目    | 労政費         |                 |    |
| 費用    | 予 算 額         |      | 決 算 額    |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|       | 13,338千円      |      | 13,336千円 |      | 40円         |                 |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金    | 道支出金 | 市 債         | その他特定財源         |    |
|       | 13,336千円      |      |          |      |             |                 |    |

1 事業目的

高年齢者の知識、経験、能力を生かし、短期的・臨時的な就業ニーズに対応した就業機会を確保するため、就業機会の提供を行う団体（シルバー人材センター）を支援し、高年齢者の福祉の増進とともに、高年齢者の能力を活用した活力ある地域社会づくりを進める。

2 事業概要

|   |  |                                    |  |
|---|--|------------------------------------|--|
| 1 | 高年齢者就業機会確保事業費補助金<br>(1) (公社) 旭川市シルバー人材センター運営費<br>(2) 高年齢者活用・現役世代雇用サポート事業 | 13,236千円<br>(7,236千円)<br>(6,000千円) |  |
| 2 | (公社) 全国シルバー人材センター事業協会<br>賛助会費負担金   | 50千円                               |  |
| 3 | (公社) 北海道シルバー人材センター連合会<br>賛助会費負担金   | 50千円                               |  |

3 事業の成果

社会参加を希望する高年齢者の就業機会の確保が図られたほか、会員が長年にわたって身に付けた知識や技能を地域社会に還元することができた。

|           | 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
|-----------|---------|---------|---------|
| 会員数 (人)   | 922     | 889     | 885     |
| 受注件数 (件)  | 8,212   | 7,868   | 7,784   |
| 受注金額 (千円) | 268,536 | 258,500 | 253,609 |
| 就業延人数 (人) | 63,656  | 62,426  | 58,107  |

**課題と今後の取組**  
 高齢化の進展により、多くの企業で定年延長や再雇用の動きが進み、高年齢者の就業意欲が高まっている一方、センターの会員数は減少傾向にあることから、高年齢者の多様な就業ニーズに対応できるよう、センターの活動について周知・広報を進め会員数の増加に取り組んでいく。

|       |              |       |       |         |      |                 |    |
|-------|--------------|-------|-------|---------|------|-----------------|----|
| 事業名   | 若者地元定着促進費    |       |       |         | 担当部局 | 経済部             |    |
| 事業コード | 大            | 06    | 5     | 款       | 労働費  | 事項別明細書<br>掲載ページ | 89 |
|       | 中            | 22    | 1     | 項       | 労働費  |                 |    |
|       | 小            | 02    | 1     | 目       | 労政費  |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |       |       | 決 算 額   |      | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 4,093千円      |       |       | 2,998千円 |      | 9円              |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源  | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債  | その他特定財源         |    |
|       | 2,146千円      | 852千円 |       |         |      |                 |    |

1 事業目的

地域の若年者（学生・生徒を含む）やUターン希望者の地元での就職を促進し、本市経済の担い手となる人材を確保するため、旭川市企業情報提供サイトの利用促進のほか、就職支援機関等との連携による各種イベントを実施する。

2 事業概要

- 1 若年者就職支援事業 409千円  
企業説明会など若年者から一般求職者まで幅広い層を対象とする各種就職支援を実施した。
- 2 若年者就職ステップアップ事業 71千円  
厳しい就職活動や早期離職等により就職への自信を喪失している一般就労の一步手前にある若年者を対象に就労体験等を実施した。
- 3 若年者等正規雇用奨励金 550千円  
トライアル雇用期間終了後、対象者を正規雇用として雇い入れた事業主に対し奨励金を支給した。
- 4 地元企業への就職支援促進事業 1,968千円  
Uターン情報コーナーや旭川市企業情報提供サイト「はたらくあさひかわ」の運営。また、同サイトの求人求職マッチングシステムによる地元就職支援を実施した。



3 事業の成果

ハローワーク、北海道等の関係機関との連携による企業説明会等において、延べ3,349人の参加があり、若年者の職業理解の促進や就職能力の向上が図られたほか、正規雇用を支援する（奨励金交付件数11件）ことで若年者の安定した生活基盤の確保に寄与した。  
また、「はたらくあさひかわ」の活用により、Uターン者35人を就職につなげた。なお、平成31年3月末現在で、サイト掲載企業数152社、登録者数135人となった。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | 労働力人口が減少していく中で、若年者の地元定着とUターンの促進については、今後も引き続き推進していく必要があることから、「はたらくあさひかわ」において提供する情報の充実と機会の拡充による利用促進、また、若年者の職業理解を深めるイベントの実施など、若年者の地元での就職促進に取り組んでいく。 |
|----------|--|

2 しごと 生き活き 賑わいづくり

| 事業名   | 就業支援ITセミナー費   |       |   |       |           | 担当部局            | 経済部     |  |
|---|---|-------|---|-------|-----------|-----------------|---------|--|
| 事業コード   | 大   | 06    | 5 | 款     | 労働費       | 事項別明細書<br>掲載ページ | 91      |  |
|   | 中   | 22    | 1 | 項     | 労働費       |                 |         |  |
|   | 小   | 11    | 2 | 目     | 緊急地域雇用対策費 |                 |         |  |
| 費用  | 予 算 額   |       |   | 決 算 額 |           | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|   | 853千円   |       |   | 515千円 |           | 2円              |         |  |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源  |   | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債             | その他特定財源 |  |
|   |   | 257千円 |   | 258千円 |           |                 |         |  |
| <p>1 事業目的</p> <p>少子高齢化及び労働力人口の減少に伴い、女性や障害者、若年者等の潜在的な労働力の活用が喫緊の課題となっていることから、障害者及び若年者等の就職を促進するため、就職活動に有利な技術の習得を支援するとともに、テレワーク等多様な就労形態に対応する人材育成を図る。</p>  |   |       |   |       |           |                 |         |  |
| <p>2 事業概要</p> <p>1 就業支援ITセミナー 515千円<br/>障害者、若年者、女性、在宅ワーカーに対し、実践的なスキルと幅広い知識を認定するマイクロソフトオフィススペシャリスト資格（Excel, Word）を取得するための研修を実施した。</p> <p>(1) 開催日<br/>平成30年11月19日～12月3日のうち10日間</p> <p>(2) 対象者<br/>障害者及び若年者（45歳未満）</p> <p>(3) 受講申込者数<br/>22人</p> <p>(4) 受講者数（定員）<br/>15人（うち、障害者4人）</p> |   |       |   |       |           |                 |         |  |
| <p>3 事業の成果</p> <p>資格取得支援のほか、ICTを使い場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方である「テレワーク」について、スキルの活用方法や就職活動の方法に関する講義を行った。受講者のうち8人が資格を取得するとともに、6人が就業に至った。<br/>なお、就業に至った6人のうち1人が障害者であり、3人がテレワークによる勤務を行っている。</p>  |   |       |   |       |           |                 |         |  |
| 課題と今後の取組  | 雇用失業情勢が改善している一方、市内企業における従業員の職場定着が課題となっていることから、事業内容を見直し、市内企業の人材育成支援をはじめとする働く環境の整備に関する支援を進める。 |       |   |       |           |                 |         |  |

|       |                  |      |       |         |           |                 |    |
|-------|------------------|------|-------|---------|-----------|-----------------|----|
| 事業名   | 若者地元定着奨学金返済補助事業費 |      |       |         | 担当部局      | 経済部             |    |
| 事業コード | 大                | 06   | 5     | 款       | 労働費       | 事項別明細書<br>掲載ページ | 91 |
|       | 中                | 22   | 1     | 項       | 労働費       |                 |    |
|       | 小                | 18   | 2     | 目       | 緊急地域雇用対策費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額            |      |       | 決 算 額   |           | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 3,610千円          |      |       | 2,369千円 |           | 7円              |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳     | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債       | その他特定財源         |    |
|       | 2,369千円          |      |       |         |           |                 |    |

1 事業目的

若年者の市外への流出を食い止めるとともに、地元企業への就業による地域への定着を促すことで本市経済の担い手となる優秀な人材を確保するため、大学等進学者が卒業後に市内で就業及び居住した場合に在学中に借り入れた奨学金の返済に対して補助を行う。

2 事業概要

- 1 若者地元定着奨学金返済補助金 2,282千円
  - (1) 事業内容  
高等教育機関を卒業後、市内企業に就業かつ市内に居住した補助希望者を対象として、在学中に借り入れた奨学金の返済に対し補助を行った。
  - (2) 補助対象期間  
補助対象者が市内定着を始めた日から起算して3年を経過する日までの期間。
  - (3) 補助金交付実績  
交付者数57人  
(大学21人、大学院2人、短大12人、専修学校22人)
- 2 その他事務費 87千円



3 事業の成果

若年者や優秀な人材が市外へ流出することを食い止めるとともに、地元企業への就業による地域への定着を促すことで本市経済の担い手となる人材の確保につながった。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | <p>本制度が地元企業就業への動機付けのひとつになっているか、交付申請者に対するアンケート調査を継続して実施し、申請者数の推移等による事業効果を検証していく。</p> <p>また、本制度の事業効果を高めるための効果的な周知・広報にも引き続き取り組んでいく。</p> |
|----------|--|

| 事業名  | テレワーク普及促進費  |         |   |         |      | 担当部局            | 経済部     |
|--|---|---------|---|---------|------|-----------------|---------|
| 事業コード  | 大   | 06      | 5 | 款       | 労働費  | 事項別明細書<br>掲載ページ | 91      |
|  | 中   | 22      | 1 | 項       | 労働費  |                 |         |
|  | 小   | 27      | 1 | 目       | 労政費  |                 |         |
| 費用   | 予 算 額   |         |   | 決 算 額   |      | 市民一人当たりの決算額     |         |
|  | 10,236千円  |         |   | 9,669千円 |      | 29円             |         |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源    |   | 国庫支出金   | 道支出金 | 市 債             | その他特定財源 |
|  |   | 4,897千円 |   | 4,772千円 |      |                 |         |
| 1 事業目的   |   |         |   |         |      |                 |         |
| <p>少子高齢化による急速な労働力人口の減少により、多種多様な人材による全員参加型社会の実現が求められる中、ICTを活用した場所や時間を有効に活用できる柔軟な働き方であるテレワークを普及促進することにより、市内の労働者の働き方改革を進め、労働生産性の向上を図るとともに、女性・障害者・高齢者等の潜在的労働力の活用による就業率の向上につなげる。</p>  |   |         |   |         |      |                 |         |
| 2 事業概要   |   |         |   |         |      |                 |         |
| <p>1 テレワーク周知・広報事業 2,309千円<br/> (1) テレワークエキスポの開催 (1,212千円)<br/> テレワーク関連システム及びサービスの展示会や各種セミナーを同時開催した。<br/> (2) テレワーク導入企業のPR用動画及び事例集作成 (999千円)<br/> 既にテレワークを導入している市内企業の事例をPRするための冊子及び動画を作成した。<br/> (3) テレワーク関連特設ページの作成 (98千円)<br/> 旭川市企業情報提供サイト内に特設WEBページ「テレワークの部屋」を開設した。</p> <p>2 クラウドワーカーの地域コミュニティ育成事業 7,360千円<br/> (1) クラウドワーカーコミュニティ育成事業 (7,236千円)<br/> クラウドソーシングによる柔軟な働き方を行うクラウドワーカーのチームを立ち上げ、安定的な収入やスキルアップの機会を得られる体制を構築した。<br/> (2) クラウドワーカー交流会の開催等 (124千円)<br/> クラウドワーカーコミュニティ育成事業の支援により構築したチームのメンバーの交流会を定期開催した。</p> |   |         |   |         |      |                 |         |
| 3 事業の成果  |   |         |   |         |      |                 |         |
| <p>市内企業等に雇用型テレワーク導入の事例と具体的な導入方法について、幅広く周知するとともに、クラウドソーシングによる在宅ワークを円滑に実施するためのノウハウの提供や各在宅ワーカーの交流促進により、自主的な就業継続に向けた機会を提供することができた。</p>   |   |         |   |         |      |                 |         |
| 課題と今後の取組   | <p>企業に対してテレワーク普及に関する継続的な調査とテレワーク導入の効果的な情報提供を行い、必要に応じてテレワーク導入支援を実施する。<br/> 企業に雇用されない形態の在宅ワークについては、引き続き、地域における実施状況や課題、要望等を確認しつつ、今後の就業継続やクラウドソーシング以外の手法も含めた働き方の更なる多様化に向け、必要な支援の在り方を検討していく。</p> |         |   |         |      |                 |         |



|       |              |         |   |         |        |             |                 |
|-------|--------------|---------|---|---------|--------|-------------|-----------------|
| 事業名   | 生産基盤改善促進費    |         |   |         | 担当部局   | 農政部         |                 |
| 事業コード | 大            | 06      | 6 | 款       | 農林水産業費 |             | 事項別明細書<br>掲載ページ |
|       | 中            | 23      | 1 | 項       | 農業費    |             |                 |
|       | 小            | 06      | 6 | 目       | 農地改良費  |             |                 |
| 費用    | 予 算 額        |         |   | 決 算 額   |        | 市民一人当たりの決算額 |                 |
|       | 9,500千円      |         |   | 7,664千円 |        | 23円         |                 |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    |   | 国庫支出金   | 道支出金   | 市 債         | その他特定財源         |
|       |              | 7,664千円 |   |         |        |             |                 |

1 事業目的

転作田の作業向上等のため、排水不良や石れきの多い農地等生産性が低いほ場条件の整備、また、簡易な区画整理を実施することで、営農継続へ向けた支援を行うとともに、耕作放棄地の発生を防止し、生産性の高い営農体制づくりを進める。

2 事業概要

- 1 簡易な暗渠排水事業  
施工実施 2件  
助成費 542千円
- 2 除れき事業  
施工実施 19件  
助成費 4,900千円
- 3 簡易な区画整理事業  
施工実施 4件  
助成費 2,222千円
- 合 計  
施工実施 25件  
助成費 7,664千円



除れき作業によりほ場から取り除かれた石

3 事業の成果

暗渠排水事業：転作田等の湿地が解消され、発芽率が向上した。  
 除れき事業：太径石などの除去により、耕運機等稼働速度の向上や回転歯の損傷が減少した。  
 区画整理事業：区画拡大により、作業効率が向上した。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | 農家の要望は多いものの、播種前、収穫後の短期間での施工となることや、台風・豪雨等の気象条件の影響を受けやすいため、事業主体であるJAと一体となって、工程調整を図り、多くの整備完了を目指す。 |
|----------|--|

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |              |          |          |      |             |                 |    |
|-------|--------------|----------|----------|------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | 強い園芸産地づくり支援費 |          |          |      | 担当部局        | 農政部             |    |
| 事業コード | 大            | 06       | 6        | 款    | 農林水産業費      | 事項別明細書<br>掲載ページ | 93 |
|       | 中            | 23       | 1        | 項    | 農業費         |                 |    |
|       | 小            | 13       | 3        | 目    | 農産園芸振興費     |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |          | 決 算 額    |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|       | 11,350千円     |          | 11,003千円 |      | 33円         |                 |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源     | 国庫支出金    | 道支出金 | 市 債         | その他特定財源         |    |
|       |              | 11,003千円 |          |      |             |                 |    |

1 事業目的

施設園芸分野において、新たな省力技術の導入やこれと一体的に取り組む生産拡大への支援により、本市の特色を生かした安全な農産物産地を確立するとともに産地の生産力減退に歯止めを掛け、国策や貿易自由化への影響を受けにくい足腰の強い園芸作物の産地として維持及び発展を図る。

2 事業概要


1 省力化技術導入支援事業 11,003千円

- ・ハウス自動換気装置導入  
20棟 (1,741千円)
- ・省力化新設ハウスの導入  
12棟 (8,989千円)
- ・環境測定装置の導入  
2台 (273千円)

2 クリーン農業産地強化事業（ゼロ予算事業）

- ・農業生産工程管理手法（GAP）（※）の導入推進  
GAP啓もう活動の継続（プロジェクトチーム参画）

※農業生産工程管理手法（GAP）  
農業生産活動を行う上で、必要な関係法令の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。



ハウス自動換気装置の導入例

3 事業の成果

生産者組織が導入する「省力的で効果の高い資材等」や「省力設備を備えた新設ハウス」に対し支援することで、野菜作付縮小に歯止めをかけ、増産の足がかりとした。

|          |   |
|----------|---|
| 課題と今後の取組 | 野菜農家の減少、労働力の不足等により作付面積・生産量の減少が著しい中で、省力技術の導入促進や労働力不足の解消に向けた取組が必要である。 |
|----------|---|

|       |                    |      |       |       |         |             |                 |    |
|-------|--------------------|------|-------|-------|---------|-------------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) 施設園芸スタートアップ支援費 |      |       |       | 担当部局    | 農政部         |                 |    |
| 事業コード | 大                  | 06   | 6     | 款     | 農林水産業費  |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 93 |
|       | 中                  | 23   | 1     | 項     | 農業費     |             |                 |    |
|       | 小                  | 43   | 3     | 目     | 農産園芸振興費 |             |                 |    |
| 費用    | 予 算 額              |      |       | 決 算 額 |         | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|       | 500千円              |      |       | 479千円 |         | 1円          |                 |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳       | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金  | 市 債     | その他特定財源     |                 |    |
|       | 479千円              |      |       |       |         |             |                 |    |

1 事業目的

新たに施設園芸に挑戦するための動機づくりを目的として、生産から出荷までの過程における省力化・効率化及び休閑地・期間の有効活用による経営安定や所得向上に向けた取組を支援する。

2 事業概要

- 1 野菜流通出荷試験事業 89千円

内 容 生産者の実態調査及び流通と連携し出荷方法・形態・出荷規格等調整など様々な条件設定での選果・個別包装委託へ向けた実証試験を支援した。

試験品目 ホウレンソウ, 小松菜

実施主体 旭川青果物出荷組合連合会
- 2 冬期野菜栽培実証事業 390千円

内 容 農業センターによる冬期野菜栽培技術試験の結果に基づき、実際の生産者ほ場での栽培・採算性・効率化等の実証実験を行うとともに、生産者向け現地講習会を実施した。

栽培品目 リーフレタス, 小松菜, 小カブ

協力者 市内生産者2戸

受講者 市内生産者等17人



3 事業の成果

試験・検証により、出荷方法等の見直しによる省力化・効率化、冬期野菜栽培による所得増の可能性が見込まれる結果が得られた。

課題と今後の取組

両事業とも他品目による検証を行う必要があるほか、気象条件の影響を受ける冬期野菜栽培については複数年の検証が必要である。

2 しごと 生き生き 賑わいづくり



| 事業名  |              |  |    |       | 中心市街地活性化推進費 |     | 担当部局            | 地域振興部       |  |
|--|--------------|--|----|-------|-------------|-----|-----------------|-------------|--|
| 事業コード  | 大            | 07   | 2  | 款     | 総務費         |     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69          |  |
|  | 中            | 11   | 1  | 項     | 総務管理費       |     |                 |             |  |
|  | 小            | 01   | 10 | 目     | 企画費         |     |                 |             |  |
| 費用   | 予 算 額        |  |    |       | 決 算 額       |     |                 | 市民一人当たりの決算額 |  |
|  | 3,430千円      |  |    |       | 3,189千円     |     |                 | 9円          |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源   |    | 国庫支出金 | 道支出金        | 市 債 | その他特定財源         |             |  |
|  |              | 689千円  |    |       |             |     | 2,500千円         |             |  |
| 1 事業目的   |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| <p>中心市街地の維持・活性化のため、「まちなかに来る」, 「まちなかの滞在時間を延ばす」, 「まちなかに住む」の動機付けとなる魅力づくりを地域や事業者等と共有しながら推進し, 自発的・持続的な取組として実施する。</p>  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| 2 事業概要   |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| <p>1 中心市街地活性化協議会の開催等 97千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地活性化協議会の開催 (5月24日)</li> <li>企画推進分科会の開催 (4月26日, 8月10日)</li> </ul>  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| <p>2 事業実施等 3,092千円</p> <p>(1) 企画推進分科会提案事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>買物公園フォトスポット設置事業</li> <li>トワイライト旭橋</li> <li>店主等「人」が主役のお店紹介MAP作成事業等</li> </ul> <p>(2) 中心市街地活性化イベント開催等補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストーリーが生まれる「七条緑道エコミュージアム」オープニングイベント</li> </ul> |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
|  <p>フォトスポット設置</p>  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
|  <p>オープニングイベント</p>  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| 3 事業の成果  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| <p>平成29年12月に策定した中心市街地活性化基本計画に基づき, 地域住民自らがコミュニティの維持・活性化に向け, 主体的に取り組むとともに, そのきっかけづくりとして各種事業を行うことができた。</p>  |              |  |    |       |             |     |                 |             |  |
| 課題と今後の取組   |              | <p>これまでに整備してきた都市基盤や機能等を有効活用し, 中心市街地の各エリアの個性を生かしながら, 商店街や地域, 事業者などで構成する主体的かつ機動的な推進体制の構築に広がりを持たせ, より活発な中心市街地の賑わいづくりにつなげる必要がある。</p> |    |       |             |     |                 |             |  |

|       |              |          |   |          |         |                 |         |
|-------|--------------|----------|---|----------|---------|-----------------|---------|
| 事業名   | 旭川都心地区整備費    |          |   |          | 担当部局    | 地域振興部           |         |
| 事業コード | 大            | 07       | 8 | 款        | 土木費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 103     |
|       | 中            | 11       | 5 | 項        | 都市計画費   |                 |         |
|       | 小            | 13       | 1 | 目        | 都市計画総務費 |                 |         |
| 費用    | 予 算 額        |          |   | 決 算 額    |         | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 65,685千円     |          |   | 56,536千円 |         | 168円            |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金    | 市 債             | その他特定財源 |
|       |              | 14,722千円 |   | 25,414千円 |         | 16,400千円        |         |

1 事業目的

都心部の賑わいの創出と地域経済の活性化のため、北彩都地区の新しいまちづくりを進めるとともに、既存都心部と連携し、地域資源を生かした拠点性の高い活力ある都心空間を形成する。

2 事業概要

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 北彩都ガーデン整備 28,982千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデン植栽工事</li> <li>・ガーデン花壇造成工事</li> </ul> <p>2 シビックコア地区園路広場整備工事 6,739千円</p> <p>3 市民協働による植栽 3,413千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデン修景施設協働設置業務</li> <li>動物を模したヤナギの造形物を市民との協働で製作・設置</li> <li>・ガーデン協働植栽業務委託</li> <li>市民等と新たに造成した花壇に花株を植栽</li> </ul> <p>4 賑わい創出イベント開催業務 13,455千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデンを活用し、ワークショップやスタンプラリー等を実施</li> <li>・駅前広場等にスケートリンク（ゆっきリンク）や冬のアクティビティ体験施設を設置</li> </ul> <p>5 その他事務費 3,947千円</p> |  <p>立体花壇を造成</p>  <p>ゆっきリンクを設置</p> |
|--|--|

3 事業の成果

北彩都ガーデンにおける立体花壇の造成や市民協働により製作した動物の造形物の設置により、市民活動や観光客の集客の場として魅力の向上が図られた。  
また、ゆっきリンクや冬のアクティビティ体験施設の設置を通じて、旭川の地域資源を生かした賑わいを都心部に創出することができた。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | 北彩都地区において、これまでに整備してきた基盤施設や機能等を有効活用し、地域資源を生かした拠点性の高い都心空間の形成を図るとともに、都心部の魅力向上につながる賑わいづくりを継続していく必要がある。 |
|----------|--|

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

| 事業名   | 観光プロモーション推進費   |          |   |          |      | 担当部局            | 観光スポーツ交流部 |  |
|---|--|----------|---|----------|------|-----------------|-----------|--|
| 事業コード   | 大  | 07       | 7 | 款        | 商工費  | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97        |  |
|   | 中  | 12       | 1 | 項        | 商工費  |                 |           |  |
|   | 小  | 10       | 4 | 目        | 観光費  |                 |           |  |
| 費用  | 予 算 額  |          |   | 決 算 額    |      | 市民一人当たりの決算額     |           |  |
|   | 14,096千円   |          |   | 10,721千円 |      | 32円             |           |  |
|   | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金 | 市 債             | その他特定財源   |  |
|   |  | 10,721千円 |   |          |      |                 |           |  |
| 1 事業目的  |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| <p>観光入込客数及び観光客宿泊数の増加を図るため、本市の知名度の向上及びイメージアップを図るとともに、他自治体とも連携しながら観光客誘致活動を実施する。</p>   |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| 2 事業概要  |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| <p>1 負担金</p> <p>(1) あさひかわ観光誘致宣伝協議会負担金 9,000千円</p> <p>(2) 道内中核都市観光連携協議会負担金 1,400千円</p> <p>主な実施事業</p> <p>(ア) 誘致宣伝対策事業<br/>旅行代理店・個人旅行者等を対象とした観光プロモーションや広告宣伝</p> <p>(イ) 招へい事業<br/>国内からの観光客誘致を目的とした、旅行代理店等に対する視察研修会</p> <p>(ウ) 冬季観光プロモーション事業<br/>スキーやスノーアクティビティなど、冬季の魅力の発信や広告宣伝</p> <p>(エ) 外国人観光客誘致事業<br/>海外からの観光客誘致を目的とした、旅行代理店等に対するプロモーションや広告宣伝</p> <p>(オ) 教育旅行誘致事業<br/>教育旅行の誘致拡大を図るためのプロモーション活動</p> <p>2 プロモーション等に係る旅費 321千円<br/>観光客誘致が見込まれる国・地域へのトッププロモーションを実施</p> |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| 3 事業の成果   |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| <p>宿泊延数及び外国人宿泊延数は前年度を上回り、過去最高を更新した。一方で、観光入込客数は微減となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光入込客数 (5,270,500人 前年比 98.4%)</li> <li>・宿泊延数 (1,083,100泊 前年比115.8%)</li> <li>・外国人宿泊延数 ( 244,515泊 前年比118.8%)</li> </ul>  |  |          |   |          |      |                 |           |  |
| 課題と今後の取組  | <p>観光入込客数は減少したが、宿泊延数は国内外ともに増加し過去最高を更新した。今後も引き続き、プロモーション活動の強化を図る。</p> |          |   |          |      |                 |           |  |

|  |  |          |   |          |      |             |                 |    |
|--|--|----------|---|----------|------|-------------|-----------------|----|
| 事業名  | 冬季観光滞在促進費  |          |   |          | 担当部局 | 観光スポーツ交流部   |                 |    |
| 事業コード  | 大  | 07       | 7 | 款        | 商工費  |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97 |
|  | 中  | 12       | 1 | 項        | 商工費  |             |                 |    |
|  | 小  | 11       | 4 | 目        | 観光費  |             |                 |    |
| 費用   | 予 算 額  |          |   | 決 算 額    |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|  | 67,049千円   |          |   | 66,279千円 |      | 196円        |                 |    |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金 | 市 債         | その他特定財源         |    |
|  |  | 62,279千円 |   | 2,500千円  |      |             | 1,500千円         |    |
| 1 事業目的   |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| <p>旭川の冬を代表するイベントの開催や、閑散期における当市への旅行を促す広告宣伝を通じて、宿泊稼働率の低下する冬季における観光誘致と滞在化の促進を図る。</p>  |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| 2 事業概要   |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| <p>1 負担金</p> <p>(1) 第60回旭川冬まつり開催負担金 54,000千円<br/>         交付先 旭川冬まつり実行委員会<br/>         開催日 平成31年2月6日(水)～2月11日(月)</p> <p>(2) 閑散期観光誘致促進負担金 5,000千円<br/>         交付先 あさひかわ観光誘致宣伝協議会<br/>         内 容 旭川空港の利用促進を図りながら、閑散期の入込客数、宿泊延数の増加を目的に、航空会社や旅行会社との連携による共同広告等を実施した。</p> <p>2 補助金</p> <p>(1) 氷彫刻世界大会開催補助金 5,600千円<br/>         交付先 氷彫刻世界大会実行委員会<br/>         開催日 平成31年2月6日(水)～2月11日(月)</p> <p>(2) 氷彫刻推進補助金 620千円<br/>         交付先 特定非営利活動法人日本氷彫刻会</p> <p>3 事務費</p> <p>(1) イベント推進事業臨時職員賃金 914千円<br/>         (2) その他事務費 145千円</p> |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| 3 事業の成果  |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| <p>各種イベントの推進や広告宣伝を通じて、旭川市の対外的なイメージアップ及び地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第60回旭川冬まつり来場者数 983,000人 (前年比100.7%)</li> <li>会期中ホテル稼働率 95.6% (前年比2.6ポイント減少)</li> </ul>  |  |          |   |          |      |             |                 |    |
| 課題と今後の取組   | <p>旭川冬まつりについては、既存のコンテンツの継続に加え、夜間コンテンツの一層の充実を図る必要がある。一方で、各種資材費や人件費などの基礎的経費が高騰していることから、イベント規模や運営手法等の見直しが必要である。</p> |          |   |          |      |             |                 |    |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |                 |          |   |          |       |                 |         |
|-------|-----------------|----------|---|----------|-------|-----------------|---------|
| 事業名   | 北の恵み食べマルシェ開催負担金 |          |   |          |       | 担当部局            | 経済部     |
| 事業コード | 大               | 07       | 7 | 款        | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97      |
|       | 中               | 12       | 1 | 項        | 商工費   |                 |         |
|       | 小               | 19       | 1 | 目        | 商業振興費 |                 |         |
| 費用    | 予 算 額           |          |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 45,000千円        |          |   | 45,000千円 |       | 133円            |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳    | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |
|       |                 | 45,000千円 |   |          |       |                 |         |

1 事業目的

本市の基幹産業である農業や主要産業である食品加工業の振興、また、上川・留萌・宗谷などの北北海道各地の農畜産業、漁業・加工食品など食関連産業の振興と販路拡大及び情報発信力を強化するため、「北の恵み 食べマルシェ」を開催する。

2 事業概要

1 北の恵み 食べマルシェ2018の開催

(1) 開催概要

旭川駅前広場会場に、旭川のご当地グルメや姉妹都市の南さつま市、旭川空港から直行便のある名古屋周辺の店舗などを配置するとともに、買物公園～七条緑道に北北海道地域からの出店者ブースを設置したほか、常磐公園会場では、ファームゾーンに旭川の農畜産物・農産加工品や地酒を楽しめる「農場バル」を展開したほか、子ども向け企画エリアとして「キッズマルシェ わくわくファーム」を実施した。

その他、新企画として「雨の日サービス」「レジャーシート貸出サービス」を行ったほか、「食べくらべ200円グルメ」「学生マルシェ」「食べマルシェお楽しみチケットの販売」などの取組を行った。

(ア) 会期 平成30年9月15日～17日

(イ) 会場 旭川駅前広場、平和通買物公園、七条緑道、常磐公園、JR旭川駅

(ウ) 延べ来場者数 1,022,000人

(エ) 売上総額 194,388千円

(オ) 経済波及効果 4,069,114千円

(カ) 出店者数 297社（308店）

※駅マルシェを含む。

※震災の影響等で出店を辞退した店舗は含まない。

(キ) 共催事業 駅マルシェ、銀座食べマルシェ

(2) 実行委員会負担金 45,000千円




3 事業の成果

9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、出店を辞退する事業者が生じるなどの影響があったものの、節電を呼びかけるブースの設置や募金などの取組を加えて実施したところ、来場者数は例年並みの延べ102万2千人、売上額は1.94億円となり、3日間の開催を通じ、北北海道地域の食の魅力を発信することができた。

課題と今後の取組

9回の開催を数え、北北海道を代表する秋のイベントとして一定程度認知されてきたところであるが、開催資金の確保など、今後の開催の在り方について引き続き検討していく必要がある。



|  |   |      |       |       |      |             |                 |    |
|--|---|------|-------|-------|------|-------------|-----------------|----|
| 事業名  | 観光受入体制充実費   |      |       |       | 担当部局 | 観光スポーツ交流部   |                 |    |
| 事業コード  | 大   | 07   | 7     | 款     | 商工費  |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97 |
|  | 中   | 12   | 1     | 項     | 商工費  |             |                 |    |
|  | 小   | 34   | 4     | 目     | 観光費  |             |                 |    |
| 費用   | 予 算 額   |      |       | 決 算 額 |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |    |
|  | 1,400千円   |      |       | 852千円 |      | 3円          |                 |    |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金  | 市 債  | その他特定財源     |                 |    |
|  | 852千円   |      |       |       |      |             |                 |    |
| 1 事業目的   |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| <p>観光客の滞在時間の増大やリピーターの創出を図るため、路線バスを活用した2次交通の利便性向上、外国人観光客等が気軽に中心市街地で情報の発信や収集ができるインターネット環境の整備、小グループ化する観光客向けの2次交通である定額観光タクシーサービスの整備及び周知を行う。</p>  |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| 2 事業概要   |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| <p>1 旭川路線バス観光利用促進協議会補助金 60千円<br/>         交付先 旭川路線バス観光利用促進協議会</p> <p>2 中心市街地Wi-Fi環境整備事業補助金 700千円<br/>         交付先 旭川平和通貫物公園振興組合</p> <p>3 旭川定額観光タクシー推進補助金 92千円<br/>         交付先 協同組合旭川ハイヤー協会</p>  |   |      |       |       |      |             |                 |    |
|  <p>旭川観光用バス乗車券</p>  |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| 3 事業の成果  |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| <p>ホームページの作成等によるバス事業者共通乗車券及び定額観光タクシーの周知により、市内観光スポットへの移動に必要な2次交通の利便性が向上した。<br/>         また、中心市街地のWi-Fi環境の構築により、観光客の利便性向上と商店街や飲食店の情報が発信されることで、中心市街地の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地Wi-Fi利用者数 27,041人</li> </ul> |   |      |       |       |      |             |                 |    |
| 課題と今後の取組   | <p>国内外からの観光客の個人旅行化の進展に伴い、観光客の移動の利便性を向上させるための2次交通対策は引き続き必要である。<br/>         Wi-Fi環境については、モバイルルーターや訪日外国人用SIMカードの普及など、通信方法が多様化しており、利便性の向上だけでなく、マーケティングデータの取得・活用など、より効果的な活用方法の検討が必要である。</p> |      |       |       |      |             |                 |    |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|  |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|--|---|---------|-------|---------|------|-----------------|----|---|--|-------|---|---|-------|---|--|-------|---|---------------------------------------|-------|---|-------------------------------------|------|---|--|-------|---|---------------|-------|---|--|---------|
| 事業名  | 観光情報発信費   |         |       |         | 担当部局 | 観光スポーツ交流部       |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 事業コード  | 大   | 07      | 7     | 款       | 商工費  | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97 |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|  | 中   | 12      | 1     | 項       | 商工費  |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|  | 小   | 35      | 4     | 目       | 観光費  |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 費用   | 予 算 額   |         |       | 決 算 額   |      | 市民一人当たりの決算額     |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|  | 6,520千円   |         |       | 6,478千円 |      | 19円             |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債  | その他特定財源         |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
|  | 6,478千円   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 1 事業目的   |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| <p>観光入込客数及び観光宿泊数の増加を図るため、本市の知名度の向上及びイメージアップを図るとともに、地域観光資源等の情報発信を様々な媒体を利用して実施する。</p>  |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 2 事業概要   |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| <table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>北北海道広域観光パンフレット（外国語版）作製業務<br/>制作数：英語5,000部 簡体字3,000部 韓国語2,000部</td> <td>889千円</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>北北海道広域観光パンフレット（日本語版）作製業務<br/>制作数：日本語8,000部</td> <td>482千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>北・北海道ドライブマップ（外国語版）作製業務<br/>制作数：英語4,000部 繁体字4,000部 韓国語2,000部</td> <td>758千円</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>北・北海道ドライブマップ（日本語版）作製業務<br/>制作数：10,000部</td> <td>496千円</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>旭川市外国語版観光地地図作製業務（韓国語）<br/>制作数：3,000部</td> <td>65千円</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>多言語Webページ作成・運用業務（旭山動物園含む）<br/>内 容：日・英・中（繁・簡）・韓の5言語による本市観光情報を<br/>掲載したWebページ作成及び海外現地サーバーからの発信</td> <td>486千円</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>旭川市観光ポスター作製業務</td> <td>302千円</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>観光ガイドマップ作成事業補助金<br/>交付先 （一社）旭川観光コンベンション協会</td> <td>3,000千円</td> </tr> </table> |   |         |       |         |      |                 |    | 1 | 北北海道広域観光パンフレット（外国語版）作製業務<br>制作数：英語5,000部 簡体字3,000部 韓国語2,000部 | 889千円 | 2 | 北北海道広域観光パンフレット（日本語版）作製業務<br>制作数：日本語8,000部 | 482千円 | 3 | 北・北海道ドライブマップ（外国語版）作製業務<br>制作数：英語4,000部 繁体字4,000部 韓国語2,000部 | 758千円 | 4 | 北・北海道ドライブマップ（日本語版）作製業務<br>制作数：10,000部 | 496千円 | 5 | 旭川市外国語版観光地地図作製業務（韓国語）<br>制作数：3,000部 | 65千円 | 6 | 多言語Webページ作成・運用業務（旭山動物園含む）<br>内 容：日・英・中（繁・簡）・韓の5言語による本市観光情報を<br>掲載したWebページ作成及び海外現地サーバーからの発信 | 486千円 | 7 | 旭川市観光ポスター作製業務 | 302千円 | 8 | 観光ガイドマップ作成事業補助金<br>交付先 （一社）旭川観光コンベンション協会 | 3,000千円 |
| 1  | 北北海道広域観光パンフレット（外国語版）作製業務<br>制作数：英語5,000部 簡体字3,000部 韓国語2,000部  | 889千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 2  | 北北海道広域観光パンフレット（日本語版）作製業務<br>制作数：日本語8,000部   | 482千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 3  | 北・北海道ドライブマップ（外国語版）作製業務<br>制作数：英語4,000部 繁体字4,000部 韓国語2,000部  | 758千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 4  | 北・北海道ドライブマップ（日本語版）作製業務<br>制作数：10,000部   | 496千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 5  | 旭川市外国語版観光地地図作製業務（韓国語）<br>制作数：3,000部   | 65千円    |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 6  | 多言語Webページ作成・運用業務（旭山動物園含む）<br>内 容：日・英・中（繁・簡）・韓の5言語による本市観光情報を<br>掲載したWebページ作成及び海外現地サーバーからの発信              | 486千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 7  | 旭川市観光ポスター作製業務   | 302千円   |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 8  | 観光ガイドマップ作成事業補助金<br>交付先 （一社）旭川観光コンベンション協会  | 3,000千円 |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 3 事業の成果  |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| <p>本市及び圏域の観光資源をPRするための各種観光パンフレットを作製した。<br/>また、外国人観光客の中でも近年特に伸びが大きい中国人観光客への情報発信手段として、中国本土にサーバーを有するサイトに本市観光情報を掲載し、インターネット上の外部情報が閲覧しにくい中国本土の観光客への情報発信を強化した。</p>   |   |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |
| 課題と<br>今後の取組   | <p>観光客のニーズやし好が変化している中、各種媒体を活用した情報発信は常に手法や内容の見直しを行うとともに、単純な日本語版の多言語化にとどまらず、各国・地域のニーズに則した内容の検討が必要である。</p> |         |       |         |      |                 |    |   |  |       |   |   |       |   |  |       |   |                                       |       |   |                                     |      |   |  |       |   |               |       |   |  |         |

| 事業名  | 旭川版テレワークモデル推進費   |         |    |         |       | 担当部局            | 総合政策部   |  |
|--|--|---------|----|---------|-------|-----------------|---------|--|
| 事業コード  | 大  | 07      | 2  | 款       | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69      |  |
|  | 中  | 12      | 1  | 項       | 総務管理費 |                 |         |  |
|  | 小  | 36      | 10 | 目       | 企画費   |                 |         |  |
| 費用   | 予 算 額  |         |    | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|  | 5,598千円  |         |    | 5,560千円 |       | 16円             |         |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源    |    | 国庫支出金   | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |  |
|  |  | 2,780千円 |    |         |       |                 | 2,780千円 |  |
| 1 事業目的   |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| <p>大都市圏からの仕事の流れを創出し、市外への人材流出を抑制するため、市内の人材をテレワーカーとして育成し、大都市圏の仕事のテレワークによる受注を促進する。</p>  |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| 2 事業概要   |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| <p>平成28年度に実施したUIJターン促進テレワーク調査・実証事業の実施結果から、大都市圏において、数量や材質などの情報を含んだ3次元の建物モデルをコンピューター上に構築するBIM（Building Information Modeling）スキルを持つ人材が不足しており、テレワーカーにBIM図面の修正業務を外注したいと考えている企業があること、BIM図面の修正業務の発注は恒常的にあることが見込まれることから、関係スキルを習得するテレワーカーの育成研修を実施した。</p> <p>また、過年度も含め、同テレワーカー育成研修参加者による仕事受注チームを立ち上げ、チームでのBIMに関連する業務受注を目指し、体制づくり等のサポートを行った。</p> <p>テレワーカーの育成研修（BIMスキル習得研修）の実施等 5,560千円<br/>（委託業務の内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMスキル習得研修の実施</li> <li>・旭川市テレワークバーチャルオフィスの構築と運営</li> <li>・テレワークで受注できる大都市圏企業の仕事の発掘</li> <li>・BIMスキル研修受講者による仕事受注チーム立ち上げのサポート</li> </ul> |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| 3 事業の成果  |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| <p>10人の市民を対象にBIMスキル習得研修を実施し、研修受講者はBIM図面修正業務の受注が可能なレベルのスキルを習得することができた。</p> <p>また、受注可能な業務の整理やクラウドソーシングへの登録方法のレクチャー等を実施するなど、BIMスキル習得研修受講者等による仕事受注チームの立ち上げをサポートし、習得したスキルを生かしてテレワークによる業務受注ができる体制づくりを行った。</p>  |  |         |    |         |       |                 |         |  |
| 課題と<br>今後の取組   | <p>BIMスキル研修受講者等による仕事受注チームは、本市経済部で立ち上げを支援した「クラウドワーカーチーム」とともに活動を継続しており、今後の自主的な就業継続やクラウドソーシング以外の手法も含めた働き方の更なる多様化に向け、必要な支援の在り方を検討していく。</p> |         |    |         |       |                 |         |  |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |              |         |       |          |       |                 |    |
|-------|--------------|---------|-------|----------|-------|-----------------|----|
| 事業名   | 移住促進費        |         |       |          | 担当部局  | 地域振興部           |    |
| 事業コード | 大            | 07      | 2     | 款        | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69 |
|       | 中            | 12      | 1     | 項        | 総務管理費 |                 |    |
|       | 小            | 37      | 10    | 目        | 企画費   |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |         |       | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 22,518千円     |         |       | 17,521千円 |       | 52円             |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債   | その他特定財源         |    |
|       | 13,567千円     | 3,947千円 |       |          |       | 7千円             |    |

1 事業目的

本市への移住・定住を促進し、地域の活性化を図るため、本市の魅力を発信するとともに、観光や移住など本市への関心層に向けた移住促進の取組を通じて、「行ってみたい、暮らしたい、ずっといたいと思われるまち」へ発展することを目指す。

2 事業概要

- 1 移住定住の促進 13,577千円
  - (1) 移住促進機能強化業務委託
    - ・移住体験モニターツアー、
    - 道北プロモーション動画
  - (2) 事業主体スタートアップ支援業務委託
  - (3) 生活機能強化業務委託
  - (4) 移動実態把握業務委託
  - (5) 移住体験住宅運営・移住支援補助
  - (6) 北海道暮らしフェア等への参加
  - (7) 雑誌広告等
- 2 地域おこし協力隊との連携 3,141千円
  - (1) 旭川市地域おこし協力隊推進事業支援業務委託
  - (2) 地域おこし協力隊報償費
- 3 その他事務費 803千円



移住体験ツアー

3 事業の成果

ホームページやSNSなどによる情報発信を充実させたほか、移住ワンストップ窓口や首都圏等での移住相談会で移住への関心を深めるとともに、移住体験住宅を活用したお試し居住や、1日就業体験ができる移住体験モニターツアーを通じて移住意向を高めるなど、地域おこし協力隊と連携しながら旭川への移住・定住を促進する取組を行った。

- ・移住相談会参加者数 189人 ・移住体験モニターツアー参加者数 23人
- ・移住体験住宅利用率 A棟は16%、B棟は0%、C棟は100%
- ・地域おこし協力隊（1人） PR・ツアーの共同実施  
ゲストハウス開設（まちなか居住体験、移住相談窓口機能）

課題と  
今後の取組

官民連携の体制強化を図りながら、移住検討の段階を前進させる取組を継続、発展させるとともに、家族構成やライフイベントなど、移住希望者等の情報を管理しながら、それぞれの段階に応じたきめ細かな対応を行う必要がある。

| 事業名   | ジオパーク構想推進費  |      |       |         |         | 担当部局            | 社会教育部 |  |
|---|---|------|-------|---------|---------|-----------------|-------|--|
| 事業コード   | 大   | 07   | 10    | 款       | 教育費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 117   |  |
|   | 中   | 12   | 5     | 項       | 社会教育費   |                 |       |  |
|   | 小   | 40   | 1     | 目       | 社会教育総務費 |                 |       |  |
| 費用  | 予 算 額   |      |       | 決 算 額   |         | 市民一人当たりの決算額     |       |  |
|   | 6,007千円   |      |       | 2,262千円 |         | 7円              |       |  |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債     | その他特定財源         |       |  |
|   | 1,292千円   |      |       |         |         | 970千円           |       |  |
| 1 事業目的  |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| <p>本市や周辺地域が有する地質遺産を通じて、郷土愛の育成や地域の活性化を図る「ジオパーク構想」を推進するため、日本ジオパークの認定に向け、継続的な事業展開を行う。</p>  |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| 2 事業概要  |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| <p>1 ジオパーク構想推進協議会への負担金等 2,262千円</p> <p>(1) ジオフォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成30年12月8日</li> <li>開催場所 旭川市大雪クリスタルホール</li> <li>参加人数 60人</li> </ul> <p>(2) ジオツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成30年7月8日, 平成30年9月15日, 平成30年9月23日</li> <li>参加人数 延べ73人</li> </ul> <p>(3) ジオパークポスター展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成30年8月28日～平成31年3月27日</li> </ul> <p>(4) 地学実験体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成31年2月8日～平成31年2月9日</li> <li>開催場所 旭川市民文化会館</li> <li>参加人数 150人</li> </ul> <p>(5) 日本遺産推進協議会設立総会, 認定記念シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 平成30年11月21日</li> <li>開催場所 旭川市大雪クリスタルホール</li> <li>参加人数 160人</li> </ul> |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| 3 事業の成果   |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| <p>周辺自治体と連携し様々なイベントや普及活動を行ったことで、ジオパーク構想を広く市民に啓発することができた。</p>  |   |      |       |         |         |                 |       |  |
| 課題と今後の取組  | <p>日本ジオパークの認定を目指し、周辺自治体や関係機関、また、上川町を中心とした日本遺産の取組との連携を図りながら、地質学的価値のある自然遺産の保全に努めるなど持続可能な取組を行っていく。</p> |      |       |         |         |                 |       |  |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|  |  |          |  |          |     |                 |             |  |
|--|--|----------|--|----------|-----|-----------------|-------------|--|
| 事業名  | (新) 大雪カムイミンタラDMO推進費  |          |  |          |     | 担当部局            | 観光スポーツ交流部   |  |
| 事業コード  | 大  | 07       | 7  | 款        | 商工費 | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97          |  |
|  | 中  | 12       | 1  | 項        | 商工費 |                 |             |  |
|  | 小  | 41       | 4  | 目        | 観光費 |                 |             |  |
| 費用   | 予 算 額  |          |  | 決 算 額    |     |                 | 市民一人当たりの決算額 |  |
|  | 111,421千円  |          |  | 97,529千円 |     |                 | 289円        |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳   | 一般財源     | 国庫支出金  | 道支出金     | 市 債 | その他特定財源         |             |  |
|  | 62,239千円   | 35,290千円 |  |          |     |                 |             |  |
| 1 事業目的   |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| <p>カムイスキーリンクスを拠点としたスノーリゾート地域の構築をはじめ、圏域全体で夏季を含めた滞在型・通年型観光の促進に向け、マーケティング調査や各種モデル事業、PR事業等を実施する(一社)大雪カムイミンタラDMOを支援する。</p>  |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| 2 事業概要   |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| <p>1 大雪カムイミンタラDMO会費負担金 94,529千円</p> <p>2 Hokkaido Snow Travel Expo 2019 in KAMUI事業負担金 3,000千円<br/> 開催日 平成31年2月25日(月)～平成31年3月2日(土)<br/> 内 容 (一社)大雪カムイミンタラDMOが実施主体となり、海外旅行会社やメディアを招へいし、圏域の冬の魅力を実感していただき「都市型スノーリゾート」の魅力伝え、冬季旅行商品の造成の促進を図った。</p> |  |          |  |          |     |                 |             |  |
|   |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| カムイスキーリンクス   |  |          | Hokkaido Snow Travel Expo 2019 in KAMUI (商談会)  |          |     |                 |             |  |
| 3 事業の成果  |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| <p>観光庁から日本版DMOとして登録を受けた(一社)大雪カムイミンタラDMOが本格的な活動を開始し、マーケティング調査や旅行商品の開発、人材育成など各種取組を実施した。</p> <p>また、(一社)大雪カムイミンタラDMOが指定管理者を務めるカムイスキーリンクスについて、リフト等の利用のためのIC自動ゲートやコンシェルジュデスクなどの整備を行い、スキー場の利用者数が98,634人(前年比126.7%)となり、都市型スノーリゾートの促進が図られた。</p>       |  |          |  |          |     |                 |             |  |
| 課題と今後の取組   | (一社)大雪カムイミンタラDMOは設立して間もないため、財政及び人的基盤が脆弱であり、安定運営に向けて引き続き支援が必要である。 |          |  |          |     |                 |             |  |

| 事業名  | 航空路線確保対策費   |            |            |          |       | 担当部局            | 地域振興部   |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|--|---|------------|------------|----------|-------|-----------------|---------|--|--------|--------|--------|---------|------------|------------|------------|---------|----------|---------|---------|
| 事業コード  | 大   | 07         | 2          | 款        | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69      |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|  | 中   | 21         | 1          | 項        | 総務管理費 |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|  | 小   | 02         | 10         | 目        | 企画費   |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 費用   | 予 算 額   |            |            | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|  | 63,970千円  |            |            | 45,068千円 |       | 134円            |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源       |            | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
|  |   | 44,979千円   |            | 89千円     |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 1 事業目的   |   |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| <p>まちの活力を維持し、人、物、情報などの交流を活発化させるため、その手段となる航空路線の維持・確保・充実を図り、利便性の高い交通ネットワークを確保する。</p>   |   |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 2 事業概要   |   |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| <p>1 国際定期便の就航支援</p> <p>(1) 旭川空港国際線ターミナルビル国際線専用施設の借上げ 10,127千円</p> <p>(2) 国際線運航航空会社への事務室の無償貸与 6,363千円</p> <p>(3) 旭川空港国際線ターミナルビル施設使用料の補助 3,175千円</p> <p>(4) 旭川空港グランドハンドリング体制の安定化促進 12,000千円</p> <p>(5) 旭川空港における汚物運搬作業の補助 1,107千円</p> <p>(6) 国際線デアイシング事業経費の補助 1,507千円</p> <p>2 国内線・国際線の維持・拡充</p> <p>(1) 各航空会社への要望活動等 10,709千円</p> <p>(2) 各種会議への参加 80千円</p>  |   |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 3 事業の成果  |   |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| <p>国内線利用者数は平成28年度から3年連続で100万人を超えた。<br/>また、国際線利用者数は減少したが、平成30年夏ダイヤからタイガーエア台湾が定期便化した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内線利用者数</td> <td>1,006,429人</td> <td>1,074,361人</td> <td>1,080,267人</td> </tr> <tr> <td>国際線利用者数</td> <td>116,005人</td> <td>56,354人</td> <td>55,247人</td> </tr> </tbody> </table> |   |            |            |          |       |                 |         |  | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 国内線利用者数 | 1,006,429人 | 1,074,361人 | 1,080,267人 | 国際線利用者数 | 116,005人 | 56,354人 | 55,247人 |
|  | 平成28年度  | 平成29年度     | 平成30年度     |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 国内線利用者数  | 1,006,429人  | 1,074,361人 | 1,080,267人 |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 国際線利用者数  | 116,005人  | 56,354人    | 55,247人    |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |
| 課題と今後の取組   | <p>国を挙げてインバウンド拡大に取り組む中、旭川空港においてもこれらの需要を取り込んでいく必要がある。また、空港の根幹を担う国内線についても、更に利用拡大に向けた活動を強化する必要がある。</p> |            |            |          |       |                 |         |  |        |        |        |         |            |            |            |         |          |         |         |

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |              |      |       |          |       |                 |    |
|-------|--------------|------|-------|----------|-------|-----------------|----|
| 事業名   | 地域公共交通対策費    |      |       |          | 担当部局  | 地域振興部           |    |
| 事業コード | 大            | 07   | 2     | 款        | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 69 |
|       | 中            | 21   | 1     | 項        | 総務管理費 |                 |    |
|       | 小            | 04   | 10    | 目        | 企画費   |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |      |       | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 18,789千円     |      |       | 17,464千円 |       | 52円             |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債   | その他特定財源         |    |
|       | 17,464千円     |      |       |          |       |                 |    |

1 事業目的

路線バスなどの公共交通体系の維持、確保、充実を図るため、関係機関との連携を図りながら、路線維持対策、利用促進事業等を行う。

2 事業概要

- 旭川市生活交通路線維持対策費補助金 13,047千円  
地域住民の生活に必要なバス路線等の維持・確保を目的としたバス事業者等に対する補助
- JR路線維持関連費 1,790千円  
宗谷線、石北線、富良野線の維持存続に係るJRの利用促進イベントや関係者との協議
- ユニバーサルデザインタクシー導入促進補助金 1,700千円  
100千円×17台（市内タクシー事業者3社）
- その他事務経費 927千円



JR子ども見学ツアー



ユニバーサルデザインタクシー

3 事業の成果

地域住民の生活に必要なバス路線等に補助を行うことで、路線の維持・確保ができたほか、誰もが安心・安全で快適に利用できるユニバーサルデザインタクシー車両の導入を促進することができた。（平成29・30年度の合計導入台数 31台）  
また、JR利用促進イベントを開催したことで、広く市民に対し、JRの利用促進や公共交通に関する周知を行うことができた。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | JRや路線バスなどの利便性の向上と利用人数の増加に向けた利用促進イベントの実施など、人口減少や少子高齢化が進む社会状況においても持続可能な公共交通体系の維持・確保に取り組む必要がある。 |
|----------|--|



|       |              |           |         |           |      |             |                 |     |
|-------|--------------|-----------|---------|-----------|------|-------------|-----------------|-----|
| 事業名   | 空港整備費        |           |         |           | 担当部局 | 地域振興部       |                 |     |
| 事業コード | 大            | 07        | 8       | 款         | 土木費  |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 103 |
|       | 中            | 21        | 4       | 項         | 空港費  |             |                 |     |
|       | 小            | 09        | 1       | 目         | 空港費  |             |                 |     |
| 費用    | 予 算 額        |           |         | 決 算 額     |      | 市民一人当たりの決算額 |                 |     |
|       | 274,180千円    |           |         | 270,629千円 |      | 802円        |                 |     |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源      | 国庫支出金   | 道支出金      | 市 債  | その他特定財源     |                 |     |
|       | 18,124千円     | 154,244千円 | 3,861千円 | 94,400千円  |      |             |                 |     |

1 事業目的

都市としての拠点性を高め、より一層の交流を促すため、駐機場（エプロン）等の空港施設を整備する。

2 事業概要

- |                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| 1 エプロン拡張などターミナル地域再編に向けた工事      | 249,869千円 |
| 2 エプロン拡張などターミナル地域再編工事に伴う施設台帳更新 | 5,810千円   |
| 3 構内道路歩道庇などターミナル地域利便施設整備に向けた設計 | 3,402千円   |
| 4 滑走路端安全区域の拡張整備に向けた検討業務        | 6,458千円   |
| 5 積算業務に使用する積算システム使用料などの事務費     | 5,090千円   |



3 事業の成果

既存ターミナルの南側へ展開する国際線ターミナル施設の増築に合わせ、駐機場（エプロン）南端の中型機用を大型機用へと拡張し、南側の駐機場所2箇所を国際線大型機用と割り当てることで、これまで1機のみであった国際線が、2機同時に駐機できるようになった。  
このことにより、航空会社が希望する就航時間帯に柔軟に対応できるため、より積極的な路線誘致が可能となった。

|          |  |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | <p>今後は、既存ターミナル施設の改修が完了する令和元年9月のグランドオープンに合わせ、構内道路歩道庇など空港ターミナル地域の利便施設整備を実施する予定であるほか、空港施設設置基準の改訂に伴う滑走路端安全区域の拡張整備に向け、設計・工事等を計画的に実施する必要がある。</p> |
|----------|--|

2 しごと 生き生き 賑わいづくり

|       |              |          |   |           |       |             |                 |
|-------|--------------|----------|---|-----------|-------|-------------|-----------------|
| 事業名   | 運動公園整備費      |          |   |           | 担当部局  | 土木部         |                 |
| 事業コード | 大            | 08       | 8 | 款         | 土木費   |             | 事項別明細書<br>掲載ページ |
|       | 中            | 11       | 5 | 項         | 都市計画費 |             |                 |
|       | 小            | 21       | 3 | 目         | 緑地公園費 |             |                 |
| 費用    | 予 算 額        |          |   | 決 算 額     |       | 市民一人当たりの決算額 |                 |
|       | 1,066,486千円  |          |   | 764,536千円 |       | 2,266円      |                 |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源     |   | 国庫支出金     | 道支出金  | 市 債         | その他特定財源         |
|       |              | 19,250千円 |   | 370,000千円 |       | 372,400千円   | 2,886千円         |

1 事業目的

スポーツ振興や都市緑地、防災上の課題等に対応するため、平常時は、誰もが自然と触れ合いながら、スポーツ・レクリエーションが行える「新たなスポーツの拠点」として、また、災害発生時には、復旧復興本部や災害復旧活動の支援拠点等となる「広域防災拠点及び広域避難地」として利用できる防災公園を整備する。

2 事業概要

- 1 東光スポーツ公園の整備
  - (1) 武道館整備 524,260千円
    - ・ 武道館整備（令和元年度完成予定）
  - (2) 東側駐車場整備 73,578千円
    - ・ 東側駐車場 約1,400㎡を整備
  - (3) 第3野球場整備 136,778千円
    - ・ 表層（クレイ土），周辺植栽等を整備
  - (4) 防災設備 16,157千円
    - ・ 防災用トイレ（マンホールトイレ）を整備
  - (5) 物品購入等 13,763千円
    - ・ スプリンクラー，レーキ，ベース等の購入ほか



武道館（建設中）



第3野球場

3 事業の成果

令和2年度春の武道館オープンに向け、建設工事に着手することができたほか、マンホールトイレの整備により、防災機能の向上を図ることができた。  
また、第3野球場や東側駐車場の完成により、公園の供用区域が増え、利用者の利便性が向上した。

課題と今後の取組

平成30年度から工事を進めている武道館をはじめ、東光スポーツ公園内の施設を整備するには、多額の費用を要することから、利用者のニーズを的確に把握しながらも、コストに十分配慮し、今後の施設整備を進める必要がある。

|       |                   |          |   |          |       |                 |          |
|-------|-------------------|----------|---|----------|-------|-----------------|----------|
| 事業名   | 老人クラブ・高齢者いきいの家運営費 |          |   |          | 担当部局  | 福祉保険部           |          |
| 事業コード | 大                 | 03       | 3 | 款        | 民生費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 77       |
|       | 中                 | 21       | 1 | 項        | 社会福祉費 |                 |          |
|       | 小                 | 03       | 3 | 目        | 老人福祉費 |                 |          |
| 費用    | 予 算 額             |          |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |          |
|       | 47,528千円          |          |   | 44,426千円 |       | 132円            |          |
|       | 決算額の<br>財源内訳      | 一般財源     |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源  |
|       |                   | 19,330千円 |   | 9,738千円  |       |                 | 15,358千円 |

1 事業目的

高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、教養講座・レクリエーションその他の行事に高齢者が自主的かつ積極的に参加し、活発な地域活動を展開することを目的とした老人クラブと、高齢者が一日を楽しく過ごすことのできる場所を確保することを目的とした高齢者いきいの家への支援を行う。

2 事業概要

- 1 高齢者いきいの家運営費補助金
  - (1) 補助金交付額 15,339千円
  - (2) 高齢者いきいの家数（平成31年3月31日現在） 132箇所
  - (3) 利用者延人数 305,711人
- 2 老人クラブ運営費補助金
  - (1) 補助金交付額 23,312千円
  - (2) 老人クラブ数（平成31年3月31日現在） 102クラブ
  - (3) 老人クラブ会員数 6,523人
- 3 旭川市老人クラブ連合会運営費補助金 5,534千円
- 4 老人クラブ及び高齢者いきいの家運営費補助金説明会 19千円
  - (1) 開催日 平成31年3月7日
  - (2) 場所 旭川市民文化会館
- 5 前年度国庫補助金の精算に伴う返還金 222千円

3 事業の成果

老人クラブ運営費補助金は、各クラブの活動状況に応じて交付する活動加算額の単価を3千円から4千円に増額し、老人クラブ活動の活性化を図ることができた。  
 老人クラブ会員の高齢化や高齢者ニーズの多様化により会員数及び老人クラブ数の減少が進む中、平成30年度から老人クラブと高齢者いきいの家の一体化を順次実施したことにより、老人クラブ会員と高齢者いきいの家の利用者の交流が図られ、新たに老人クラブが1クラブ、高齢者いきいの家が6箇所新設され、新規会員の加入を促進するとともに高齢者の活動拠点を確保することができた。  
 また、この一体化により、特定財源が増額となり、市費負担額を減額することができた。

課題と今後の取組

老人クラブの新規会員の加入促進を図るとともに活動拠点を確保するため、地域実情を踏まえながら、老人クラブと高齢者いきいの家の一体化を順次進めるとともに、高齢者いきいの家の新設について要望があった場合、財政状況等を踏まえながら検討する。

3 地域 いきいき 温もりづくり

|   |   |       |       |         |       |                 |     |
|---|---|-------|-------|---------|-------|-----------------|-----|
| 事業名   | 小中連携一貫コミュニティ・スクール推進費  |       |       |         | 担当部局  | 学校教育部           |     |
| 事業コード   | 大   | 04    | 10    | 款       | 教育費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 111 |
|   | 中   | 11    | 1     | 項       | 教育総務費 |                 |     |
|   | 小   | 35    | 3     | 目       | 教育指導費 |                 |     |
| 費用  | 予 算 額   |       |       | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |     |
|   | 5,206千円   |       |       | 5,058千円 |       | 15円             |     |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源  | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債   | その他特定財源         |     |
|   | 4,821千円   | 237千円 |       |         |       |                 |     |
| 1 事業目的  |   |       |       |         |       |                 |     |
| <p>子ども一人一人の学力の向上や人間形成を図るため、「旭川市小中連携・一貫教育推進プラン」に基づき、9年間を見通した系統的な教育活動や、小学校から中学校への円滑な接続を目指す取組を推進するとともに、これらの取組をベースにコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）を導入し、学校・家庭・地域の協働により子どもたちを育むことを目指す。</p>  |   |       |       |         |       |                 |     |
| 2 事業概要  |   |       |       |         |       |                 |     |
| <p>1 連携コーディネーターの配置（教育委員会に2人） 4,051千円<br/>                 2 研修会等の開催 238千円<br/>                 (1) コミュニティ・スクール研修会<br/>                 （平成30年7月11日 校長など81人参加）<br/>                 (2) 小中連携・一貫教育、コミュニティ・スクール推進研修会<br/>                 （平成30年8月7日 教職員228人参加）<br/>                 (3) コミュニティ・スクール市民説明会<br/>                 （平成30年10月10日 学校・家庭・地域から102人参加）<br/>                 (4) コミュニティ・スクール推進懇談会<br/>                 （平成31年2月28日 学校運営協議会委員など97人参加）<br/>                 (5) 魅力ある学校づくり推進フォーラム（平成31年3月8日 教職員など20人参加）<br/>                 テーマ：コミュニティ・スクールの目指すもの 講師：文科省CSマイスター 豊島滋氏<br/>                 3 先進地視察等 177千円<br/>                 (1) コミュニティ・スクール研究大会in三笠<br/>                 （平成30年10月12日 モデル地区などから21人参加）<br/>                 (2) 学校教育魅力化フォーラム参加及び足立区視察（平成30年10月16日～17日）<br/>                 4 コミュニティ・スクールの導入（平成31年1月25日） 29千円<br/>                 3中学校区8校に5つの学校運営協議会を設置，46人の委員を任命<br/>                 5 事務費 563千円</p> |   |       |       |         |       |                 |     |
| 3 事業の成果   |   |       |       |         |       |                 |     |
| <p>連携コーディネーターが必要に応じて学校訪問するなどの支援を行ったほか、全中学校区で「旭川市小中連携・一貫教育推進プラン」に基づき、実情に応じて9年間を見通した学習の決まりづくりや英語の乗り入れ授業などの取組を実施した。<br/>                 また、コミュニティ・スクールについて、教職員対象の研修会や市民説明会などを開催し、関係者の理解を深めるとともに、先進地を参考としながら、モデル地区として3中学校区に導入した。</p>   |   |       |       |         |       |                 |     |
| 課題と今後の取組  | <p>「旭川市小中連携・一貫教育推進プラン」に基づく取組を着実に進めるとともに、その取組をベースに、小・中学校の配置状況や、通学区域、学校規模等の課題の整理を行いつつ、モデル地区の成果を踏まえながら、各中学校区の実情に応じたコミュニティ・スクールを導入する。</p> |       |       |         |       |                 |     |

|       |              |      |       |          |       |                 |    |
|-------|--------------|------|-------|----------|-------|-----------------|----|
| 事業名   | 地域商店街拠点化促進費  |      |       |          | 担当部局  | 経済部             |    |
| 事業コード | 大            | 07   | 7     | 款        | 商工費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 97 |
|       | 中            | 11   | 1     | 項        | 商工費   |                 |    |
|       | 小            | 32   | 1     | 目        | 商業振興費 |                 |    |
| 費用    | 予 算 額        |      |       | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |    |
|       | 11,268千円     |      |       | 10,995千円 |       | 33円             |    |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債   | その他特定財源         |    |
|       | 10,995千円     |      |       |          |       |                 |    |

1 事業目的

地域コミュニティの核である商店街を地域のまちづくりの拠点とする取組や商店街の活性化に資する事業の実施を支援する。  
また、地域の商工団体が主体となった地域イベント等の開催など、地域づくりに資する活動や取組を支援する。

2 事業概要

- 1 旭川商店街サポートセンターの活動支援 6,800千円
  - (1) 助成事業 17商店会25事業を助成
  - (2) 自主事業
    - ・ 事業成果報告書の作成・配付
    - ・ 事業成果報告発表会・研修講座の開催
  - (3) 地域商店街指導助言活動
- 2 地域イベントの開催支援 4,100千円
  - (1) 永山屯田まつり (1,200千円)  
7月28・29日開催 来場者数80,000人
  - (2) 花火inKAGURA (2,000千円)  
8月13・14日開催 来場者数45,000人
  - (3) 石狩川フェスティバル (700千円)  
7月8日開催 来場者数33,000人
  - (4) 旭山公園夜桜まつり (200千円)  
5月3～8日開催 来場者数10,000人
- 3 事務費 95千円



花火inKAGURA

3 事業の成果

旭川商店街サポートセンターの活動を支援することにより、各商店会の連携が強化されるとともに商店会の自主的な取組が促進され、地域コミュニティの核としての地域商店街の活性化並びに本市商業の振興が図られた。  
また、商工会等が主体となったイベント等の開催を支援することで、地域が連携して行う地域づくりの取組を推進することができた。

課題と今後の取組

商店街は買物や地域の賑わい創出の場に加えて、多様な地域課題の解決など地域コミュニティの核として、ますます重要な役割を担うことから、引き続き旭川商店街サポートセンター及び地域イベント開催等の支援を行い、地域の発展や市民生活の向上を目指す。

### 3 地域 いきいき 温もりづくり

|       |              |         |   |         |       |                 |         |
|-------|--------------|---------|---|---------|-------|-----------------|---------|
| 事業名   | 地域まちづくり推進費   |         |   |         | 担当部局  | 市民生活部           |         |
| 事業コード | 大            | 11      | 2 | 款       | 総務費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 65      |
|       | 中            | 21      | 1 | 項       | 総務管理費 |                 |         |
|       | 小            | 02      | 5 | 目       | 市民活動費 |                 |         |
| 費用    | 予 算 額        |         |   | 決 算 額   |       | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 11,510千円     |         |   | 9,716千円 |       | 29円             |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源    |   | 国庫支出金   | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源 |
|       |              | 9,353千円 |   |         |       |                 | 363千円   |

#### 1 事業目的

全市15地域に設置した地域まちづくり推進協議会において、地域情報や課題の共有化を図るとともに、地域の課題解決や活性化に取り組む事業実施団体に対して補助金を交付することで、地域特性を生かした多様なまちづくりを推進する。

#### 2 事業概要

- 1 地域まちづくり推進協議会の開催 1,264千円  
全市15地域で延べ76回開催
- 2 地域まちづくり推進事業補助金 5,948千円  
52団体, 61事業
- 3 地域まちづくり推進協議会の事務局業務等委託 2,453千円  
春光台・鷹の巣, 春光地域
- 4 地域まちづくり推進協議会合同研修会 51千円  
テーマ「人口減少時代 地域を変える  
～まちづくり推進協議会がカギをにぎる～」  
内 容 各地域のまちづくり推進協議会委員が参加し  
グループワーク



旭新お助け隊  
(中央・新旭川地域)

#### 3 事業の成果

平成30年度は、事業主体を全市的に協議会自体から地域の実行組織としたほか、地域が自由に提案できる補助枠を拡大することで、地域の体制づくりや事業活動を広げることができた。

#### 課題と 今後の取組

「まちづくり基本条例」や「地域自治推進ビジョン」に基づき、地域自治組織の強化と合わせて、行政支援・機能の充実等を図る。  
また、引き続き包括型補助金モデル事業の対象地域の拡大を図る。

|       |                        |          |   |           |          |                 |         |
|-------|------------------------|----------|---|-----------|----------|-----------------|---------|
| 事業名   | 緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）整備費 |          |   |           | 担当部局     | 市民生活部           |         |
| 事業コード | 大                      | 11       | 2 | 款         | 総務費      | 事項別明細書<br>掲載ページ | 65      |
|       | 中                      | 21       | 1 | 項         | 総務管理費    |                 |         |
|       | 小                      | 09       | 5 | 目         | 市民活動費    |                 |         |
| 費用    | 予 算 額                  |          |   | 決 算 額     |          | 市民一人当たりの決算額     |         |
|       | 397,016千円              |          |   | 377,124千円 |          | 1,118円          |         |
|       | 決算額の<br>財源内訳           | 一般財源     |   | 国庫支出金     | 道支出金     | 市 債             | その他特定財源 |
|       |                        | 36,224千円 |   |           | 97,000千円 | 243,900千円       |         |

1 事業目的

地域主体のまちづくりを推進するため、コンコードパーク緑が丘の公共利用エリアを活用し、健康づくり、スポーツ、生きがいづくり、防災など、幅広いニーズに対応した地域の活動拠点となる複合コミュニティ施設を整備する。

2 事業概要

- 1 建設工事の実施 377,124千円  
（内訳）  
新築工事 (339,714千円)  
電気設備工事 (9,806千円)  
衛生設備工事 (15,494千円)  
空調設備工事 (12,110千円)



複合コミュニティ施設 外観

2 施設の概要

- (1) 建設場所 旭川市緑が丘東3条1丁目  
(2) 延床面積 1,562.31平方メートル  
(3) 主な施設  
(ア) 緑が丘地域活動センター  
（多目的ホール、中・小会議室、ミニキッチン併設するフリースペース、  
図書スペースなど）  
(イ) 神楽・西神楽地域包括支援センター  
(ウ) 南消防署緑が丘出張所  
(4) 開設予定日 令和元年11月1日

3 事業の成果

複合コミュニティ施設の建設工事（2か年工事の1年目）に着手するとともに、緑が丘地域活動センターの管理運営体制の構築に向け、地域との協議を行った。

課題と  
今後の取組

令和元年11月1日の施設開設に向けて、複合施設の建設工事（2年目）を進めるとともに、外構を整備する。  
また、緑が丘地域活動センターの円滑な管理運営に向けて、引き続き地域と協議を進める。

4 次の世代につながるまちづくり

| 事業名  | 児童家庭相談事業費    |   |   |          |         | 担当部局            | 子育て支援部  |  |
|--|--------------|---|---|----------|---------|-----------------|---------|--|
| 事業コード  | 大            | 01  | 3 | 款        | 民生費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 79      |  |
|  | 中            | 11  | 2 | 項        | 児童福祉費   |                 |         |  |
|  | 小            | 02  | 1 | 目        | 児童福祉総務費 |                 |         |  |
| 費用   | 予 算 額        |   |   | 決 算 額    |         | 市民一人当たりの決算額     |         |  |
|  | 21,762千円     |   |   | 21,494千円 |         | 64円             |         |  |
|  | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源  |   | 国庫支出金    | 道支出金    | 市 債             | その他特定財源 |  |
|  |              | 10,202千円  |   | 9,644千円  | 1,648千円 |                 |         |  |
| 1 事業目的   |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| <p>児童やその保護者等からの相談を受け、助言・指導等の対応・支援を行うことにより、市民の子育て等に係る不安感の解消を図る。</p>   |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| 2 事業概要   |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| <p>1 児童家庭相談事業費</p> <p>(1) 家庭児童相談等 19,107千円<br/> (ア) 家庭児童相談員8人, 保健師1人<br/> (イ) 延べ相談件数 4,093件 (うち児童虐待751件)</p> <p>(2) スクールソーシャルワーカーの配置 1,959千円<br/> (ア) スクールソーシャルワーカー配置人数 1人<br/> (イ) 延べ相談件数 948件</p> <p>(3) 養育支援訪問事業 401千円<br/> (ア) 専門的相談支援 11世帯, 延べ55回<br/> (イ) 育児・家児援助 8世帯, 延べ101回</p> <p>(4) 児童虐待防止に係る広報・啓発活動 27千円<br/> (ア) 児童虐待防止研修会 1回<br/> (イ) 児童虐待防止街頭啓発等 1回</p> |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| 3 事業の成果  |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| <p>子どもや家庭についての様々な問題や不登校, いじめ, 児童虐待等に関する相談に応じ, 関係機関と連携・協力しながら支援を行うことで, 子育て等に係る不安の解消や児童虐待の防止等を図った。</p> <p>養育支援訪問事業については, 平成30年度からヘルパーの資格を有する方等を訪問支援員に委嘱し, 育児・家事援助の提供体制を強化した。</p> <p>また, 児童相談所設置検討連絡会に参加し, 先行市の情報収集に努めた。</p>  |              |   |   |          |         |                 |         |  |
| 課題と今後の取組   |              | <p>児童虐待を含めた相談件数が増加傾向にあり, 相談内容も多様で, 対応には関係機関との緊密な連携や高い専門性が求められることから, 研修等により相談員等の能力向上や人材の確保を図る。</p> <p>また, 児童相談所について, 設置市への視察調査等を行い, 設置を検討する。</p> |   |          |         |                 |         |  |



|       |              |       |       |           |       |                 |     |
|-------|--------------|-------|-------|-----------|-------|-----------------|-----|
| 事業名   | がん対策費        |       |       |           |       | 担当部局            | 保健所 |
| 事業コード | 大            | 02    | 4     | 款         | 衛生費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 85  |
|       | 中            | 11    | 1     | 項         | 保健衛生費 |                 |     |
|       | 小            | 08    | 2     | 目         | 予防費   |                 |     |
| 費用    | 予 算 額        |       |       | 決 算 額     |       | 市民一人当たりの決算額     |     |
|       | 237,754千円    |       |       | 237,441千円 |       | 704円            |     |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源  | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債   | その他特定財源         |     |
|       | 237,229千円    | 212千円 |       |           |       |                 |     |

## 1 事業目的

市民にがん検診の機会を提供し、がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡者数の減少を図る。

## 2 事業概要

|                                 |         |            |
|---------------------------------|---------|------------|
| 1 がん検診の実施                       |         | 234,114千円  |
|                                 | 受診者数    | 委託料等       |
| (1) 胃がん検診                       | 8,685人  | (35,432千円) |
| (2) 子宮がん検診 (HPV検査含む)            | 12,165人 | (91,093千円) |
| (3) 肺がん検診                       | 10,837人 | (13,102千円) |
| (4) 乳がん検診                       | 9,476人  | (59,064千円) |
| (5) 大腸がん検診                      | 15,013人 | (35,038千円) |
| (6) ピロリ菌検査                      | 1,359人  | (28千円)     |
| (7) 郵送料                         |         | (357千円)    |
| 2 がん予防意識の普及啓発                   |         |            |
| 「がん予防学級 (講演会)」, 「がん予防普及パネル展」の開催 |         | 10千円       |
| 3 その他事務費等                       |         | 3,317千円    |

## 3 事業の成果

がん検診の受診機会提供により、早期発見につなげることができた。  
また、平成30年10月から新たに開始したピロリ菌検査の実施により、受診者の胃がんのリスク評価を行うことができた。

課題と  
今後の取組

低調に推移しているがん検診の受診率向上のための取組を充実させるとともに、ピロリ菌検査については20歳の受診者数が少ないため、受診者数の増加を図る。

4 次の世代につながるまちづくり

|  |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|--|---|------------------|---|----------|---------|-------------|-----------------|-----|---|------|----------|--|------|-----|-----|-------|------------------|-----|-----------------|------------------|-----|-------|------------------|-----|-------|----------------|-----|--------|------------------|-----|-------------------|------------------|---|---------------------|--------------|---|-------------|---------|
| 事業名  | 疾病予防費【国民健康保険事業特別会計】   |                  |   |          | 担当部局    | 福祉保険部       |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 事業コード  | 大   | 02               | 6 | 款        | 保健事業費   |             | 事項別明細書<br>掲載ページ | 139 |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  | 中   | 11               | 1 | 項        | 保健事業費   |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  | 小   | 09               | 2 | 目        | 疾病予防費   |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 費用   | 予 算 額   |                  |   | 決 算 額    |         | 市民一人当たりの決算額 |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  | 27,074千円  |                  |   | 22,150千円 |         | 66円         |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源             |   | 国庫支出金    | 道支出金    | 市 債         | その他特定財源         |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  |   |                  |   |          | 3,696千円 |             | 18,454千円        |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 1 事業目的   |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| <p>国民健康保険加入者に対し「健康寿命の延伸」を図るため、各種がん検診（ピロリ菌検査含む）、年齢拡大健診（35～39歳の特定健診）費用の助成を行う。</p>  |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 2 事業概要   |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 75%;">がん検診</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">15,875千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">委託料</td> </tr> <tr> <td>(1)</td> <td>胃がん検診</td> <td style="text-align: right;">2,275人 (2,511千円)</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>子宮がん検診（HPV検査含む）</td> <td style="text-align: right;">2,703人 (3,710千円)</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>肺がん検診</td> <td style="text-align: right;">2,913人 (1,430千円)</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>乳がん検診</td> <td style="text-align: right;">1,962人 (836千円)</td> </tr> <tr> <td>(5)</td> <td>大腸がん検診</td> <td style="text-align: right;">3,730人 (2,984千円)</td> </tr> <tr> <td>(6)</td> <td>ピロリ菌検査（システム構築費含む）</td> <td style="text-align: right;">1,347人 (4,404千円)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>年齢拡大健診（35～39歳の特定健診）</td> <td style="text-align: right;">220人 1,657千円</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>事務費等（人件費含む）</td> <td style="text-align: right;">4,618千円</td> </tr> </table> |   |                  |   |          |         |             |                 |     | 1 | がん検診 | 15,875千円 |  | 受診者数 | 委託料 | (1) | 胃がん検診 | 2,275人 (2,511千円) | (2) | 子宮がん検診（HPV検査含む） | 2,703人 (3,710千円) | (3) | 肺がん検診 | 2,913人 (1,430千円) | (4) | 乳がん検診 | 1,962人 (836千円) | (5) | 大腸がん検診 | 3,730人 (2,984千円) | (6) | ピロリ菌検査（システム構築費含む） | 1,347人 (4,404千円) | 2 | 年齢拡大健診（35～39歳の特定健診） | 220人 1,657千円 | 3 | 事務費等（人件費含む） | 4,618千円 |
| 1  | がん検診  | 15,875千円         |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
|  | 受診者数  | 委託料              |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (1)  | 胃がん検診   | 2,275人 (2,511千円) |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (2)  | 子宮がん検診（HPV検査含む）   | 2,703人 (3,710千円) |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (3)  | 肺がん検診   | 2,913人 (1,430千円) |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (4)  | 乳がん検診   | 1,962人 (836千円)   |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (5)  | 大腸がん検診  | 3,730人 (2,984千円) |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| (6)  | ピロリ菌検査（システム構築費含む）   | 1,347人 (4,404千円) |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 2  | 年齢拡大健診（35～39歳の特定健診）   | 220人 1,657千円     |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 3  | 事務費等（人件費含む）   | 4,618千円          |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 3 事業の成果  |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| <p>健康保険が適用されない検診費用を助成することで、受診者の経済的負担を軽減し、がんや生活習慣病の早期発見につながった。<br/>また、ピロリ菌検査を平成30年10月から開始し、特定健診受診者数の向上に寄与した。</p>  |   |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |
| 課題と今後の取組   | <p>受診者数の増加に向けて、引き続き利便性の高い特定健診とがん検診を同時に受診できる「セット型健診」をPRするほか、周知方法や周知内容の改善を図る。</p> |                  |   |          |         |             |                 |     |   |      |          |  |      |     |     |       |                  |     |                 |                  |     |       |                  |     |       |                |     |        |                  |     |                   |                  |   |                     |              |   |             |         |

|       |              |            |   |          |       |                 |          |
|-------|--------------|------------|---|----------|-------|-----------------|----------|
| 事業名   | 合葬式施設整備費     |            |   |          | 担当部局  | 市民生活部           |          |
| 事業コード | 大            | 02         | 4 | 款        | 衛生費   | 事項別明細書<br>掲載ページ | 87       |
|       | 中            | 22         | 1 | 項        | 保健衛生費 |                 |          |
|       | 小            | 06         | 5 | 目        | 墓地費   |                 |          |
| 費用    | 予 算 額        |            |   | 決 算 額    |       | 市民一人当たりの決算額     |          |
|       | 14,262千円     |            |   | 13,064千円 |       | 39円             |          |
|       | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源       |   | 国庫支出金    | 道支出金  | 市 債             | その他特定財源  |
|       |              | △ 19,810千円 |   |          |       | 9,500千円         | 23,374千円 |

1 事業目的

少子高齢化の進行や価値観の多様化を背景とする、継承者を前提とした従来の墓地ではない新たな需要に応えるため、合葬式施設を整備する。

2 事業概要

- 1 合葬式施設整備工事 4,709千円
- 2 モニュメント等作成業務委託料 5,897千円
- 3 共同墓対応墓地管理システム賃貸借料 419千円
- 4 事務補助臨時職員賃金 745千円
- 5 合葬式施設整備懇談会 11千円
- 6 事務用品 1,283千円



旭川市共同墓 外観

3 事業の成果

平成29年度に引き続き、合葬式施設本体工事及びモニュメント作成業務を実施し、平成30年9月10日より旭川市共同墓として供用開始した。供用開始までに、共同墓対応墓地管理システムの導入や受付職員の配置等により多くの申請・問合せに対応可能な体制を整え、使用許可申請から納骨まで、円滑な運用を行った。

課題と今後の取組

今後においても、長期に渡り使用していく施設として、旭川市共同墓の適切な管理を行い、円滑に運用していく。また、墓参者が多く見込まれるお盆の時期には、交通誘導員を配置する等、旭川聖苑の会葬者及び旭川市共同墓の墓参者の安全及び利便性の確保を図る。

4 次の世代につながるまちづくり

| 事業名   |              | 文化芸術活動振興費  |          |      |         | 担当部局            | 社会教育部 |  |
|---|--------------|--|----------|------|---------|-----------------|-------|--|
| 事業コード   | 大            | 05   | 10       | 款    | 教育費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 117   |  |
|   | 中            | 21   | 5        | 項    | 社会教育費   |                 |       |  |
|   | 小            | 03   | 1        | 目    | 社会教育総務費 |                 |       |  |
| 費用  | 予 算 額        |  | 決 算 額    |      |         | 市民一人当たりの決算額     |       |  |
|   | 19,241千円     |  | 17,965千円 |      |         | 53円             |       |  |
|   | 決算額の<br>財源内訳 | 一般財源   | 国庫支出金    | 道支出金 | 市 債     | その他特定財源         |       |  |
|   | 16,901千円     |  |          |      |         | 1,064千円         |       |  |
| 1 事業目的  |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| <p>各種文化芸術活動の振興及び活性化を図るため、発表・展示・練習の場を提供するとともに、多くの市民が質の高い文化芸術に触れる機会を設ける。</p>  |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| 2 事業概要  |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| <p>1 各種文化芸術関連施設の管理運営</p> <p>(1) 市民ギャラリー運営管理委託等 6,627千円<br/>利用実績 団体数：11団体／利用率：36%</p> <p>(2) 旭川文学資料館運営業務委託 4,774千円<br/>来館者数 2,210人</p> <p>(3) リハーサルホール運営支援 1,800千円<br/>利用実績 団体数：20団体／回数：746回</p> <p>2 文化芸術団体開催事業等への助成</p> <p>(1) 劇団四季「こころの劇場」(寄附公演) 運営支援 192千円<br/>鑑賞人数 小学生等2,861人</p> <p>(2) 北海道150年松浦武四郎ミュージカル支援 500千円</p> <p>(3) アイヌ伝承事業補助金(2事業) 130千円</p> <p>(4) その他補助金(21事業) 2,754千円</p> <p>3 各種文化芸術振興関連費用 1,188千円</p> <p>(1) 「望郷の鐘」補修 など</p> |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| 3 事業の成果   |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| <p>市民ギャラリーをコレクション館に再オープンしたほか、市民が取り組んでいる文化芸術活動に対し助成を行うことで、発表・展示・練習の場や機会の充実が図られ、文化芸術活動の活性化を促すことができた。</p>  |              |  |          |      |         |                 |       |  |
| 課題と今後の取組  |              | <p>市民ギャラリーの利用率が低いことから、利用者の増加に向けて周知に努めるとともに、市民が継続的に文化芸術活動を行っていただけるよう、発表・展示・練習の場や機会の充実を図るなど、引き続き支援していく必要がある。</p> |          |      |         |                 |       |  |

|   |   |      |    |          |          |             |                        |
|---|---|------|----|----------|----------|-------------|------------------------|
| 事業名   | (新) 三浦綾子文学館20周年記念事業費  |      |    |          | 担当部局     | 社会教育部       |                        |
| 事業コード   | 大   | 05   | 10 | 款        | 教育費      |             | 事項別明細書<br>掲載ページ<br>117 |
|   | 中   | 21   | 5  | 項        | 社会教育費    |             |                        |
|   | 小   | 25   | 1  | 目        | 社会教育総務費  |             |                        |
| 費用  | 予 算 額   |      |    | 決 算 額    |          | 市民一人当たりの決算額 |                        |
|   | 22,000千円  |      |    | 22,000千円 |          | 65円         |                        |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 |    | 国庫支出金    | 道支出金     | 市 債         | その他特定財源                |
| 2,000千円   |   |      |    |          | 20,000千円 |             |                        |
| 1 事業目的  |   |      |    |          |          |             |                        |
| <p>本市の代表的な民間の文化施設・三浦綾子記念文学館が行う開館20周年記念事業について、補助金交付により事業実施を支援することで、本市の文化芸術振興を図る。</p>   |   |      |    |          |          |             |                        |
| 2 事業概要  |   |      |    |          |          |             |                        |
| <p>1 三浦綾子記念文学館分館整備補助金 20,000千円<br/> (1) 分館 文学館の隣に建設され、館内には、移設復元された三浦綾子氏の自宅書斎や、『氷点』『続・氷点』の資料が展示されている。<br/> (2) 開館 平成30年9月29日<br/> (3) 入館者数 5,981人</p>  <p>2 三浦綾子記念文学館記念行事等補助金 2,000千円<br/> (1) 長澤裕子野外彫刻展<br/> ・展示期間 平成30年5月3日～11月5日<br/> ・鑑賞者数 14,356人<br/> (2) 三浦綾子記念文学館20周年記念誌発行<br/> ・発行月 平成30年9月<br/> ・部数 6,000部</p> |   |      |    |          |          |             |                        |
| 3 事業の成果   |   |      |    |          |          |             |                        |
| <p>文学館分館が平成30年9月にオープンし、市民が文化芸術に触れられる新たな場となったほか、各種マスコミにも取り上げられたこと、また、開館20周年の歩みを綴った記念誌が広くファンに配られたことで、三浦文学の魅力や文学館の多彩な活動について情報発信することができ、本市の文化芸術の振興につながった。</p>   |   |      |    |          |          |             |                        |
| 課題と今後の取組  | <p>今後も、本市の文化振興につながる市民等の取組に対しては、その効果を見極めながら、補助金の交付に限らず名義後援や名義共催など様々な方法も検討し、支援を図っていく。</p> |      |    |          |          |             |                        |

4 次の世代につながるまちづくり

|   |   |      |       |         |        |                 |    |
|---|---|------|-------|---------|--------|-----------------|----|
| 事業名   | (新) 清掃工場整備推進費   |      |       |         | 担当部局   | 環境部             |    |
| 事業コード   | 大   | 09   | 4     | 款       | 衛生費    | 事項別明細書<br>掲載ページ | 89 |
|   | 中   | 21   | 2     | 項       | 清掃費    |                 |    |
|   | 小   | 46   | 1     | 目       | じん芥処理費 |                 |    |
| 費用  | 予 算 額   |      |       | 決 算 額   |        | 市民一人当たりの決算額     |    |
|   | 14,800千円  |      |       | 7,860千円 |        | 23円             |    |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金    | 市 債    | その他特定財源         |    |
|   | 7,860千円   |      |       |         |        |                 |    |
| 1 事業目的  |   |      |       |         |        |                 |    |
| <p>現清掃工場は、延命化工事によって令和8年度まで安定的な稼働が可能となっているが、令和9年度以降の清掃工場のあり方について、新たなごみ処理システムの構築と併せて、具体的な検討を進めるため、学識経験者や公募市民で構成する旭川市清掃工場検討委員会において審議を行い、市として望まれる施設整備のあり方を示す基本構想を策定する。</p>  |   |      |       |         |        |                 |    |
| 2 事業概要  |   |      |       |         |        |                 |    |
| <p>1 旭川市清掃工場検討委員会 464千円<br/>         (1) 開催回数 5回 (2) 委員の人数 9人<br/>         2 先進都市視察 37千円<br/>         (1) 視察日 平成30年7月30日<br/>         (2) 視察先 いわみざわ環境クリーンプラザ いわ☆ぴか(岩見沢市)<br/>         発寒清掃工場・破碎工場(札幌市)<br/>         3 パブリックコメント(旭川市清掃工場整備基本構想(案))<br/>         (1) 実施期間 平成31年1月21日～平成31年2月28日<br/>         (2) 結果 14人・団体, 16件<br/>         4 パブリックコメントに係る市民説明会 15千円<br/>         (1) 開催回数 8回(平成31年1月23日～平成31年2月24日)<br/>         (2) 参加人数 63人<br/>         5 清掃工場整備基本構想策定支援業務 7,344千円<br/>         (1) 契約期間 平成30年6月8日～平成31年3月29日<br/>         (2) 業務内容 基本構想策定に係る検討委員会資料の作成等の運営支援の実施</p> |   |      |       |         |        |                 |    |
| 3 事業の成果   |   |      |       |         |        |                 |    |
| <p>旭川市清掃工場検討委員会での審議やパブリックコメント、市民説明会を経て、平成31年4月に旭川市清掃工場整備基本構想を策定した。<br/>         本基本構想において、破碎・選別施設の導入や、廃プラスチック類(※)の焼却処理への移行により、最終処分量の削減や資源化率及びエネルギー回収の向上を目指すとともに、国の交付金を活用することで、市の実質負担額が少ない新設を基本に、現敷地内で整備することなどを整理した。</p> <p>※廃プラスチック類<br/>         リサイクルの対象とならないプラスチック製品や汚れたプラスチック製容器包装を指す。</p>  |   |      |       |         |        |                 |    |
| 課題と今後の取組  | <p>建設予定地周辺住民に対して、本事業に関する理解を深めてもらうための地域説明会や、全市民に対して、新たなごみ処理システムを導入することにより、ごみの分別がどのように変わるかなどを説明するための説明会を開催する。</p> |      |       |         |        |                 |    |

|  |   |      |   |         |        |                 |         |
|--|---|------|---|---------|--------|-----------------|---------|
| 事業名  | (新) 缶・びん等資源物中間処理施設整備調査費   |      |   |         | 担当部局   | 環境部             |         |
| 事業コード  | 大   | 09   | 4 | 款       | 衛生費    | 事項別明細書<br>掲載ページ | 89      |
|  | 中   | 21   | 2 | 項       | 清掃費    |                 |         |
|  | 小   | 47   | 1 | 目       | じん芥処理費 |                 |         |
| 費用   | 予 算 額   |      |   | 決 算 額   |        | 市民一人当たりの決算額     |         |
|  | 6,604千円   |      |   | 4,281千円 |        | 13円             |         |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 |   | 国庫支出金   | 道支出金   | 市 債             | その他特定財源 |
|  |   | 5千円  |   | 4,276千円 |        |                 |         |
| 1 事業目的   |   |      |   |         |        |                 |         |
| <p>空き缶、空きびん等の資源化に係る中間処理施設である近文リサイクルプラザについて、施設の老朽化や成果品の品質改善等が課題となっているため、新たな中間処理施設を整備するに当たり、必要な調査を実施する。</p>  |   |      |   |         |        |                 |         |
| 2 事業概要   |   |      |   |         |        |                 |         |
| <p>1 缶・びん等資源物中間処理施設整備に係るPFI等導入可能性調査業務 <span style="float: right;">4,277千円</span></p> <p>(1) 契約期間 平成30年4月27日～平成30年10月31日</p> <p>(2) 業務内容 新たな施設の整備に係る事業手法の総合的な評価の実施</p> <p>2 パブリックコメント（缶・びん等資源物中間処理施設整備基本構想（案））</p> <p>(1) 実施期間 平成31年2月21日～平成31年3月25日</p> <p>(2) 結果 4人・団体、6件</p> <p>3 事務用品の購入 <span style="float: right;">4千円</span></p> |   |      |   |         |        |                 |         |
| 3 事業の成果  |   |      |   |         |        |                 |         |
| <p>PFI等導入可能性調査では、経済性が優位で、作業員の安定的な確保や競争性も期待できる公設民営（DBO）方式が望ましいという結果となった。</p> <p>この結果を踏まえて、計画的に施設整備を進めるために、施設整備の考え方や施設整備の基本的条件など、基本的事項を定めた缶・びん等資源物中間処理施設整備基本構想を、パブリックコメントを経て、平成31年4月に策定した。</p>   |   |      |   |         |        |                 |         |
| 課題と今後の取組   | <p>缶・びん等資源物中間処理施設整備・運営事業者選定審査委員会を設置し、整備・運営事業者の選定に係る実施方針や評価基準等について検討し、提案書の審査等を経て事業者の選定を行う。</p> |      |   |         |        |                 |         |

4 次の世代につながるまちづくり

| 事業名   | 庁舎整備推進費   |         |       |          | 担当部局    | 総務部             |    |
|---|---|---------|-------|----------|---------|-----------------|----|
| 事業コード   | 大   | 13      | 2     | 款        | 総務費     | 事項別明細書<br>掲載ページ | 67 |
|   | 中   | 12      | 1     | 項        | 総務管理費   |                 |    |
|   | 小   | 20      | 9     | 目        | 財産管理費   |                 |    |
| 費用  | 予 算 額   |         |       | 決 算 額    |         | 市民一人当たりの決算額     |    |
|   | 18,809千円  |         |       | 15,984千円 |         | 47円             |    |
|   | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源    | 国庫支出金 | 道支出金     | 市 債     | その他特定財源         |    |
|   | 1,974千円   | 6,210千円 |       |          | 7,800千円 |                 |    |
| 1 事業目的  |   |         |       |          |         |                 |    |
| <p>現総合庁舎が抱える老朽化や狭あい化、分散化などの課題を解消するとともに、市民の安全・安心を確保するため、防災拠点としての機能を有する新庁舎を建設する。</p>  |   |         |       |          |         |                 |    |
| 2 事業概要  |   |         |       |          |         |                 |    |
| <p>1 庁舎整備推進</p> <p>(1) 総合庁舎建替基本設計（案）説明会 197千円<br/>           (ア) 日時 平成30年4月22日<br/>           (イ) 来場者数 211人（うち、報道関係8人）</p> <p>(2) 総合庁舎建替地質調査委託 8,186千円<br/>           ・委託先 大地コンサルタント（株）</p> <p>(3) 総合庁舎建替地中熱採熱応答試験業務委託 6,210千円<br/>           ・委託先 大地コンサルタント（株）</p> <p>(4) 新庁舎福祉環境アドバイザー業務委託 248千円<br/>           ・委託先 北翔大学大学院 教授 佐藤克之</p> <p>(5) 総合庁舎空中撮影業務委託 173千円<br/>           ・委託先 クウェスト合同会社</p> <p>(6) その他 970千円</p> |   |         |       |          |         |                 |    |
| 3 事業の成果   |   |         |       |          |         |                 |    |
| <p>平成29年度にまとめた旭川市総合庁舎建替基本設計（案）に対し寄せられた様々な市民意見を踏まえ、基本設計の大幅な見直しを行った。<br/>           その他、新庁舎建設予定地の調査業務や現総合庁舎の価値継承に向けた業務などを行った。</p>   |   |         |       |          |         |                 |    |
| 課題と今後の取組  | 令和2年度早々の新庁舎本体建設工事の着手に向け、令和元年度内に実施設計を完了し、工事契約に向けた手続を進める。 |         |       |          |         |                 |    |



| 事業名  | ふるさと納税推進費   |      |       |           |  | 担当部局            | 税務部 |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|--|---|------|-------|-----------|--|-----------------|-----|----|----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|
| 事業コード  | 大   | 13   | 2     | 款         | 総務費  | 事項別明細書<br>掲載ページ | 71  |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  | 中   | 22   | 2     | 項         | 徴税费  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  | 小   | 29   | 2     | 目         | 賦課徴収費  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| 費用   | 予 算 額   |      |       | 決 算 額     |  | 市民一人当たりの決算額     |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  | 202,786千円   |      |       | 202,786千円 |  | 601円            |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  | 決算額の<br>財源内訳  | 一般財源 | 国庫支出金 | 道支出金      | 市 債  | その他特定財源         |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  | 202,786千円   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| 1 事業目的   |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| <p>ふるさと納税制度に対する関心が依然として高いことから、本市においても地場産品を活用した返礼品を送付し本市の魅力を広くPRするとともに、寄附者の利便性を高めることで、本市のふるさと納税に対する認知度の向上及び寄附件数の増加を図る。</p>  |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| 2 事業概要   |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| <p>1 ふるさと納税返礼品の送付等 136,640千円<br/>         (1) 返礼品の品数 328品<br/>         (2) 主な返礼品 お米, お肉, 旭川家具</p> <p>2 寄附収納代行, 返礼品公募及び調達等 62,475千円<br/>         (1) 寄附受付ポータルサイトの活用<br/>         (2) 本市の魅力を伝える返礼品の公募及び調達等</p> <p>3 ふるさと納税PR等 3,671千円<br/>         (1) パンフレット作成等<br/>         (2) PRイベントの実施等</p> |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
|  |   |      |       |           | <p>寄附件数の推移 (単位: 件)</p> <table border="1"> <caption>寄附件数の推移 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,806</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5,404</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>7,269</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>26,142</td> </tr> </tbody> </table> |                 |     | 年度 | 件数 | H26 | 224 | H27 | 2,806 | H28 | 5,404 | H29 | 7,269 | H30 | 26,142 |
| 年度   | 件数  |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| H26  | 224   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| H27  | 2,806   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| H28  | 5,404   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| H29  | 7,269   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| H30  | 26,142  |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| 3 事業の成果  |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| <p>複数の寄附受付ポータルサイトの利用を前年度から継続したことにより寄附者の利便性を確保するとともに、返礼品の拡充やインターネット広告への掲出及び旭川空港でのPRイベントを実施するなど効果的なPRを行った結果、平成30年度の寄附件数は26,142件に増加した。</p>  |   |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |
| 課題と今後の取組   | <p>寄附者からの共感を得られるように寄附金使途の見える化・分かる化を推進するとともに、魅力的な返礼品の拡充を図りながら、より効果的に本市のPRに努める。</p> |      |       |           |  |                 |     |    |    |     |     |     |       |     |       |     |       |     |        |